２．データ設定マニュアル編

―― 目次 ――

ページ

1. はじめに …… 2-1
2. データ設定用電話機の指定 …… 2-1
3. データ設定の流れ …… 2-1
4. データ設定方法 …… 2-2
5. データの確認表示をするとき …… 2-2
6. ＩＳＤＮ（INSﾈｯﾄ64）収容時の注意事項 …… 2-3
7. 専用線（OD,LD）収容時の注意事項 …… 2-3
8. 長距離内線（LLI）収容時の注意事項 …… 2-3
9. その他 …… 2-3
10. データ設定早見表 …… 2-4
11. コマンド一覧表 …… 2-10

1. はじめに

データ設定(変更・確認)を行う場合は、本マニュアルをよく読んでから行ってください。

●全てのシステムデータ※1は、工場出荷時に標準データ※2に設定されています。

●標準データを変更する場合は、データ設定が必要です。

※1：本マニュアルでは、以降「データ」と省略します。
※2：本マニュアルでは、以降「初期値」と呼びます。

2. データ設定用電話機の指定

●データ設定は指定されたボタン電話機から行います。(TELCL、TELHK、単独電話機からはできません。)

●初期値では、収容位置101の電話機がデータ設定用電話機です。⇒コマンド＊001参照

ご参考

データ設定用電話機の切替方法(全電話機⇔特定電話機)　※切替操作は特定電話機以外からも可能

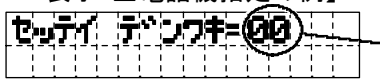
❶ [i] ボタンを押す ⟶ [i] ランプ点火
（送受器を置いたまま、[スピーカ] ランプも消えていること）

❷ [0] [0] を押す ⟶ [i] ランプゆっくり点滅(60INT)

❸ [0] [0] を押す(全電話機指定のとき)　または　[0] [1] を押す(特定電話機指定のとき)

❹ [保留] ボタンを押す ⟶ [i] ランプ速い点滅(240INT)

【LCD表示:全電話機指定の例】



特定電話機(コマンド＊001で設定)を指定の場合は「01」を表示

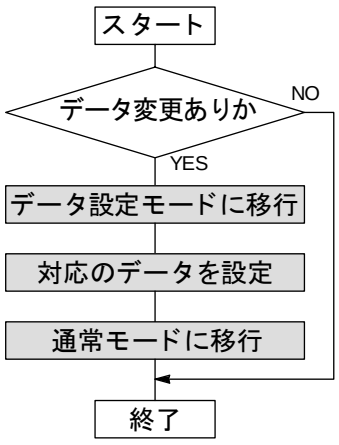
❺ [i] ボタンを押す ⟶ [i] ランプ滅火

※❸を省略して [保留] ボタンを押すと、現在の状態がLCD表示で確認できます。

■特定電話機指定にすると、お客様の誤操作によるデータ変更を防止できる確率が向上します。

3. データ設定の流れ

〔1〕データ設定手順



〔2〕データ設定モードへの移行

❶ [i] ボタンを押す ⟶ [i] ランプ点火
（送受器を置いたまま、[スピーカ] ランプも消えていること）

❷ [＃] を押す ⟶ [i] ランプゆっくり点滅(60INT)

❸ [＃] を押す ⟶ [i] ランプ速く点滅(240INT)

以後、データ設定できます。

【データ設定モード時のLCD表示】

※データ設定できない電話機のLCD表示

〔3〕通常モードへの移行

❶ [スピーカ] ボタンを2回押す ⟶ [i] ランプ滅火
または
❶ 送受器を上げて、戻す ⟶ [i] ランプ滅火

以後、通常に使用できます。

4. データ設定方法

データ設定は、コマンドにより２通りの手順があります。

〔1〕設定範囲を指定できるコマンド （外線番号や電話機収容位置に対する設定コマンドなど）

＊ ＋ コマンド番号 ＋ 設定したい範囲の先頭データ ＋ 設定したい範囲の最終データ ＋ データ ＋ ＃

範囲を指定しない場合は、＃を代わりに押します。

〔2〕設定範囲を指定できないコマンド

＊ ＋ コマンド番号 ＋ データ ＋ ＃

データ設定表示（＃を押した後）

■正常に登録された場合

- i ランプ …… ゆっくり点滅(60INT) ⟹ 速い点滅(240INT)
- LCD表示 …… 最後に“Ｐ”が表示されます。

■誤りがある場合

- i ランプ …… ゆっくり点滅(60INT)のまま
- LCD表示 …… “－－Ｐ”が表示されます。

次のデータ設定をする場合は･･･

＊ を押します。
⇒コマンド待ち状態になります。

操作を誤った場合は･･･

再度 ＊ から操作します。
（途中で誤った場合も同様です。）
⇒コマンド待ち状態になります。

5. データの確認表示をするとき

データの確認は、コマンドにより２通りの手順があります。

〔1〕設定範囲を指定できるコマンド （範囲の先頭データのみ確認できます。）

■コマンド番号を □ で囲んであるコマンド

＊ ＋ コマンド番号 ＋ 設定したい範囲の先頭データ ＋ ＃ ＋ ＃

※ □ で書かれているデータを押した後に ＃ ＃ を押します。

■コマンド番号を(　)で囲んであるコマンド

＊ ＋ (コマンド番号) ＋ 設定したい範囲の先頭データ ＋ ＃ ＋ データ ＋ ＃

※最初の □ で書かれているデータを押した後に ＃ を押し、次の □ で書かれているデータを押してから ＃ を押します。

〔2〕設定範囲を指定できないコマンド

■コマンド番号を □ で囲んであるコマンド

＊ ＋ コマンド番号 ＋ データ ＋ ＃

※ □ で書かれているデータを押した後に ＃ を押します。

■コマンド番号を囲んでないコマンド

＊ ＋ コマンド番号 ＋ ＃

※コマンド番号の後に ＃ を押します。

データ確認表示（＃を押した後）

- i ランプ …… ゆっくり点滅(60INT)のまま
- LCD表示 …… 最後に“ｃ”が表示されます。

次のデータを確認する場合は･･･

＊ を押します。
⇒コマンド待ち状態になります。

6. ISDN(INSネット64)収容時の注意事項

■ペアとなる外線番号は同一内容を設定 （＊086,＊355,＊356,＊370,＊9284,＊9290を除く）

『INSネット64』は1回線で2本の通話チャネルを持っていますので、データ上は各通話チャネルが1本の外線とみなして設定を行います。

例えば、『INSネット64』を1本収容した場合、データ上は「外線1」と「外線2」を設定することになります。
ただし、**設定内容は２外線とも共通**にしてください。

■外線のダイヤル種別は「PB」設定

『INSネット64』を収容した外線は、コマンド＊100の**ダイヤル種別は「PB」**に設定します。(PB設定でないとサブアドレスダイヤルインでの発信ができません。)

■転送電話の発信外線の設定は無効

「転送電話」機能では、『INSネット64』に着信したときは自動的に他の『INSネット64』外線より発信します。
アナログ回線と異なり、**コマンド＊600「転送電話の発信外線 昼／夜」の設定は無視されます。**

■『i･ナンバー』サービスの場合、ダイヤルイン関連の設定も必要

『i・ナンバー』サービスを利用する場合は、『i・ナンバー』の設定以外に**ダイヤルイン関連の設定も必要です。**

7. 専用線(LDI,ODI)収容時の注意事項

■1枚のユニットの回線収容数は2本

専用線を収容するET-2LDI-Gi及びET-2ODI-Giは、1枚の基板で収容できる回線は2本までです。
(アナログ外線用のET-4COI-Giは4本)
各コマンドでのデータ設定方法の説明では、外線番号は01～08のように範囲で記載しているコマンドもありますので、データ設定を行う外線番号に注意してください。

例）ET-4COI-Giの場合は外線番号は1～4ですが、ET-2ODI-Giの場合は外線番号3および4のみとなります。
具体的な外線番号は、「1. 工事マニュアル編」のET-2LDI-Gi、ET-2ODI-Giの説明頁を参照してください。

■内線収容位置としての設定も必要(特に単独電話機ダイヤル種別)

専用線を接続した場合、着信時はシステムに接続された単独電話機からの着信と同等な処理を行います。詳しくは、「1. 工事マニュアル編」のET-2LDI-Giの説明頁を参照してください。

例）･LDI／ODIの内線収容位置は、接続先に合わせた「単独電話機ダイヤル種別(＊840)」を設定する。(LDIはDPのみ)
･専用線経由での外線発信を規制する場合、LDI／ODIの内線収容位置で「サービスクラス規制(＊140)」する。

8. 長距離内線(LLI)収容時の注意事項

■1枚のユニットの回線収容数は2本

長距離内線を収容するET-2LLI-Giは、1枚の基板で収容できる回線は2本までです。
(通常の単独電話機用のET-4STI-Giは4本)
各コマンドでのデータ設定方法の説明では収容位置は109～124のように範囲で記載してるコマンドもありますので、データ設定を行う収容位置に注意してください。

例）ET-4STI-Giの場合は収容位置は109～112ですが、ET-2LLI-Giの場合は収容位置109および110のみとなります。具体的な収容位置は、「1. 工事マニュアル編」のET-2LLI-Giの説明頁を参照してください。

9. その他

最初に立ち上げたとき、LCDに

が表示されます。

●「ツキ. ヒ ヲ セット シマショウ」は、カレンダーの設定を行うと、カレンダー表示に変わります。
⇒カレンダーの設定は、ボタン電話装置の「取扱説明書」、3章を参照

●「＊9300？」は、コマンド＊9300を設定すると、内線番号の表示に変わります。

１０．データ設定早見表

・No.は取扱説明書の各機能説明に記載されています。
・関連コマンドが記載されている機能の内、種別欄に◎が付いているものは初期設定で機能します。
ただし、
- 注1. オプション品が必要な機能もあります。
- 注2. 電話機側の設定が必要な機能もあります。
- 注3. 単独電話機を使用する場合はデータ設定が必要な機能もあります。

・種別欄の△はプログラマブルキーの登録が必要です。
・種別欄の◇は運用内容によってはプログラマブルキー登録が不要な場合があります。
・種別欄の▲は工事者側の装置にプログラマブルキーの登録が必要です。
・種別欄に記号の付いていない機能は必要なときに設定してください。
・関連コマンドの( )内は必要な場合のみ設定します。

分類	No.	種別	名称	関連コマンド
外線発信	101	◎	任意外線発信	(＊182)
	102		外線自動発信(通称 ｾﾞﾛ発信)	＊110,(＊080, ＊081, ＊112, ＊113, ＊115)
	103		ワンタッチ外線自動発信	＊110,(＊080, ＊081, ＊112, ＊113, ＊114, ＊115)
	104		オフフック自動発信	＊110, ＊111,(＊112, ＊113, ＊115)
	105		外線発信ウェイティング	＊110, ＊181,(＊080, ＊081, ＊112, ＊113, ＊115)
	106		外線指定捕捉	＊081,(＊080)
	107	◎△	ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ	(＊110, ＊112, ＊113, ＊115)
	108	◎	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ登録	(＊001, ＊080, ＊081, ＊120, ＊122, ＊126, ＊156)
	109	◎	短縮ﾀﾞｲﾔﾙの相手名称登録	(＊001)
	110	◎	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信	(＊080, ＊081, ＊110, ＊112, ＊113, ＊114, ＊115, ＊122, ＊124, ＊125, ＊143, ＊9285)
	111	◎△	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ事業所番号変換	(＊001, ＊125)
	112	◎	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ番号自動変換	(＊001)
	113	◎△	ﾘﾀﾞｲﾔﾙ(ｻｰﾁﾘﾀﾞｲﾔﾙ)	(＊110, ＊112, ＊113, ＊115, ＊137, ＊138)
	114	◎	ﾘﾄﾗｲ(ｽｰﾊﾟｰﾘﾄﾗｲ)	(＊130, ＊131, ＊132, ＊133, ＊134, ＊135)
	115	◎△	ワンタッチﾀﾞｲﾔﾙ	(＊001, ＊110, ＊112, ＊113, ＊114, ＊115, ＊122, ＊143, ＊9285)
	116		ﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ	＊123,(＊110, ＊112, ＊113, ＊114, ＊115, ＊122, ＊143, ＊9285)
	117		ワンタッチﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ	＊123, 及びNo.110のｺﾏﾝﾄﾞ
	120		LCR(NCC自動選択発信)	＊161, ＊162, ＊163, ＊164, ＊165, (＊123, ＊152, ＊153, ＊154, ＊155, ＊156, ＊9309, ＊9318)
	121		ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ	＊140,(＊141, ＊142, ＊143, ＊144)
	122	◇	ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ切替	＊140,(＊145, 及びNo.610のｺﾏﾝﾄﾞ)
	123		外線発信規制	＊180
	124	◎	ﾎﾟｰｽﾞ自動挿入	(＊150, ＊151, ＊152, ＊153, ＊154, ＊155, ＊157)
	125		PBX局線発信番号自動挿入	＊101,(＊121, ＊122)
	126		DP(10､20PPS)/PB混用	＊100,(＊091, ＊092, ＊093)
	127	◎	通話時間表示	(＊812, ＊813, ＊9307, ＊9308)
	128		通話料金管理	＊9300, (＊001, ＊102, ＊9301, ＊9302, ＊9303, ＊9306, ＊9307, ＊9308, ＊9309, ＊9310, ＊9315, ＊9316, ＊9317, ＊9318, ＊9337)
			国際発信の場合に必要	＊9320, ＊9321, ＊9322, ＊9323, ＊9324, ＊9325, ＊9326
			ﾌﾟﾘﾝﾀ印字の場合に必要	＊9330, ＊9331,(＊9337)
			外線転送時の加算方式選択で必要	＊9305
			課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ分けで必要(寮機能)	＊9301, ＊9303, ＊9304, ＊9305
	129		通話料金集計	No.128のｺﾏﾝﾄﾞの他 ＊083
			終話印字の場合に必要	＊9330, ＊9331, ＊9333, (＊9332, ＊9334, ＊9335, ＊9336, ＊9338)
			今回料金(累計金額)印字で必要	＊9330, ＊9331,(＊001, ＊9337)
			前回料金(累計金額)印字で必要	＊9330, ＊9331,(＊001, ＊9337)
			累計金額のｸﾘｱ印字の場合に必要	＊083, ＊9330, ＊9331,(＊001, ＊9337)
			料金自動集計印字の場合に必要	＊9311, ＊9330, ＊9331
	130		通話料金表示	No.128のｺﾏﾝﾄﾞの他 (＊812)
	131		予算管理表示	No.128のｺﾏﾝﾄﾞの他 ＊083, ＊9313
	132		超過料金ｱﾗｰﾑ	No.128のｺﾏﾝﾄﾞの他 ＊9314,(＊672)
	133		予算ｵｰﾊﾞｰ発信規制	No.131のｺﾏﾝﾄﾞの他 ＊140, ＊9312
	138		VPN対応	＊101, ＊102

分類	No.	種別	名称	関連コマンド
外線着信	201		外線着信応答	—
	202		外線ﾌﾟﾘｾﾚｸｼｮﾝ	—
	203	◎	外線自動選択応答	(＊080, ＊081)
	204		ｵﾌﾌｯｸ自動応答	＊303, (＊304, ＊305)
	205	△	ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答	＊324, ＊325, (＊080, ＊081)
	206		ｵｰﾄﾚﾘｰｽﾞ	—
	207		外線着信音識別	—
	208		外線別着信音指定 (電話機別着信音指定)	＊314, ＊315, ＊316, ＊317
	209		外線個別着信	＊310, ＊311, ＊312, ＊313
	210	◇	個別着信切替(集中着信切替)	＊310, ＊311, ＊312, ＊313, (及びNo. 610のｺﾏﾝﾄﾞ)
	211		着信警報	＊320, ＊321, (＊302, ＊322)
	212		ｽﾗｲﾄﾞ着信	＊330, ＊331, ＊332, ＊333, ＊334, ＊335, (＊302, ＊336)
	213	◎	ﾐｭｰﾃｨﾝｸﾞ(通話中着信音低減)	(＊326)
	214		ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾗｲﾝ(DIL)	＊300, ＊323, (＊302)
	215		ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾀﾞｲﾔﾙ(DID)	＊300, (＊083, ＊340, ＊341, ＊342, ＊343, ＊344, ＊345, ＊346, ＊347, ＊348)
			特番機能(公ー公,公ー専接続)を行う場合に必要	＊081, ＊082, ＊9363, (＊080, ＊140, ＊180, ＊610, ＊611, ＊9362, ＊9363, ＊9365)
	216	◇	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)	＊300, (＊345, ＊346, ＊352, 及びNo. 610のｺﾏﾝﾄﾞ)
	217		DI番号変換	＊350, ＊351, 及びNo. 216のｺﾏﾝﾄﾞ
	218	△	ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI	—
			・概要	＊300, ＊360, ＊361, ＊362, ＊500, ＊508, ＊523, ＊710, (＊643)
			・発信関係ｺﾏﾝﾄﾞ	(＊363, ＊364, 及びNo. 103のｺﾏﾝﾄﾞ)
			・着信応答関係ｺﾏﾝﾄﾞ	＊312, ＊313, (＊303, ＊304, ＊305, ＊314, ＊316, ＊317, ＊363)
			外線自動選択応答で必要	No. 203のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
			ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答で必要	No. 205のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
			着信警報で必要	No. 211のｺﾏﾝﾄﾞ(＊320を除く)と同じ
			ｽﾗｲﾄﾞ着信で必要	No. 212のｺﾏﾝﾄﾞ(＊331, ＊333を除く)と同じ
			外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞで必要	No. 219のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
			外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞで必要	No. 221のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
			転送電話(外線自動転送)で必要	＊301, 及びNo. 401のｺﾏﾝﾄﾞ(＊615を除く)
			転送電話(外線手動転送)で必要	No. 402のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
			・保留関係ｺﾏﾝﾄﾞ	＊500, (及びNo. 302, No. 303, No. 311, No. 312のｺﾏﾝﾄﾞ)
			・保留応答関係ｺﾏﾝﾄﾞ	＊500, (＊080, ＊081, ＊363, ＊509)
			・転送関係ｺﾏﾝﾄﾞ	＊500, (＊363, 及びNo. 308, No. 309, No. 310のｺﾏﾝﾄﾞ)
	219	△	外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ	＊084, ＊381, (＊380, ＊382, ＊383, ＊384, ＊385, ＊386, ＊607, ＊608, ＊9124, ＊9270, ＊9271)
	220	△	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)/ISDN着信拒否	＊084, ＊380, ＊400, (＊386)
	221		外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ	＊300, ＊301, (＊343, ＊348, ＊390, ＊391, ＊392, ＊9271)
	222	◎	着信音識別(単独電話機)	(＊841, ＊842)
	223		ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)/ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾀﾞｲﾔﾙ(DID) ｷｬｯﾁﾎﾝ	＊353, 及びNo. 215, No. 216のｺﾏﾝﾄﾞ, (＊500, 及びNo. 312のｺﾏﾝﾄﾞ)
	225		電話/FAX自動切替	＊370, ＊371, ＊9287, (＊343, ＊372, ＊373, ＊374, ＊375, ＊614, 及び＊302を除くNo. 212のｺﾏﾝﾄﾞ)
	226	△	ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式 (外線着信の索線方式)	一般の外線: ＊650, ＊651, ＊652, ＊710, (＊659) ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI: ＊650, ＊653, ＊710, (＊305, ＊654, ＊659) 発信時必要: ＊110, (＊115)
	228		留守ﾓｰﾄﾞ	＊083, ＊086, (＊087)
	229-1		ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	・概要及び発信者番号表示: ＊310, ＊311, ＊312, ＊313, ＊410, (＊411, ＊9291, ＊9297) 184,186ﾀﾞｲﾔﾙでの発信時: ＊151, (＊123, ＊155, ＊9306)
	229-2			・着信識別: ＊9292, (＊314, ＊315, ＊316, ＊317, 及びNo. 229-1のｺﾏﾝﾄﾞ)
	229-3			・ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ: ＊300, (＊345, ＊346, ＊350, ＊351, ＊352, 及びNo. 218, No. 610のｺﾏﾝﾄﾞ)
	229-5			・着信履歴: ＊9293, 及びNo. 107, No. 229-1, No. 731-5のｺﾏﾝﾄﾞ

分類	No.	種別	名　　称	関連コマンド
外線保留・転送	301	◎	外線保留(外線一般保留)	(＊500)
	302	◎	保留音送出	(＊503, ＊504)
	303		外部保留音送出	＊504, (＊057)
	304	◎△	外線自己保留	(＊500, ＊508)
	305	◎	外線保留応答	(＊500)
	306	◎	外線自動保留	(＊501, ＊502)
	307	◎△	外線自動転送	(＊501, ＊502)
	308		外線オンフック転送	＊520, (＊501, ＊502)
	309	◎△	外線簡易転送(着信音転送)	＊521, (＊520)
	310	◎	ｵｰﾄﾏﾁｯｸﾘｺｰﾙ	＊522, (＊343)
	311		保留警報	＊508, (＊303, ＊322)
	312		外線保留 (“2”ﾀﾞｲﾔﾙ保留､ﾌｯｷﾝｸﾞ保留)	＊843, ＊844, ＊845, (＊505, ＊506, ＊840, ＊846)
	313	◎	保留外線自動選択応答	(＊080, ＊081, ＊509)
	314		保留自己外線応答	＊081, (＊080)
	315		ﾌｯｷﾝｸﾞ保留転送 (“2”ﾀﾞｲﾔﾙ保留転送)	No. 312のｺﾏﾝﾄﾞの他下記が必要 ＊520, (＊507, ＊521, 及びNo. 313のｺﾏﾝﾄﾞ)
	316		不完全転送呼の発呼者戻し	＊523, ＊524, (＊303, ＊501)
	317	◇	ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式(ﾊﾟｰｸ保留)	＊500, ＊650, ＊651, ＊652, ＊653, ＊655, ＊710, (＊656, ＊657, ＊658, ＊660, 及びNo. 312, No. 313のｺﾏﾝﾄﾞ)
外線その他	401	△	転送電話(外線自動転送)	＊084, ＊300, ＊600, ＊602, (＊001, ＊601, ＊603, ＊604, ＊605, ＊606, ＊607, ＊608, ＊609, ＊610, ＊611, ＊612, ＊613, ＊614, ＊615, ＊616, ＊617, ＊618, ＊628, ＊9124, ＊9270, ＊9271, 及びNo. 610のｺﾏﾝﾄﾞ)
	402	△	転送電話(外線手動転送)	＊602, (＊501, ＊502, ＊520, ＊611, ＊620)
	404	◎	外線ﾌｯｷﾝｸﾞ	(＊094, ＊843, ＊844, ＊845, ＊846)
	405		ﾄｰﾝ切替(自動ﾄｰﾝ切替)	＊675
	406		3分ｱﾗｰﾑ	＊670, (＊671, ＊672)
	407		着信ﾃﾅﾝﾄ	＊640, ＊641, ＊642, (＊324, ＊325, ＊336)
	408		発着信ﾃﾅﾝﾄ	＊640, ＊641, ＊642, (＊180, ＊324, ＊325, ＊336)
	409		完全ﾃﾅﾝﾄ	＊640, ＊641, ＊642, (＊180)
	410	◇	ﾃﾅﾝﾄ切替	＊640, 及びNo. 610のｺﾏﾝﾄﾞ
	411	◎△	聴話	＊634, ＊635, (＊636)
	412	◇	外線割込通話	＊631, ＊632, (＊630, ＊633)
	413	◎△	外線ｱｯﾄﾞｵﾝ	(＊630)
	414	◎△	2外線ｱｯﾄﾞｵﾝ	(＊501, ＊620, ＊630)
	415	◇	外線種別切替	＊101, (及びNo. 610のｺﾏﾝﾄﾞ)
	416		2色ﾗﾝﾌﾟ表示	―
	417	◎	停電時外線発信	(＊090)
	418	◎	使用回線表示	＊101, ＊677, (＊678, ＊679)
	419		外線PAD調整	＊040, ＊041, ＊043
内線発信	501	◎	内線発信(内線ﾄｰﾝ呼出)	(＊080, ＊082, ＊700, ＊701, ＊702, ＊703)
	502	◎	内線自動捕捉	(＊702)
	503	◎	内線音声呼出	(＊700, ＊706)
	504		内線ﾎｯﾄﾗｲﾝ	＊707
	505		ﾅﾝﾊﾞｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	＊080, ＊081, ＊082, ＊164, ＊181, ＊505, ＊507
	506		ﾘｾｯﾄｺｰﾙ	―
	507	◇	ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込通話	＊631, ＊632, ＊708, (＊630, ＊633)
	508		内線ｷｬﾝﾌﾟｵﾝ	―
	509		ｸﾞﾙｰﾌﾟ内内線呼出	＊703, ＊710, (＊717, ＊718)
	510	◎	内線一斉/ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出	(＊080, ＊082, ＊703, ＊704, ＊705, ＊710, ＊717, ＊718)

分類	No.	種別	名　　称	関連コマンド
内線着信	521	◎	内線自動応答	(＊701)
	522		ｵﾌﾌｯｸ内線着信応答	―
	523		内線代表	＊711
	524	◎	代理応答	(＊080, ＊081, ＊710, ＊717, ＊718)
	525	◎	ﾍﾟｰｼﾞﾝｸﾞ応答	(＊080, ＊082)
	526	◎△	内線着信拒否	(＊720)
	527	△	不在転送	(＊720)
			外線への転送の場合に必要	＊600, ＊602, (＊601, ＊607, ＊608, ＊610, ＊611, ＊613, ＊617, ＊618, ＊628, ＊722, ＊723, ＊724, ＊725, ＊9124, ＊9270, ＊9271)
			単独電話機にて、外線への転送を行う場合	＊081, (＊080) 注：＊720の設定は無効(常にｵﾌﾌｯｸ解除可)
	528	△	簡易不在転送	No.527のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
	529	◎△	不在表示	(＊720, ＊721)
	531	◎	話中・応答遅延転送	(＊080, ＊081, ＊353, ＊712)
	533		外線通話中内線着信	＊709
	534	△	内線ﾊﾝｽﾞﾌﾘ応答	―
内線保留・転送・他	551	◎	内線保留	(＊710, ＊717, ＊718, 及びNo.312のｺﾏﾝﾄﾞ)
	552	◎	内線保留応答	(＊080, ＊081, ＊710, ＊717, ＊718)
	553	◎△	内線転送	(＊710, ＊717, ＊718, 及びNo.315のｺﾏﾝﾄﾞ)
	554	◎△	内線3者通話	(＊630)
	571		内線ﾌｯｷﾝｸﾞ	―
	572		内線PBﾀﾞｲﾔﾙ送出	＊727, (＊095, ＊096)
	573	◎	通話相手番号/名称表示	(＊816)
	574	◎	内線名称登録	(＊001)
	575	◎△	DSS/BLF	(＊001, ＊713)
	577		ﾗｲﾝﾛｯｸｱｳﾄ	―
	578	◎	ﾊｳﾗｰ音送出	(＊847)
その他（1／2）	601		ｵﾝﾌｯｸﾀﾞｲﾔﾙ	―
	602	◎	ﾜﾝﾀｯﾁｵﾝﾌｯｸﾀﾞｲﾔﾙ	(＊114)
	603		ｽﾋﾟｰｶ受話	―
	604	◎	ﾀﾞｲﾔﾙﾓﾆﾀ	(＊811)
	605		受話音量増幅	―
	606	◎△	外線/内線ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ	(＊801)
	607	◎	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ	(＊001, ＊030, ＊031, ＊032)
	608	◎	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾟｰﾄ	(＊011)
	609	◎	ｷｰ押し確認音	(＊800)
	610	△	夜間切替	＊084, ＊9240, (＊085)
	611	◎	日時表示	(＊810, ＊815)
	614		ﾄﾞｱﾎﾝ	＊082, ＊9200, ＊9201, (＊050, ＊051, ＊052, ＊080, ＊9202, ＊9203, ＊9204, ＊9205, ＊9206, ＊9207)
	615		ﾃﾚﾋﾞﾄﾞｱﾎﾝ接続	＊082, ＊9200, ＊9201, ＊9204, (＊050, ＊051, ＊052, ＊080, ＊9202, ＊9203, ＊9205, ＊9206, ＊9207)
	616	◎	外部ｽﾋﾟｰｶ接続	(＊053, ＊054, ＊080, ＊082, ＊9220, ＊9221)
			冒頭音送出までの時間を変更する場合	＊9221
	617		外部ｽﾋﾟｰｶでの着信鳴動	＊9222, (＊055, ＊9223, ＊9224)
	618		高音量ﾍﾞﾙ接続	＊9222, ＊9230, (＊9223)
	619		BGM	＊9251, (＊057)
			外部ｽﾋﾟｰｶからBGMを送出する場合	＊9220, (＊055)
	620		センサ入力	＊9240, ＊9241, ＊9243, ＊9244, (＊9242, ＊9245)
	621	△	ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾙ	＊9230, (＊9232, ＊9233)
			DIDで外線からｺﾝﾄﾛｰﾙする場合	＊083, ＊9231, 及びNo.215のｺﾏﾝﾄﾞ
	622	▲	ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽ	＊000, (＊002)
	625		内線番号表示	―
	626	◎	VRUのﾒｯｾｰｼﾞ録音	(＊001, ＊060, ＊080, ＊082, ＊9270, ＊9271)
	627		システム間接続	＊041, ＊070, ＊071, ＊081, ＊100, ＊101, ＊110, ＊620, ＊840, ＊9260, ＊9302, (＊080 及びNo.121のｺﾏﾝﾄﾞ)
	628		専用線の統一番号方式	＊081, ＊110, ＊9260, (＊080)
	629		長距離内線収容	＊073, 及び＊845, ＊849を除くNo.641のｺﾏﾝﾄﾞ

分類	No.	種別	名　　称	関連コマンド
その他（2／2）	631		LD専用線収容	＊041, ＊070, ＊071, ＊100, ＊101, ＊840, ＊9302, (及びNo. 121のｺﾏﾝﾄﾞ)
	632		OD専用線収容	＊066, ＊067, ＊100, ＊101, ＊840, ＊9302, (及びNo. 121のｺﾏﾝﾄﾞ)
	633	△	簡易出退表示	―
	634	△	多機能ｺﾝｿｰﾙ	＊830
	635		ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙｺﾝｿｰﾙ	＊831
	637		FAX使用中表示	＊9275
	638		MCA無線接続	＊100, ＊101, ＊9250, ＊9251, ＊9308, (＊840, ＊9307)
	639		ｱﾅﾛｸﾞｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ付ﾎﾞﾀﾝ電話機	＊804, ＊840, (＊802, ＊803)
	640	◎	内線番号の常時表示	(＊9313)
	641		単独電話機接続	＊840, (＊702, ＊841, ＊842, ＊843, ＊844, ＊845, ＊846, ＊847, ＊849)
	642	◎	ｼｽﾃﾑﾃﾞｰﾀ設定 ( )内は全て保守関係ｺﾏﾝﾄﾞです。	＊001, (＊003, ＊004, ＊005, ＊006, ＊007, ＊008, ＊009, ＊010, ＊012, ＊013, ＊015, ＊016, ＊017, ＊019, ＊021)
	644	◇	ｲﾔﾎﾝﾏｲｸ接続	―
	645		通話録音端子	―
	646		壁掛用品	―
	647		ﾛﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	―
	648		電話機角度調節	―
	649		電子ﾎﾞﾘｭｰﾑ	―
	652	△	ﾍﾙﾌﾟ機能(相談ｻｰﾋﾞｽﾎﾞﾀﾝ)	＊088, ＊089, ＊090, (＊110, ＊112, ＊113, ＊115)
	653		ﾎｰﾑﾕｰｽ電話機接続	―
	655	△	なんでもﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ	―
	656		LCDのﾊﾞｲﾘﾝｶﾞﾙ表示(英語表示)	＊815
	657	◎	着信/ﾒｯｾｰｼﾞﾗﾝﾌﾟ	(＊500)
	658	◎	ｱﾅﾛｸﾞｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ付ﾎﾞﾀﾝ電話機2	＊506, (＊111, ＊181, ＊303)
大型LCD電話機	701-1	◎	大型LCDのﾒﾆｭｰ表示	(＊820)
	701-2	◎	電子電話帳による外線発信	(No. 103のｺﾏﾝﾄﾞと同じ)
	701-3		電子電話帳による内線発信	―
	701-4	◎	電子電話帳の検索方法	(＊821)
	701-5	◎	電子電話帳の相手先名称登録	(＊001)
	701-6		カナ文字登録方法	―
	701-7	◎	大型LCDを使った料金集計	(＊001)
	701-9		ﾍﾙﾌﾟ機能	＊088, ＊089, ＊110, (＊001, ＊112, ＊113, ＊115) ※＊001以外は販売店連絡操作を行う場合に必要
	701-10	◎	ｻｰﾁﾘﾀﾞｲﾔﾙ	No. 113のｺﾏﾝﾄﾞと同じ
コードレス電話機	711	◎	専用ｺｰﾄﾞﾚｽ電話機接続	(＊500)
	712		専用ｺｰﾄﾞﾚｽ電話機+ﾎﾞﾀﾝ電話機接続	＊804, (＊802, ＊803, ＊805)

分類	No.	種別	名　　称	関連コマンド
ボイスメモ機能	721-2	△	外線通話録音	＊9100,（＊049, ＊076, ＊9101, ＊9102, ＊9104, ＊9105, ＊9106, ＊9126, ＊9133）
			外線通話録音のｺﾒﾝﾄ追加	（＊9103, ＊9126）
			外線通話録音の登録先指定	（＊9102, ＊9127）
			通話録音一時保存ﾎﾞｯｸｽ自動消去	（＊9108）
		△	着信通知の個別設定	＊9110, ＊9111, ＊9112
			自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ	＊300, ＊323,（＊9118, ＊9125）
			自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの話中/不応答代行	（＊049, ＊076, ＊9120, ＊9119, ＊9126）
			自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの不在代行	（＊049, ＊076, ＊9124, ＊9126）
			自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの無操作時の内線呼出/代行録音	＊9121, ＊9122, ＊9123,（＊049, ＊076, ＊9126）
			話中/不在代行	（＊049, ＊076, ＊9124, ＊9126）
		△	留守番代行	＊330, ＊331, ＊332, ＊333, ＊334, ＊335,（＊049, ＊076, ＊302, ＊336, ＊9124, ＊9126, ＊9134）, 及びNo. 610のｺﾏﾝﾄﾞ
			着信通知(電話機呼出)	＊110, ＊9110, ＊9111, ＊9112
			着信通知(ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ呼出)	＊110, ＊9110, ＊9111, ＊9112,（＊9113, ＊9135, ＊9136, ＊9137）
			着信通知(ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ対応ﾘﾄﾗｲ)	＊110, ＊9110, ＊9111, ＊9112, ＊9114,（＊9135）
		◎	受信通知	（＊9109）
		◎△	ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞｲｽﾒﾓ呼出	＊9115
			空きﾎﾞｲｽﾒﾓ自動選択	（＊9125）
		◎△	ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録	（＊001）
		◎△	ﾎﾞｲｽﾒﾓ機能ｷｰ登録	（＊001）
	721-3	◎	ﾒｯｾｰｼﾞ送信	（＊9126）
		◎	ﾒｯｾｰｼﾞ再生	（＊048, ＊9115, ＊9116, ＊9117）
		◎	指定時ﾒｰﾙ	（＊9126）
		◎	ﾒｯｾｰｼﾞ転送	（＊9126）
			同報ﾒｰﾙ	＊9131, ＊9132
		◎	掲示板ﾒｰﾙ(録音)	（＊9126）
		◎	掲示板ﾒｰﾙ(再生)	（＊048, ＊9116, ＊9117）
		◎	ｸｲｯｸﾒｯｾｰｼﾞ録音	（＊9126）
			ﾒｯｾｰｼﾞ自動消去	＊9128, ＊9129
		◎	ﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ自動再生	（＊9116）
	721-4		暗証番号登録	―
			不在ﾒｯｾｰｼﾞ録音	＊9124,（＊9126）
			不在ﾒｯｾｰｼﾞ再生	（＊048）
	721-5		応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音	＊9118,（＊9126）
			応答ﾒｯｾｰｼﾞ再生	（＊048）
			ﾕｰｻﾞ設定ｱｸｾｽ番号の登録	―
	721-6	◎	大型LCD付電話機による操作	（＊823）
ＩＳＤＮ（ＩＮＳネット６４）	731-1	◇	外線発信	＊100,（＊063, ＊9286, ＊9287, ＊9288） 外線発信関連の各機能のｺﾏﾝﾄﾞについては、分類「外線発信」(No. 101～138)を参照してください。
	731-2	◎	発番号通知	＊9284,（＊9280）
	731-3	◎	発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ通知	（＊9281）
	731-4	◎	外線着信応答	外線着信関連の各機能のｺﾏﾝﾄﾞについては、分類「外線着信」(No. 201～228)を参照してください。
	731-5	◎	着信時の発番号表示	＊310, ＊311, ＊312, ＊313,（＊9291）
	731-6	◎	着信時の発呼者のカナ表示	＊310, ＊311, ＊312, ＊313,（＊9292）
	731-7		着番号識別	＊9282, ＊9284,（＊9290）
	731-8	◇	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ	＊300,（＊345, ＊346, ＊350, ＊351, ＊352, ＊9289, 及びNo. 218, No. 610のｺﾏﾝﾄﾞ）
	731-9		ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝの番号変換	＊350, ＊351
	731-10	◎	ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ使用ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ	（＊345, ＊346, ＊9283）
	731-11		転送電話	No. 401のｺﾏﾝﾄﾞ（＊600, ＊602を除く）と同じ
	733-12		ｉ･ﾅﾝﾊﾞｰ	＊300, ＊355, ＊356,（＊345, ＊346, ＊350, ＊351, ＊352, 及びNo. 218, No. 610のｺﾏﾝﾄﾞ）
公専公接続	741-1		公ー専　接続	＊081, ＊082, ＊9363,（＊080, ＊140, ＊180, ＊610, ＊611, ＊9362, ＊9363, ＊9365） ※ 以下のｺﾏﾝﾄﾞも接続方式によって必要です。 ①着信外線が公衆網の場合：No. 215のｺﾏﾝﾄﾞ ②専用線が接続される場合：No. 631, 632のｺﾏﾝﾄﾞ
	741-2		専ー公　接続	
	741-3		公ー公　接続	
	741-4		公ー専ー公　接続	
寮機能	751-1		ﾌﾟﾘﾍﾟｲﾄﾞ(PP)システム	＊9330, ＊9331, ＊9361,（＊9302, ＊9360）
	751-7		ID課金	＊081, ＊082, ＊9301, ＊9363, ＊9364,（＊080, ＊140, ＊180, ＊9365）

１１．コマンド一覧表

※以下のコマンド一覧表は各コマンドの目次を兼ねています。尚、ページ番号は先頭の「2-」を省略しています。
尚、コマンド説明の最後のページで、Ｇｉシリーズの設定でポイントとなる用語に関する説明と、主なデータ設定例を記載していますので参考にしてください。

保守系コマンド

コマンド		タイトル	ページ
	000	リモートサービス用パスワードの設定	14
	001	システムデータ設定用電話機の設定	14
	002	リモートサービスの桁間時間	14
	003	ROM版数モニタ	14
	004	チェックサムモニタ	15
	005	再開処理回数モニタ	15
	006	障害発生アドレスモニタ	15
	007	全データ初期設定	15
	008	システム異常コードモニタ	16
	009	データ伝送エラー回数モニタ	16
	010	機能番号及び内線収容位置モニタ	17
	011	基板種別モニタ	17
	012	電話機の接続状態のモニタ	17
	013	外線メークビジー	18
	015	外線使用中電話機モニタ	18
	016	内線通話路メークビジー	18
	017	MFR,PBRメークビジー	18
	019	CFUメークビジー	19
	021	MOTHヒューズ状態モニタ	19
	030	プログラマブルキーの設定	20
	031	プログラマブルキーの可変ボタン一括設定	21
	032	プログラマブルキーの外線ボタン一括設定	21
	040	外線線路ロス	21
	041	外線線路の線径	22
	043	アナログ外線通話の受話音量	22
	048	VMU再生ボリューム	22
	049	アナログ外線の録音レベル	22
	050	ドアホン子機冒頭音ボリューム	23
	051	DH→電話機ボリューム	23
	052	電話機→DHボリューム	23
	053	PGU冒頭音ボリューム	23
	054	PGU出力ボリューム	23
	055	PGU外部スピーカ着信音ボリューム	24
	057	EMU入力ボリューム	24
	060	VRU再生ボリューム	24
	063	INSネット64外線通話の受話音量	24
	066	ODI送話ゲイン	24
	067	ODI受話ゲイン	24
	070	LDI送話ゲイン	25
	071	LDI受話ゲイン	25
	073	LLI送受話アンプゲイン	25
	076	ISDN外線の録音レベル	25

システム系コマンド

コマンド		タイトル	ページ
	080	内線番号及び特番桁数の設定	26
	081	(1桁/2桁)特番設定	26
	082	内線番号及び特番の設定	27
	083	ユーザ用パスワードの設定	28
	084	夜間切替の操作電話機の設定	28
	085	夜間切替の時刻	28
	086	留守モードの外線またはDI加入者番号の設定	29
	087	留守モード移行時間の設定	29
	088	販売店電話番号	29
	089	販売店名称	29
	090	停電時の直通電話機の設定	30
	091	DP(20PPS)ミニマムポーズ	30
	092	外線へのPB信号送出時間の設定	30
	093	外線へのPB信号ミニマムポーズの設定	30
	094	外線フッキング時間の設定	30
	095	内線へのPB信号送出時間の設定	31
	096	内線へのPB信号ミニマムポーズ	31

外線発信系コマンド

コマンド		タイトル	ページ
共通	100	外線ダイヤル種別の設定	32
	101	外線種別の設定	32
	102	VPN契約	32
自動発信	110	外線自動発信の捕捉外線の設定	33
	111	オフフック発信機能の設定	33
	112	外線自動発信グループ1のサブグループの設定	34
	113	外線自動発信グループ1のサブグループ対応電話機の設定	34
	114	外線ワンタッチ発信機能の設定	35
	115	ワンタッチ系発信のグループ設定	35
短縮ダイヤル	120	システム短縮ダイヤルのメモリー数の設定	36
	121	PBX局線発信特番	36
	122	PBX局線発信特番自動挿入の設定	36
	123	チェーンダイヤル機能の設定	36
	124	[＊]ボタンによる短縮発信	36
	125	[短縮]ボタン使用種別	37
	126	システム短縮ダイヤルの設定	37
リダイヤル	130	外線発信自動リトライ回数の設定	38
	131	スーパーリトライ終了後の警報音	38
	132	スーパーリトライの切断時間	38
	133	ダイヤルボタンによるスーパーリトライ機能	38
	134	手動リトライ機能の設定	38
	135	オフフック中のリトライ機能の設定	39
	137	リダイヤルの外線捕捉選択方法	39
	138	外線リバース検出後のメモリ	39
サービスクラス	140	サービスクラスの設定	40
	141	特定市外番号の設定	41
	142	特定発信規制の設定	41
	143	システム短縮ダイヤルのサービスクラス規制	41
	144	特定発信規制対象のクラス設定	41
	145	夜間切替時のサービスクラス切替機能有無	42
ポーズ	150	ポーズ挿入位置の設定(PBX/ビル電話)	43
	151	ポーズ挿入位置の設定(NTT)	43
	152	00XXダイヤルのポーズ挿入位置の設定(PBX/ビル電話)	44
	153	00XXダイヤルのポーズ挿入位置の設定(NTT)	44
	154	PBX/ビル電話収容時の桁間ポーズ時間	44
	155	NTT収容時の桁間ポーズ時間	44
	156	短縮ダイヤル中のポーズ時間の設定	44
	157	一般ダイヤルのプレポーズ時間の設定	44
ＬＣＲ	161	DDI契約の設定	45
	162	KDD契約の設定	45
	163	JT契約の設定	45
	164	LCR発信時のNTTバイパス発信特番の設定	46
	165	LCRの対地局番とNCCルートの設定	46
その他	180	外線別発信規制の設定	47
	181	外線発信ウェイティング特番	47
	182	外線連続捕捉機能	47

外線着信系コマンド

コマンド		タイトル	ページ
全般	300	外線毎の着信種別の設定	48
	301	DILIN番号毎の着信種別の設定	48
	302	着信タイムオーバー時間の設定	49
	303	オフフック応答機能の設定	49
	304	オフフック自動応答の外線設定	49
	305	オフフック応答可能なDILIN番号の設定	49
着信鳴動	310	外線毎の着信鳴動電話機の設定(昼)［外線個別着信］	50
	311	外線毎の着信鳴動電話機の設定(夜)	50
	312	ストレートラインDI時の着信鳴動電話機の設定(昼)	51
	313	ストレートラインDI時の着信鳴動電話機の設定(夜)	51
	314	外線着信音指定方法の設定	51
	315	外線別着信音源の設定	52
	316	電話機別外線着信音の設定	52
	317	DILIN番号別着信音指定	52
着信警報・他	320	着信警報機能(外線毎)の設定	53
	321	着信警報機能(DILIN番号毎)の設定	53
	322	警報鳴動音量	53
	323	DIL対応電話機の設定	53
	324	テナント外外線着信応答の有無	54
	325	テナント外外線着信応答グループの設定	54
	326	オフフック中の外線着信鳴動の設定	54
スライド着信	330	スライド着信時のスライド先電話機台数の設定	55
	331	外線毎のスライドの有無の設定	55
	332	DILIN番号毎のスライドの有無の設定	56
	333	外線毎のスライド先電話機の設定	56
	334	DILIN番号毎のスライド先電話機の設定	57
	335	システムでのスライド先電話機の設定	57
	336	スライド着信時のテナント解除機能の設定	57
DID・DI	340	DID一次応答信号の種類	58
	341	DID一次応答信号送出時間	58
	342	DID一次応答タイムオーバー時の処理設定	58
	343	DID一般着信処理後の切断時間の設定	58
	344	DID ［＊］ボタンによるDT戻り処理	58
	345	DID, DI内線呼出時間の設定	58
	346	DID, DI内線呼出時間タイムオーバー時の処理	58
	347	強制一般着信	59
	348	外線着信自動応答の応答時間の設定	59
	350	DI番号変換機能の有無	59
	351	DIの番号変換の設定	59
	352	DI夜間一般着信の設定	59
	353	DI/DIDキャッチホンの設定	60
	355	i・ナンバーの設定	60
	356	i・ナンバーのポート番号に対する電話番号の設定	60
ストレートラインDI	360	ストレートラインDIの設定	61
	361	ストレートラインDIのDI加入者番号の設定	61
	362	電話機グループ毎の［DILIN］ボタンの設定	62
	363	空き［DILIN］ボタンへの自動割付の有無	62
	364	外線自動発信時の自動割付DILIN番号の設定	63
電話／FAX自動切替	370	FAX自動転送機能のFAX外線番号の設定	64
	371	FAX自動転送機能のFAX収容位置の設定	64
	372	FAXのCNG信号検出待ち時間の設定	64
	373	FAX応答待ち時間の設定	64
	374	FAX送受器戻しの自動転送の設定	65
	375	FAX疑似呼出音(RBT)の送出	65
お待たせメッセージ	380	お待たせメッセージのモード設定	66
	381	外線お待たせメッセージ機能の設定	66
	382	外線お待たせメッセージ送出時間の設定	66
	383	外線お待たせメッセージ機能の切断メッセージのメッセージ音源の設定	67
	384	外線お待たせメッセージ機能の切断メッセージ送出時間の設定	67
	385	外線お待たせメッセージ機能の保留時間の設定	67
	386	外線お待たせメッセージ機能の自動解除時間の設定	67
外線自動応答メッセージ	390	外線自動応答メッセージの音源の設定	68
	391	外線自動応答メッセージ送出時間の設定	68
	392	外線自動応答メッセージ後の処理の設定	68
その他	400	自動BT返送機能の設定	69
	410	ナンバー・ディスプレイ機能の有無の設定	69
	411	ナンバー・ディスプレイ機能の受信データエラー時の処理	69

外線保留・転送コマンド

コマンド		タイトル	ページ
保留	500	［保留］ボタンによる外線保留応答の設定	70
	501	［保留］ボタンによる外線自動保留の有無の設定	70
	502	外線自動保留時の保留状態の設定	70
	503	保留音の選曲	70
	504	外線保留音種別の設定	71
	505	単独電話機の保留番号の設定	71
	506	ボタン電話機の特番保留の設定	71
	507	単独電話機の保留戻り特番の設定	71
	508	保留警報時間の設定	72
	509	他グループの保留外線自動選択応答の設定	72
転送	520	オンフック転送機能の設定	73
	521	外線簡易転送機能の設定	73
	522	オートマチックリコール時間の設定	73
	523	不完全転送時の保留警報鳴動の設定	73
	524	SDT聴取時のオンフック処理	73

外線系その他のコマンド

コマンド		タイトル	ページ
転送電話	600	転送電話の発信外線　昼/夜	74
	601	転送電話の種類	74
	602	転送電話レベル設定	74
	603	転送電話の転送メッセージの種類の設定	74
	604	転送電話の転送メッセージ送出時間の設定	75
	605	転送電話の切断メッセージの種類の設定	75
	606	転送電話の切断メッセージ送出時間の設定	75
	607	留守番電話機の収容位置の設定	76
	608	留守番電話機応答待ち時間の設定	76
	609	転送電話の転送中着信表示の設定	76
	610	転送電話の転送先呼出時間の設定	76
	611	転送電話通話時間	77
	612	転送電話用外線の設定	77
	613	転送電話のDT検出の設定	77
	614	予備着信(極性反転)の検出	77
	615	外線毎の転送電話転送先の設定	78
	616	DILIN番号毎の転送電話転送先の設定	78
	617	転送呼出中の処理	79
	618	転送電話追っかけモードリトライ	79
	620	外線手動転送時の外線自動発信の設定	79
	628	転送先への転送電話通知の設定	79
会議通話	630	会議通話数	80
	631	外線割込通話の設定	80
	632	外線通話への被割込電話機の設定	80
	633	外線割込通話時のアラーム送出の設定	80
	634	外線通話モニタ(聴話)の設定	81
	635	外線通話被モニタ(聴話)の設定	81
	636	外線通話被モニタ(聴話)時のアラームの設定	81
テナント	640	外線テナント種別の設定	82
	641	外線毎のテナント番号の設定	82
	642	電話機毎のテナント番号の設定	83
	643	DILIN番号毎のテナント番号の設定	83
バーチャルライン	650	バーチャルライン方式の有無の設定	84
	651	バーチャルライン方式の外線グループの設定	84
	652	外線グループ毎の［着信］ボタンの設定	84
	653	DILIN番号毎の［着信］ボタンの設定	85
	654	DILIN番号毎の着信可能数の設定	85
	655	［パーク］ボタンの設定	85
	656	［パーク］ボタン毎の保留種別の設定	86
	657	空きパークボタンなし時の［保留］ボタンの保留操作処理の設定	86
	658	バーチャルライン方式機能での［保留］ボタン処理	86
	659	［着信］ボタンのランプ表示	86
	660	外線捕捉時の保留中［パーク］ボタン押下時動作の設定	86
その他	670	3分予報音時間の設定	87
	671	3分予報音送出条件の設定	87
	672	電話機毎の3分予報音機能の設定	87
	675	自動トーン切替の設定	87
	677	使用回線表示方法の設定	87
	678	使用回線種別表示内容の設定	88
	679	使用回線種別表示文字パターンの設定	88

内線系コマンド

コマンド		タイトル	ページ
全般	700	内線呼出種別の設定	89
	701	トーン呼出の内線着信音選択	89
	702	オフフック内線自動捕捉	89
	703	内線呼出適用範囲の設定	89
	704	一斉呼出、グループ呼出の設定	89
	705	一斉呼出/グループ呼出予告音送出の設定	90
	706	内線音声呼出の予告音送出の設定	90
	707	内線ホットラインの設定	90
	708	リセットコール割込機能の設定	90
	709	外線通話中の内線着信鳴動の設定	91
	710	電話機グループの設定	91
	711	内線代表の設定	91
	712	応答遅延転送の転送時間の設定	92
	713	内線通話中のDSSボタン処理	92
	717	代理応答/内線保留グループの有無	92
	718	代理応答/内線保留グループの設定	92
不在設定／不在転送	720	不在設定のオフフック解除機能の可否	93
	721	不在表示の追加	93
	722	不在転送時の転送メッセージの種類の設定	93
	723	不在転送の転送メッセージ送出時間	94
	724	不在転送時の切断メッセージの種類の設定	94
	725	不在転送の切断メッセージ送出時間の設定	94
専用線	727	PB信号受信端末の収容位置の設定	95

電話機に関するコマンド

コマンド		タイトル	ページ
ボタン電話機全般	800	キー押し確認音の設定	96
	801	ハンズフリー対応電話機	96
	802	通話切替の優先順位設定	96
	803	キーロック機能設定	97
	804	ボタン電話機連動機能の設定	97
	805	子機移動中のボタン電話機の操作可否	97
LCD表示	810	時刻表示方法の設定	98
	811	外線相手応答時の表示方法の設定	98
	812	外線発信時の通話時間表示の設定	98
	813	外線着信時の通話時間表示の設定	98
	815	表示言語モード	98
	816	内線番号/名称表示継続時間	98
大型LCD	820	待機中の表示面の設定	99
	821	電子電話帳の検索方法指定	99
	823	ボイスメールのボックス選択画面表示指定	99
コンソール	830	DSSコンソールの設定	100
	831	オートダイヤルコンソールの設定	100
単独電話機	840	単独電話機のダイヤル種別設定	101
	841	単独電話機の内線呼出インター	101
	842	単独電話機のドアホン着信鳴動周期	101
	843	単独電話機のフッキング処理の設定	102
	844	DP単独電話機のフッキング機能の設定	102
	845	PB単独電話機のフッキング機能の設定	102
	846	フッキング監視時間の設定	102
	847	単独電話機のハウラー送出	102
	849	PBレシーバ話中時のMFR使用	103

ボイスメールに関するコマンド

コマンド		タイトル	ページ
	9100	通話録音対象外線の設定	104
	9101	外線通話録音開始方法の設定	104
	9102	通話録音登録先の設定	104
	9103	通話録音コメント追加位置の設定	104
	9104	他電話機で外線保留応答した場合の通話録音継続の有無の設定	105
	9105	転送電話の自動通話録音の設定	105
	9106	CFU利用のISDN回線/OD専用線通話録音の設定	105
	9108	通話録音自動消去時間の設定	105
	9109	ボックスランプ表示方法の設定	106
	9110	着信通知指定	107
	9111	着信通知種別の設定	107
	9112	着信通知呼出先の設定	108
	9113	メッセージ番号送出タイマーの設定	108
	9114	着信通知ポケットベル対応リトライ機能及び時間の設定	108
	9115	メッセージ自動再生の設定	109
	9116	タイムスタンプ自動再生の設定	109
	9117	早送り／巻戻し時間の設定	109
	9118	応答メッセージの種類の設定	109
	9119	自動オペレータ呼出時間の設定	109
	9120	自動オペレータの話中／不応答後の無操作時の音声案内回数の設定	110
	9121	自動オペレータの無操作時の音声案内回数の設定	110
	9122	自動オペレータの無操作時の動作	110
	9123	自動オペレータの無操作時の呼出先の設定	110
	9124	不在メッセージの設定	110
	9125	メール用途の設定	111
	9126	最大録音時間の設定	111
	9127	ボックス毎の最大メール数の設定	111
	9128	メッセージ自動消去日数の設定	111
	9129	ボックス毎の自動消去の設定	111
	9131	同報グループの登録の設定	112
	9132	同報グループ番号登録の設定	112
	9133	無音検出処理方法の設定	113
	9134	留守番代行ボックスの設定	113
	9135	ポケットベル対応リトライ中の新規メッセージ着信通知方法の設定	114
	9136	ポケットベル対応着信通知呼出先2の有無	114
	9137	ポケットベル対応着信通知呼出先2の設定	115
	9138	VCUFの録音モード	115

オプションに関するコマンド

コマンド		タイトル	ページ
ドアホン	9200	ドアホン着信鳴動電話機の設定(昼)	116
	9201	ドアホン着信鳴動電話機の設定(夜)	116
	9202	ドアホン着信音の設定	116
	9203	ドアホン着信鳴動時間の設定	116
	9204	ドアホン着信応答可能時間の設定	117
	9205	オフフック中のドアホン着信鳴動の設定	117
	9206	ドアホン冒頭音の送出時間の設定	117
	9207	ドアホン着信の内線着信音による鳴動設定	117
PGU	9220	BGM外部スピーカ出力の設定	118
	9221	外部スピーカ呼出の冒頭音送出の設定	118
	9222	外部スピーカ、高音量ベルの鳴動電話機収容位置の設定	118
	9223	外部スピーカ、高音量ベルの鳴動範囲の設定	118
	9224	外部スピーカの鳴動音の設定	118
	9230	リモコン出力種別の設定	119
	9231	外線からのリモコン操作の設定	119
	9232	リモコンとドアホンの連動設定	119
	9233	リモコンの自動戻り(ON→OFF)の設定	119
EMU	9240	センサ入力種別の設定	120
	9241	センサ入力時の電話機呼出時間の設定	120
	9242	センサとリモコンの連動設定	120
	9243	センサの起動条件の設定	120
	9244	センサ検出時の鳴動電話機の設定	121
	9245	センサ着信のメッセージの種類の設定	121
	9250	MCA無線接続の有無	121
	9251	BGM機能の有無	121
専用線	9260	専用線の番号方式の設定	122
VRU, FXU	9270	VRUの録音時間の設定	123
	9271	複数外線のメッセージ送出タイミング	123
	9275	FAX使用中表示外線の設定	123
ISDN	9280	ISDN(INSネット64)の発番号送出の有無	124
	9281	ISDN(INSネット64)の発サブアドレス送出の有無	124
	9282	ISDN(INSネット64)着番号チェックの有無	124
	9283	ISDN(INSネット64)着サブアドレス チェックの有無	124
	9284	ISDN(INSネット64)の発番号/着番号の設定	124
	9285	ISDN外線短縮ダイヤル発信時 ダイヤルスタートタイミング	125
	9286	ISDN桁間タイマの設定	125
	9287	ISDN伝達能力の設定	125
	9288	[#]ダイヤルスタートの設定	125
	9289	ISDNの着番号受信時のダイヤルイン着信の可否の設定	125
	9290	ISDNのグローバル着信受付可否の設定	126
	9291	発番号表示桁数の設定(発サブアドレス表示の有無)	126
	9292	着信識別の有無の設定	126
	9293	電話機毎の着信応答履歴の有無	126
	9297	ナンバー・ディスプレイ時のカナ名称表示有無	127

課金に関するコマンド

コマンド		タイトル	ページ
全般	9300	設置局番号の設定	128
	9301	課金グループの設定	128
	9302	外線別料金管理の設定	128
	9303	国内の単位通話料金の設定(事務グループ)	129
	9304	国内の単位通話料金の設定(客室グループ)	129
	9305	外線転送時の料金加算方式の設定	129
	9306	課金から削除するプレダイヤル設定	129
	9307	タイミングリバース対象外線種別の設定	130
	9308	タイミングリバース開始までの時間の設定	130
	9309	割引料金適用日の設定	130
	9310	定額課金の設定	131
	9311	通話料金自動集計日時の設定	131
	9312	予算オーバー時発信規制サービスクラスの設定	131
	9313	予算使用率表示機能の設定	131
	9314	超過料金アラームの設定	132
	9315	課金の基本秒数テーブルの設定	132
	9316	簡易トランスレータのダイヤルと料金の設定	132
	9317	簡易トランスレータの基本通話秒数の設定	133
	9318	NTT,NCC昼夜切替時間帯の設定	133
国際通話	9320	KDDI通話料金パターンの設定	134
	9321	JT通話料金パターンの設定	134
	9322	IDC、NTT-C通話料金パターンの設定	134
	9323	KDDIの国番号及び対応料金パターン番号の設定	135
	9324	JTの国番号及び対応料金パターン番号の設定	135
	9325	IDC、NTT-Cの国番号及び対応料金パターン番号の設定	136
	9326	国際発信番号の設定	136
PIU接続・他	9330	PIUの接続機器の設定	137
	9331	PIUのインターフェース条件の設定	137
	9332	終話印字の設定	138
	9333	終話印字の起動条件の設定	138
	9334	終話印字の印字内容の設定	138
	9335	終話印字の長時間通話条件の設定	139
	9336	終話印字の超過料金条件の設定	139
	9337	通話料金にかける消費税の設定	139
	9338	終話印字の料金端数処理の設定(客室)	139
P.Pシステム	9360	P.Pシステムの消費税計算の設定	140
	9361	電話機毎のP.Pシステム機能の設定	140
ID発信	9362	ID番号の設定	141
	9363	ID発信用パスワードの設定	141
	9364	ID発信時の転送機能の有無	141
	9365	ID発信時のパスワード識別の有無	141

【ご参考 － 主な機能エンハンスとエンハンスで追加されたコマンド】

エンハンス項目	対応ROM版数	追加コマンド(本マニュアル記載分)	備 考
①専用線収容 ②長距離内線 ③MCA無線接続	COMU/CCU:2-1	＊066, ＊067, ＊070, ＊071, ＊073, ＊9250, ＊9260	CCUは2-1版が初版
①公一専接続 ②ID課金 ③プリンタ出力 ④プリペイドシステム ⑤内線PBダイヤル送出 ⑥多機能コンソール	COMU/CCU:5-1	＊095, ＊096, ＊727, ＊830, ＊831, ＊9304, ＊9305, ＊9311, ＊9330～＊9338, ＊9360～＊9365	
①ナンバー･ディスプレイ	COMU/CCU:7-1	＊410, ＊411, ＊9291, ＊9292	
①外線発信時のDILIN番号自動割付 ②オフフック応答可能なDILIN番号の設定 ③ISDN着番号でのDI動作 ④INSナンバー･ディスプレイの非通知理由表示	COMU/CCU:7-2	＊305, ＊364, ＊9289, ＊9290	④:ICUのROM版数1-12～
①自動リトライ15回	COMU/CCU:8-1		
①2VMU対応	COMU/CCU:8-2		
①ナンバー･ディスプレイ改善(着信履歴、携帯11桁表示) ②ストレートラインDIのグローバル着信対応 ③外線捕捉中のパークボタン押下動作選択 ④ポケットベル対応着信通知改善	COMU/CCU:8-5	＊660, ＊9135～＊9137, ＊9293	②:ICUのROM版数1-13～ ④:VCUまたはVCU(F)のROM版数1-10～
①ナンバー･ディスプレイ表示初期値16桁 ②リトライ回数初期値15回	COMU/CCU:8-9		
①i･ナンバー ②ISDNの＃ダイヤルスタート	COMU:8-16 CCU:8-17	＊355, ＊356, ＊9288	①:ICUのROM版数1-14～ ICUCのROM版数4-2～
①ISDN外線の録音レベル調整	COMU/CCU:8-23	＊076	
①ラインキー付きPHS ②スティミュラスプロトコル対応(INSボイスワープ) ③Vi電話機接続基本対応 ④国際発信番号設定対応	COMU/CCU:9-1	＊9326	①,②:ICUD必要
①代理応答グループ ②ナンバー･ディスプレイ時のカナ名称有無	COMU/CCU:9-4	＊717, ＊718, ＊9297	

保守系コマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊000</td><td>リモートサービス用パスワードの設定

リモートサービスで使用するパスワードを4桁で設定します。

※1.リモートサービスについては保守マニュアル編を参照してください。
※2.リモートサービスを行う場合はパスワードが必要ですので、必ず設定してください。</td><td>D D D D #
①

① DDDD 0000～9999
パスワード パスワード番号</td><td>パスワード:0000</td></tr>
<tr><td>＊001</td><td>システムデータ設定用電話機の設定

データ設定用電話機を2台まで設定します。

本設定を実施後、データ設定用電話機の指定方法[(P2-1),2項]で、本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した電話機に指定すると、お客様の誤操作によるデータ変更を防止できる確率が向上します。

※プログラマブルキーの一括設定(＊031,＊032)の設定元は項番1の電話機のみです。</td><td>D₀ D₁ D₁ D₁ #
① ②

① D₀ 1 2
項番 設定No.

② D₁D₁D₁ 000 101～106,109～128
データ設定用電話機 設定なし 対象収容位置

注）データ設定用電話機の指定方法[(P2-1,2項]で、全電話機を指定すれば、どの電話機からでも本ｺﾏﾝﾄﾞを設定できます。</td><td>1:101
2:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊002</td><td>リモートサービスの桁間時間

リモートサービス時、ダイヤルの桁間のﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間(回線切断するまでの時間)を設定します。

※リモートサービス時ダイヤル無操作の時間がこの時間になると、回線が切断されます。</td><td>D #
①

① D 0 1
桁間時間 3分 10分</td><td>0:3分</td></tr>
<tr><td>＊003</td><td>ROM版数ﾓﾆﾀ

基板毎にROMの版数を確認できます。</td><td>D #
①

※2 ※2
① D 0 1 2
ROM種類 COMU VCU ICU

※1.確認時の表示内容(COMUの場合)
003=0-01-01-C
↑ ROM版数(1-1版を示す。)
ROM種類

※2.基板が動作していない場合(未実装も含む)は--Pの表示となります。</td><td>―――</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊004
(ﾘﾓｰﾄ
ｻｰﾋﾞｽ
不可)</td>
<td>ﾁｪｯｸｻﾑﾓﾆﾀ

ROM及びRAMのﾁｪｯｸｻﾑ確認用ｺﾏﾝﾄﾞです。
ﾒﾓﾘｰ異常の確認に利用できます。

※1. ROMのﾁｪｯｸｻﾑは、COMU基板のROMのﾁｪｯｸｻﾑﾃﾞｰﾀです。
※2. RAMのﾁｪｯｸｻﾑは、設定したｼｽﾃﾑﾃﾞｰﾀのﾁｪｯｸｻﾑで電源ON時のﾃﾞｰﾀと現在のﾃﾞｰﾀを確認できます。</td>
<td>D ＃
①
<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td></td><td>種類</td><td>COMUの
ROM1</td><td>COMUの
ROM2</td><td>RAM
固定ｴﾘｱ
(POW ON時)</td><td>RAM
固定ｴﾘｱ
(動作中)</td></tr>
</table>
※1. 表示例は以下のとおりです。
004=1-0000c
↑―― ﾁｪｯｸｻﾑ

※2. ﾃﾞｰﾀは16進数で表示されます。</td>
<td>―――</td>
</tr>
<tr>
<td>＊005
(ﾘﾓｰﾄ
ｻｰﾋﾞｽ
不可)</td>
<td>再開処理回数ﾓﾆﾀ

再開処理を検出した回数の確認用ｺﾏﾝﾄﾞです。

※再開処理とは、ｼｽﾃﾑ異常でﾘｾｯﾄ状態になることです。</td>
<td>回数の確認 ＃

回数のｸﾘｱ 0 0 ＃

※ﾃﾞｰﾀは2桁で16進数で表示します。</td>
<td>―――</td>
</tr>
<tr>
<td>＊006
(ﾘﾓｰﾄ
ｻｰﾋﾞｽ
不可)</td>
<td>障害発生ｱﾄﾞﾚｽﾓﾆﾀ

再開処理を検出した場合の障害発生ｱﾄﾞﾚｽの確認用ｺﾏﾝﾄﾞです。

※正確に異常を検出できない場合もありますのでﾃﾞｰﾀは参考値となります。</td>
<td>＃

※確認時の表示
006=××××××××c
↑―― ﾃﾞｰﾀは8桁(16進数)で表示します。</td>
<td>―――</td>
</tr>
<tr>
<td>＊007
(ﾘﾓｰﾄ
ｻｰﾋﾞｽ
不可)</td>
<td>全ﾃﾞｰﾀ初期設定

設定ﾃﾞｰﾀを全て初期値にする設定です。ただし、＊120のﾃﾞｰﾀは保持されます。

※1. 本ｺﾏﾝﾄﾞは＊001で設定した電話機のみ有効です。
※2. ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ,可変短縮ﾀﾞｲﾔﾙ,ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰはｸﾘｱされません。
※3. 本ｺﾏﾝﾄﾞを実行するとｼｽﾃﾑﾘｾｯﾄになり、通話は切断されますので通話中には行わないでください。</td>
<td>0 0 ＃ 1 ＃

※1. 本ｺﾏﾝﾄﾞはﾃﾞｰﾀの確認表示はありません。
※2. 最後の ＃ を押したときにｼｽﾃﾑﾘｾｯﾄになりﾃﾞｰﾀが初期値になります。
※3. 1 の代わりに 0 を押すと初期化されずに次のｺﾏﾝﾄﾞ設定待ち状態となります。</td>
<td>―――</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊008</td><td>ｼｽﾃﾑ異常ｺｰﾄﾞﾓﾆﾀ

ｼｽﾃﾑ異常の内容確認用ｺﾏﾝﾄﾞです。

※正確に異常を検出できない場合もありますのでﾃﾞｰﾀは参考値となります。</td><td>内容の確認　[＃]

内容のｸﾘｱ　[0] [0] [＃]

<table>
<tr><th>表示ﾃﾞｰﾀ</th><th>内　容</th><th>表示ﾃﾞｰﾀ</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>００</td><td>異常検出なし</td><td>０３</td><td>01+02</td></tr>
<tr><td>０１</td><td>再開処理あり</td><td>０９</td><td>01+08</td></tr>
<tr><td>０２</td><td>ROMﾁｪｯｸｻﾑｴﾗｰ</td><td>１０</td><td>02+08</td></tr>
<tr><td>０８</td><td>PBﾚｼｰﾊﾞｴﾗｰ</td><td>１１</td><td>01+02+08</td></tr>
</table></td><td>―――</td></tr>
<tr><td>[＊009]
(ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽ不可)</td><td>ﾃﾞｰﾀ伝送ｴﾗｰ回数ﾓﾆﾀ

主装置 ― 電話機間のﾃﾞｰﾀ伝送ｴﾗｰ回数の確認用ｺﾏﾝﾄﾞです。</td><td>回数の確認　[D] [D] [D] [＃]

回数のｸﾘｱ　[D] [D] [D] [0] [0] [＃]

<table>
<tr><td>ＤＤＤ</td><td>101～106, 109～128</td></tr>
<tr><td>対象電話機</td><td>収容位置</td></tr>
</table>
※ 確認時の表示内容

$\underbrace{D_0D_0D_0}$, $\underbrace{D_1D_1D_1}$, $\underbrace{D_2D_2D_2}$, $\underbrace{D_3D_3D_3}$
連続ｴﾗｰの最大値　切断回数　連続ｴﾗｰの最大値　ｴﾗｰのﾄｰﾀﾙ
電話機→主装置　主装置→電話機</td><td>―――</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊010</td><td>機能番号及び内線収容位置ﾓﾆﾀ

内線番号や特番から収容位置(機能番号)を確認するｺﾏﾝﾄﾞです。

※本ｺﾏﾝﾄﾞは＊081,＊082で設定した内容を逆に確認するｺﾏﾝﾄﾞです。</td><td>D (D D D) #
①

① D(DDD) 0～9999
対象番号 内線番号/特番
※1. 確認内容は＊081,＊082の機能番号で表示されます。
※2. 設定されていない番号の場合は、99を表示します。
※3. 確認する番号が1～3桁の場合は、D D # # とします。(2桁の例)</td><td>―――</td></tr>
<tr><td>＊011</td><td>基板種別ﾓﾆﾀ

実装された基板の種別を確認できます。

※ｽﾛｯﾄ番号とﾎﾟｰﾄの対応を下表に示します。尚、ﾎﾟｰﾄの位置は［工事ﾏﾆｭｱﾙ編］を参照してください。

<table>
<tr><th>ｽﾛｯﾄ番号</th><th>対応ﾎﾟｰﾄ</th></tr>
<tr><td>11</td><td>ﾎﾟｰﾄ1</td></tr>
<tr><td>12</td><td>ﾎﾟｰﾄ2</td></tr>
<tr><td>13</td><td>ﾎﾟｰﾄ3</td></tr>
<tr><td>14</td><td>OPﾎﾟｰﾄ</td></tr>
<tr><td>15</td><td>ﾎﾟｰﾄ4</td></tr>
<tr><td>16</td><td>ﾎﾟｰﾄ5</td></tr>
</table></td><td>D D #
①

① DD 11～16
確認ｽﾛｯﾄ ｽﾛｯﾄ番号

※確認内容は下表のとおりです。

<table>
<tr><th>表示ｺｰﾄﾞ</th><th>基板名</th><th>表示ｺｰﾄﾞ</th><th>基板名</th><th>表示ｺｰﾄﾞ</th><th>基板名</th></tr>
<tr><td>000</td><td>4DCI</td><td>010</td><td>CIU</td><td>032</td><td>VRU</td></tr>
<tr><td>001</td><td>4STI</td><td>012</td><td>PHI64</td><td>064</td><td>DHU,DHUA</td></tr>
<tr><td>002</td><td>2STI+2DCI</td><td>013</td><td>2VMU</td><td>080</td><td>DHUB</td></tr>
<tr><td>003</td><td>1/2DSI</td><td>016</td><td>2/4COI</td><td>112</td><td>PGU</td></tr>
<tr><td>004</td><td>PHI,PHI32</td><td>017</td><td>2COI+2DCI</td><td>128</td><td>PBU</td></tr>
<tr><td>005</td><td>4VMU</td><td>018</td><td>2LDI</td><td>160</td><td>EMU</td></tr>
<tr><td>007</td><td>CFU</td><td>019</td><td>1/2DTIB ＊1</td><td>255</td><td>未実装</td></tr>
<tr><td>008</td><td>2HFU</td><td>022</td><td>TRI(1)/(2)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>009</td><td>2LLI</td><td>023</td><td>20DI</td><td></td><td></td></tr>
</table>
＊1:1/2DSUDTI、1/2DSUISも同様</td><td>―――</td></tr>
<tr><td>＊012</td><td>電話機の接続状態のﾓﾆﾀ

電話機が接続されているか否かを確認できます。

※単独電話機収容の場合は、電話機の接続に関係なく STI基板を実装したﾎﾟｰﾄの収容は接続ありとなります。</td><td>D D D #
①

① DDD 101～128
対象電話機 収容位置

※確認内容は、
0： 接続なし
1： 接続あり</td><td>―――</td></tr>
</table>

保守系コマンド

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊013	外線ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ 外線毎にﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ(閉塞)することができます。 ※1.試験的に発信を禁止する場合に使用します。 ※2.ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰしても着信は受けられます。 ※3.ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ状態は電源をOFFしても保持されます。(COMUのBATTｽｲｯﾁがOFFですと他のﾃﾞｰﾀと一緒に初期化されます。)	[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂] [#] ①　②　③ ① DₒDₒ / 対象外線 / 01～08 / 先頭外線番号 ② D₁D₁ / 対象外線 / 01～08 / 最終外線番号 ③ D₂ / 状態 / 0 / 開放 / 1 / ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ	0:開放
＊015	外線使用中電話機ﾓﾆﾀ 外線を使用中の電話機を確認するｺﾏﾝﾄﾞです。 ※外線通話中及び保留中の場合に対応電話機の収容位置が確認できます。	[D][D] [#] ① ① DD / 対象外線 / 01～08 / 外線番号 ※表示は電話機の収容位置で行います。 収容位置 101～128	―――
＊016	内線通話路ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ 内線通話路のﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰを行います。	[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂] [#] ①　②　③ ① DₒDₒ / 対象内線通話路 / 01～16 / 先頭通話路No. ② D₁D₁ / 対象内線通話路 / 01～16 / 最終通話路No. ③ D₂ / 状態 / 0 / 開放 / 1 / ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ	0:開放
＊017	MFR,PBRﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ PBﾚｼｰﾊﾞｰのﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰを行います。 ※1.MFR:COMU内PBﾚｼｰﾊﾞｰ(基本) PBR:PBU内PBﾚｼｰﾊﾞｰ(増設) ※2.ﾊﾟﾜｰｵﾝｽﾀｰﾄ後、PBﾚｼｰﾊﾞｰが実装されていない場合は、ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰされます。	[D₀][D₀] [D₁] [#] ①　② ① DₒDₒ / 番号 / 00 MFR / 01 PBR1 / 02 PBR2 / 03 PBR3 / 04 PBR4 / ～ / 12 PBR12 ② D₁ / 状態 / 0 / 開放 / 1 / ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ ※PBRが搭載されていない場合は、設定/確認時、ｴﾗｰ表示(--P)となります。	0:開放

保守系コマンド

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊019	CFUﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ CFUのﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰを行います。	D_0 D_1 ＃ ①　② ① D_0 1～4 / CFU番号 1～4 ② D_1 0 1 / 状態 開放 ﾒｰｸﾋﾞｼﾞｰ ※CFUが搭載されていない場合は、設定/確認時、ｴﾗｰ表示(--P)となります。	0:開放
＊021	MOTHﾋｭｰｽﾞ状態ﾓﾆﾀ EMUが実装されているMOTHのﾋｭｰｽﾞ状態を確認できます。	＃ ※確認内容は、 0 : ﾋｭｰｽﾞ接 1 : ﾋｭｰｽﾞ断またはEMUなし	―――

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊030	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定	D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₂ #	対応ｷｰ番号欄による。

電話機のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰを設定します。

※1. 本設定は、 i ﾎﾞﾀﾝによるﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定と共通です。
※2. このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。

①　②　③
※

①	$D_0D_0D_0$	101～106, 109～128
	対象電話機	収容位置

②	D_1D_1	下表参照
	ｷｰ番号	対応ｷｰ番号

③	D_2D_2	下表参照
	機能番号	対応機能番号

※本ｺﾏﾝﾄﾞは、D_1D_1以降の連続設定ができます。尚、別の収容位置の電話機を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。

［対応キー番号］

ボタン番号	対応キー		
	ﾎﾞﾀﾝ電話機	TELCL	TELHK
０１	外線１	外線１	外線１
０２	外線２	外線２	外線２
０３	外線３	外線３	外線３
０４	外線４	外線４	―――
０５	外線５	外線５	―――
０６	外線６	外線６	―――
07～24	外線７～２４	―――	―――
２５	代理応答	―――	―――
２６	内線	―――	―――
２７	フック	―――	―――

［機能番号とキー名称］

機能番号	キー名称	機能番号	キー名称	機能番号	キー名称
００	ダイヤル	７３	ﾎﾞｲｽﾒﾓ機能	８７	リモコン２
01～08	外線1～外線8	７４	転送先切替	８８	リモコン３
６０	なんでも１	７５	プリセット	８９	リモコン４
６１	なんでも２	７６	出退１	９０	聴話
６２	なんでも３	７７	出退２	９１	履歴
６３	なんでも４	７８	出退３	９２	キーパッド
６４	受話音量	７９	出退４	９３	サービス
６５	発信	８０	内線	９４	フック
６７	ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ切替	８１	転送切替	９５	転送
６８	再発信	８２	マイク	９６	代理応答
６９	短縮	８３	３者会議	９７	相談ｻｰﾋﾞｽ
７０	短縮２	８４	不在設定	９８	自己保留
７１	お待たせ	８５	夜間切替	９９	スタート
７２	録音	８６	リモコン１		

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊031</td><td>ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの可変ﾎﾞﾀﾝ一括設定</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>可変ﾎﾞﾀﾝ
(代理応答,
内線,ﾌｯｸ)</td><td>一括なし</td><td>一括あり</td></tr></table>※フックと代理応答ﾎﾞﾀﾝはﾗﾝﾌﾟがありませんのでﾗﾝﾌﾟ表示を行う機能にはﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰとして使わないでください。</td><td>0:一括なし</td></tr>
<tr><td>＊032</td><td>ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの外線ﾎﾞﾀﾝ一括設定</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>外線ﾎﾞﾀﾝ
(外線1～24)</td><td>一括なし</td><td>一括あり</td></tr></table></td><td>0:一括なし</td></tr>
<tr><td>＊040</td><td>外線線路ロス</td><td>D_0 D_0　D_1 D_1　D_2　#
①　②　③
<table><tr><td>①</td><td>D_0D_0</td><td>01～08</td></tr><tr><td></td><td>対象外線</td><td>先頭外線番号</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D_1D_1</td><td>01～08</td></tr><tr><td></td><td>対象外線</td><td>最終外線番号</td></tr></table><table><tr><td>③</td><td>D_2</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>線路ロス</td><td>4dB以上</td><td>2～3dB</td><td>0～1dB</td></tr></table></td><td>0:4dB以上</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊041	**外線線路の線径** 外線毎に線路の線径を設定します。 (ｱﾅﾛｸﾞ外線及びLD専用線)	D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号 ② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号 ③ D₂ 0:線径 0.32～0.65φ 1:0.9φ	0: 0.32～0.65φ
＊043	**ｱﾅﾛｸﾞ外線通話の受話音量** ｱﾅﾛｸﾞ外線の受話音量を外線毎に設定します。 ※1. 基本の設定は＊040、＊041で行ってください。(転送電話の場合は＊602も含む) ※2. 本ｺﾏﾝﾄﾞ設定後に＊040を変更すると本ｺﾏﾝﾄﾞの内容も変更されますので、本ｺﾏﾝﾄﾞ設定後は＊040の設定は行わないでください。＊040を変更した場合は、再度本ｺﾏﾝﾄﾞを設定してください。(必要な場合) ※3. 本ｺﾏﾝﾄﾞを設定する場合は、必ず現在の設定内容を確認してから行ってください。(＊040の設定により変わるため)	D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号 ② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号 ③ D₂ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 音量 大←→小	ｺﾏﾝﾄﾞ＊040の設定により可変
＊048	**VMU再生ﾎﾞﾘｭｰﾑ** ﾒｰﾙ再生時の音量を調整します。	D # ① ① D 0 1 2 3 4 5 VMU再生音量補正 -4dB -8dB -12dB -16dB -20dB -24dB 大←→小	1:-8dB
＊049	**ｱﾅﾛｸﾞ外線の録音ﾚﾍﾞﾙ** ﾎﾞｲｽﾒｰﾙで通話録音をするときのｱﾅﾛｸﾞ外線の録音ﾚﾍﾞﾙを調整できます。 ※調整幅は4dB毎です。	D # ① ① D 0 1 2 3 4 5 6 7 音量 大 標準 →小	1:標準

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊050</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ子機冒頭音ﾎﾞﾘｭｰﾑ

ﾄﾞｱﾎﾝ呼出時のﾄﾞｱﾎﾝ子機の冒頭音の音量を調整します。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀: 1 ﾄﾞｱﾎﾝA / 2 ﾄﾞｱﾎﾝB / 3 ﾄﾞｱﾎﾝC / 4 ﾄﾞｱﾎﾝD
② D₁: 0 +4dB / 1 0dB / 2 -4dB / 3 -8dB / 4 -12dB / 5 -16dB / 6 -20dB / 7 -24dB
DHU冒頭音音量補正
大 ←→ 小</td><td>4:-12dB</td></tr>
<tr><td>＊051</td><td>DH→電話機ﾎﾞﾘｭｰﾑ

ﾄﾞｱﾎﾝ通話時のﾄﾞｱﾎﾝ→電話機方向への通話音量を調整します。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀: 1 ﾄﾞｱﾎﾝA / 2 ﾄﾞｱﾎﾝB / 3 ﾄﾞｱﾎﾝC / 4 ﾄﾞｱﾎﾝD
② D₁: 0 +4dB / 1 0dB / 2 -4dB / 3 -8dB / 4 -12dB / 5 -16dB / 6 -20dB / 7 -24dB
DHU送話音量補正
大 ←→ 小</td><td>4:-12dB</td></tr>
<tr><td>＊052</td><td>電話機→DHﾎﾞﾘｭｰﾑ

ﾄﾞｱﾎﾝ通話時の電話機→ﾄﾞｱﾎﾝ方向への通話音量を調整します。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀: 1 ﾄﾞｱﾎﾝA / 2 ﾄﾞｱﾎﾝB / 3 ﾄﾞｱﾎﾝC / 4 ﾄﾞｱﾎﾝD
② D₁: 0 +4dB / 1 0dB / 2 -4dB / 3 -8dB / 4 -12dB / 5 -16dB / 6 -20dB / 7 -24dB
DHU受話音量補正
大 ←→ 小</td><td>4:-12dB</td></tr>
<tr><td>＊053</td><td>PGU冒頭音ﾎﾞﾘｭｰﾑ

PGUを使用した外部スピーカ呼出の冒頭音の音量を調整します。</td><td>D #
①
① D: 0 +2dB / 1 -2dB / 2 -6dB / 3 -10dB / 4 -14dB / 5 -18dB / 6 -22dB / 7 -26dB
PGU冒頭音音量補正
大 ←→ 小</td><td>2:-6dB</td></tr>
<tr><td>＊054</td><td>PGU出力ﾎﾞﾘｭｰﾑ

PGUを使用した外部スピーカ呼出の音声出力音量を調整します。</td><td>D #
①
① D: 0 +4dB / 1 0dB / 2 -4dB / 3 -8dB / 4 -12dB / 5 -16dB / 6 -20dB / 7 -24dB
PGU出力音量補正
大 ←→ 小</td><td>2:-4dB</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊055</td><td>PGU外部ｽﾋﾟｰｶ着信音ﾎﾞﾘｭｰﾑ

PGUを使用した外部ｽﾋﾟｰｶへの着信音送出時の音量を調整します。
※外部ｽﾋﾟｰｶからBGMを送出している場合は、BGMの音量も同様に変更されます。</td><td>D　#
①
①
<table><tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>PGU外部ｽﾋﾟｰｶ着信音音量補正</td><td>+4 dB</td><td>0 dB</td><td>-4 dB</td><td>-8 dB</td><td>-12 dB</td><td>-16 dB</td><td>-20 dB</td><td>-24 dB</td></tr></table>大 ←――――――→ 小</td><td>4:-12dB</td></tr>
<tr><td>＊057</td><td>EMU入力ﾎﾞﾘｭｰﾑ

EMUを使用した外部保留音送出の外部音源入力音量を調整します。</td><td>D　#
①
①
<table><tr><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>EMU入力音量補正</td><td>+4 dB</td><td>0 dB</td><td>-4 dB</td><td>-8 dB</td><td>-12 dB</td><td>-16 dB</td><td>-20 dB</td><td>-24 dB</td></tr></table>大 ←――――――→ 小</td><td>2:-4dB</td></tr>
<tr><td>＊060</td><td>VRU再生ﾎﾞﾘｭｰﾑ

VRU再生時の音量を調整します。</td><td>D₀　D₁　#
①　②
<table><tr><td>①</td><td>D₀</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>VRU基板</td><td>第1基板</td><td>第2基板</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td></td><td>VRU再生音量補正</td><td>-4 dB</td><td>-8 dB</td><td>-12 dB</td><td>-16 dB</td><td>-20 dB</td><td>-24 dB</td></tr></table>大 ←――――――→ 小</td><td>1:-8dB</td></tr>
<tr><td>＊063</td><td>INSﾈｯﾄ64外線通話の受話音量

INSﾈｯﾄ64外線通話の受話音量をｼｽﾃﾑ一括で設定します。
※通常は調整の必要はありません。ｱﾅﾛｸﾞ外線、内線通話等とのﾚﾍﾞﾙ合わせは「標準」の位置で行われていますので、「標準」の位置での使用を推奨致します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td></td><td>音量</td><td>大</td><td colspan="2">←――</td><td>標準</td><td colspan="2">――→</td><td>小</td></tr></table></td><td>3:標準</td></tr>
<tr><td>＊066</td><td>ODI送話ｹﾞｲﾝ

OD専用線を収容する外線毎に、ODIの送話ｹﾞｲﾝを設定します。
※ｹﾞｲﾝの設定方法は、「1.工事ﾏﾆｭｱﾙ編」のET-20DI-Giの説明ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。</td><td>D₀　D₀　D₁　D₁　D₂　#
①　②　③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>03, 04, 07, 08</td></tr><tr><td></td><td>対象外線</td><td>先頭外線番号</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>03, 04, 07, 08</td></tr><tr><td></td><td>対象外線</td><td>最終外線番号</td></tr></table></td><td rowspan="2">4:0dB</td></tr>
<tr><td>＊067</td><td>ODI受話ｹﾞｲﾝ

OD専用線を収容する外線毎に、ODIの受話ｹﾞｲﾝを設定します。
※ｹﾞｲﾝの設定方法は、「1.工事ﾏﾆｭｱﾙ編」のET-20DI-Giの説明ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。</td><td><table><tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td></td><td>設定ｹﾞｲﾝ</td><td>-16 dB</td><td>-12 dB</td><td>-8 dB</td><td>-4 dB</td><td>0 dB</td><td>+2 dB</td><td>+4 dB</td><td>+6 dB</td></tr></table>小 ←――――――→ 大</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊070</td><td>LDI送話ｹﾞｲﾝ

LD専用線を収容する外線毎に、LDIの送話ｹﾞｲﾝを設定します。
※ｹﾞｲﾝの設定方法は、「1.工事ﾏﾆｭｱﾙ編」のET-2LDI-Giの説明ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀ 03,04,07,08 / 対象外線 先頭外線番号
② D₁D₁ 03,04,07,08 / 対象外線 最終外線番号
③ D₂ 0 1 2 3 4 5 / 設定ｹﾞｲﾝ -9dB -6dB -3dB 0dB +3dB +6dB
小 ←→ 大</td><td>3:0dB</td></tr>
<tr><td>＊071</td><td>LDI受話ｹﾞｲﾝ

LD専用線を収容する外線毎に、LDIの受話ｹﾞｲﾝを設定します。
※ｹﾞｲﾝの設定方法は、「1.工事ﾏﾆｭｱﾙ編」のET-2LDI-Giの説明ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀ 03,04,07,08 / 対象外線 先頭外線番号
② D₁D₁ 03,04,07,08 / 対象外線 最終外線番号
③ D₂ 0 1 2 3 4 5 6 7 / 設定ｹﾞｲﾝ -9dB -6dB -3dB 0dB +3dB +6dB +9dB +12dB
小 ←→ 大</td><td>5:+6dB</td></tr>
<tr><td>＊073</td><td>LLI送受話ｱﾝﾌﾟｹﾞｲﾝ

LLIの収容位置毎に、LLIの送受話ｹﾞｲﾝを設定します。
※ｹﾞｲﾝの設定方法は、「1.工事ﾏﾆｭｱﾙ編」のET-2LLI-Giの説明ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 109～126 / 対象電話機 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 109～126 / 対象電話機 最終収容位置
③ D₂ 0 1 2 3 / 設定ｹﾞｲﾝ 0dB +3dB +6dB +9dB
小 ←→ 大</td><td>1:+3dB</td></tr>
<tr><td>＊076</td><td>ISDN外線の録音ﾚﾍﾞﾙ

ﾎﾞｲｽﾒｰﾙで通話録音をするときのISDN外線の録音ﾚﾍﾞﾙを調整できます。
※1.調整幅は4dB毎です。
※2.COMUのROM版数8-23から有効です。
※3.「0」に設定したときと「3」に設定したときの音量は同じです。</td><td>D #
①
① D 0 1 2 3 4 5 6 7 8 / 音量 標準 大 ← 標準 → 小</td><td>0:標準</td></tr>
</table>

システム系コマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊080</td><td>内線番号及び特番桁数の設定

内線番号及び特番の桁数を1桁目のﾀﾞｲﾔﾙ毎に設定します。

※1. 各々の番号は＊081または＊082で設定します。
※2. 本ｺﾏﾝﾄﾞは、特番等の誤設定を防ぐために設定します。</td><td>D₀ D₁ #
① ②

① D₀ 0～9
ﾀﾞｲﾔﾙ 0～9

② D₁ 1 2 3 4
桁数 1桁 2桁 3桁 4桁</td><td>D₀ D₁
0－1
1－2
～ ～
7－2
8－1
9－1</td></tr>
<tr><td>＊081</td><td>(1桁/2桁)特番設定

各種機能の特番を設定します。

※1. 特番の桁数は＊080であらかじめ設定します。
本ｺﾏﾝﾄﾞで設定できる機能の特番は1桁または2桁です。
※2. 特番設定時、その番号が＊081または＊082ですでに設定されている番号と重複した場合は、すでに設定されている機能番号のﾃﾞｰﾀが自動的に消去されます。
※3. 内線番号等の内線系の番号は、＊082で設定します。
※4. 番号の消し方
機能番号D₀D₀=99に消したい番号を登録します。
注：入力した番号の桁数が特番桁数(＊080で設定)より多くても、特番桁数までの内容で消去されます。(例：8で始まる特番を1桁と設定したときに、81と入力すると、実際には特番8が消去されます。)
※5. 外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1～6の特番は外線自動発信機能で＊110で設定した各ｸﾞﾙｰﾌﾟの外線を捕捉するための特番です。
※6. ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ「 」)は、ID発信(公専公接続を含む)の際に、外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ「 」にて「自動捕捉あり」に設定されている外線(＊110で設定)を捕捉します。
※7. ID短縮発信番号は、ID発信の際の短縮ﾀﾞｲﾔﾙ用発信特番で、捕捉する外線は外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1のみとなります。(＊115で他のｸﾞﾙｰﾌﾟに変更可能)</td><td>D₀ D₀ D₁ (D₁) #

機能番号 番号
00～23 0～9
00～99

※機能番号は47まで入力できますが、指定外の番号は入力しても機能しません。</td><td>左表参照</td></tr>
</table>

D₀D₀	内　　容	初期値
00	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	0
01	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	なし
02	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	なし
03	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	なし
04	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	なし
05	外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ6	なし
06	短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信	なし
07	電話機短縮登録	なし
08	応答遅延転送登録	なし
09	不在転送(外線)登録(単独TEL、PS専用)	なし
12	外線指定捕捉	なし
13	外線応答番号	8
14	保留応答番号	9
15	保留自己外線応答番号	なし
16	代理応答番号	なし
17	ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ1)	なし
18	ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ2)	なし
19	ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ3)	なし
20	ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ4)	なし
21	ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ5)	なし
22	ID発信番号(ｸﾞﾙｰﾌﾟ6)	なし
23	ID短縮発信番号	なし

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊082	**内線番号及び特番の設定** 内線番号を設定します。 ※1. 内線番号の桁数は＊080であらかじめ設定します。 機能番号101～372は1～4桁で、機能番号700～734は1または2桁で設定します。 ※2. 特番設定時、その番号が＊081または＊082ですでに設定されている番号と重複した場合は、すでに設定されている機能番号のﾃﾞｰﾀが自動的に消去されます。 ※3. 内線番号の桁数を変更した場合は本ｺﾏﾝﾄﾞで内線番号の再設定が必要です。 ※4. 内線番号を変更した場合 DSS／BLFの設定も変更して下さい。（設定し直さないと以前の収容位置で表示します。） ※5. 外線発信等の外線系の特番は＊081で設定します。 ※6. 番号の消し方 機能番号$D_oD_oD_o$=999に消したい番号を登録します。 注：入力した番号の桁数が特番桁数（＊080で設定）より多くても、特番桁数までの内容で消去されます。（例：3で始まる特番を2桁と設定したときに、312と入力すると、実際には特番31が消去されます。） ※7. これらの収容位置は以下の場合に使用します。 ①ﾎﾞｲｽﾒｰﾙで、ﾎﾞｯｸｽを電話機対応以外にも作る場合にこれらの収容位置にﾎﾞｯｸｽ番号を登録します。 ﾎﾞｯｸｽ番号は先頭の数字が0, 8, 9以外としてください。 （電話機が接続されている場合、内線番号と同じ番号が、基本の個人ﾎﾞｯｸｽ(内線ﾎﾞｯｸｽ)のﾎﾞｯｸｽ番号となります。尚、増設架の接続や電話機収容の有無に関係なく、機能番号101～172, 201～272, 301～372に番号を登録すると、個人ﾎﾞｯｸｽ(電話機が接続されていない場合は一般ﾎﾞｯｸｽ)として利用できます。） ②ID発信(公専公接続を含む)を行う際に使用するID番号を、仮想収容位置に登録します。 ※8. VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。 （基板1枚当たり最大4件）	D_o D_o D_o D_1 (D_1 D_1 D_1) # ①　② ①	**下表による**

①	機能番号	内　　容	初期値
	101～128	電話機収容位置（3桁で入力）	10～37
	129～172 201～272 301～372	仮想収容位置（3桁で入力、※7参照）	なし
	700	内線一斉呼出	70
	701～704	内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ1呼出～内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ4呼出	71～74
	705～715	内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ5呼出～内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ15呼出	なし
	716	外部ｽﾋﾟｰｶ呼出	75
	717～720	外部ｽﾋﾟｰｶｸﾞﾙｰﾌﾟ1呼出～外部ｽﾋﾟｰｶｸﾞﾙｰﾌﾟ4呼出	なし
	721	外部ｽﾋﾟｰｶ＋内線一斉呼出	なし
	722	ﾍﾟｰｼﾞﾝｸﾞ応答	77
	723	ﾄﾞｱﾎﾝA呼出	なし
	724	ﾄﾞｱﾎﾝB呼出	なし
	725	ﾄﾞｱﾎﾝC呼出	なし
	726	ﾄﾞｱﾎﾝD呼出	なし
	727	VRU1-1録音／確認	78
	728	VRU1-2録音／確認	79
	729	VRU1-3録音／確認	なし
	730	VRU1-4録音／確認	なし
	731	VRU2-1録音／確認	なし
	732	VRU2-2録音／確認	なし
	733	VRU2-3録音／確認	なし
	734	VRU2-4録音／確認	なし

②		
	D_1($D_1D_1D_1$)	0～9(00～99) (000～999) (0000～9999)
	内線番号、特番等	0～9(00～99) (000～999) (0000～9999)

※機能番号は735～747も入力できますが入力しても機能しません。

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊083	ユーザ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの設定 電話機の i ＋ 3 ＋…操作で使用するﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ及び留守ﾓｰﾄﾞやDIDによりﾘﾓｰﾄ操作に使用するﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを設定します。	D D D D # ① ① ＤＤＤＤ 0000～9999 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0000～9999 ※ﾃﾞｰﾀｸﾘｱの場合は00を入力します。	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:0000
＊084	夜間切替の操作電話機の設定 夜間切替ﾎﾞﾀﾝで夜間切替の操作を行う電話機を外線ﾃﾅﾝﾄ毎及びﾄﾞｱﾎﾝについてそれぞれ8台まで設定します。 ※1.複数のﾃﾅﾝﾄ番号に同じ電話機を設定すると、先に設定したﾃﾅﾝﾄのﾃﾞｰﾀは削除されます。 ※2.下記のﾎﾞﾀﾝ操作も本ｺﾏﾝﾄﾞDoDoを00～15で設定した電話機で操作可能となります。 転送切替ﾎﾞﾀﾝ …転送電話切替 転送先切替ﾎﾞﾀﾝ…転送電話の転送先切替 お待たせﾎﾞﾀﾝ …外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ DI/ISDN着信拒否 ※3.ﾃﾅﾝﾄ番号は＊641、＊643で設定します。	D_o D_o D_1 D_2 D_2 D_2 # ① ② ③ ① DoDo ﾃﾅﾝﾄ番号 / 内　容 00 / ﾄﾞｱﾎﾝ＋全外線一括切替 01～15 / 対応ﾃﾅﾝﾄの外線を切替 16 / ﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動電話機を切替 ② D_1 項番 1～8 ③ $D_2D_2D_2$ 操作電話機 101～106,109～128 ※ｸﾘｱする場合は、操作電話機の対象収容位置を000として設定します。	000:設定なし
＊085	夜間切替の時刻 夜間切替用ﾀｲﾏの時刻を設定します。 ※1.設定は昼の開始時刻と終了時刻を設定します。 ※2.本設定は i ＋ 4 のﾕｰｻﾞｰ設定と共通です。（取扱説明書 参照）	D_o D_1 D_1 D_1 D_1 D_2 D_2 D_2 D_2 D_3 # ① ② ③ ④ ① Do 曜日 / 0～6 日～土 / 7 全曜日 ② $D_1D_1D_1D_1$ 昼開始時刻 0000～2359 / 00:00～23:59 ③ $D_2D_2D_2D_2$ 昼終了時刻 0000～2359 / 00:00～23:59 ④ D_3 区分 / 1 夜間 / 2 外出 / 3 休日 ※1.昼開始時刻とは昼間ﾓｰﾄﾞ開始時刻のことです。（夜ﾓｰﾄﾞ終了） ※2.昼終了時刻とは昼間ﾓｰﾄﾞ終了時刻のことです。（夜ﾓｰﾄﾞ開始） ※3.④の区分では夜状態のﾓｰﾄﾞを設定します。 ※4.ｸﾘｱする場合は①の後に 0 0 # と操作します。 ※5.ﾃﾞｰﾀの確認にて、①に7を入力した場合はﾓﾆﾀできません。	なし

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊086	**留守ﾓｰﾄﾞの外線 またはDI加入者番号の設定** 留守ﾓｰﾄﾞに設定する外線をひとつだけ設定します。 ※1.DI回線の場合は、外線番号の代わりにDI加入者番号(1～4桁)を設定します。 ※2.ISDN外線のﾀﾞｲﾔﾙｲﾝにてｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信契約の場合は、契約者回線番号(親番号)の設定はできませんので、追加番号(子番号)で運用してください。 ※3.ISDN外線の「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」も、DIと同様設定が可能です。この場合、加入者番号には＊356で設定した電話番号(下4桁)を設定します。	D₀ D₁ D₁ D₁ D₁ # ①　②:外線番号(2桁)または加入者番号(1～4桁) ① D₀ / 項番: 1 一般回線, 2 DI回線 ② D₁D₁D₁D₁ / 01～08 外線番号 / または / 0～9999 加入者番号 ※ｸﾘｱする場合は①で1, ②で00を入力します。	[外線番号] 00:設定なし [加入者番号] 設定なし
＊087	**留守ﾓｰﾄﾞ移行時間の設定** 留守ﾓｰﾄﾞに移行するまでの時間を設定します。	D D # ① ① DD / 01 / 02 / ･･ / 18 留守ﾓｰﾄﾞまでの時間 / 10秒 / 20秒 / ･･ / 180秒	09:90秒
＊088	**販売店電話番号** 設置工事時に販売店の電話番号を設定します。 ※電話機に設定した 相談ｻｰﾋﾞｽ ﾎﾞﾀﾝ を押すと、この電話番号に発信します。設定後のｻﾎﾟｰﾄ用に設定してください。	D (D･･･D) # ①(1～15桁) ① D(D･･･D) / 0～9 / 電話番号 / 1～15桁 ※ｸﾘｱする場合は00000#を入力します。	設定なし
＊089 (ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽ不可)	**販売店名称** 設置工事時に販売店の名称を設定します。（最大12文字） ※電話機に設定した 相談ｻｰﾋﾞｽ ﾎﾞﾀﾝ を押して発信したとき、本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した名称が電話機に表示されます。(＊088と共に設定してください。)	D₀₁ D₀₂ (･･･ D₁₂₁ D₁₂₂) # ①　･･･　⑫ ① ～ ⑫ D₀₁D₀₂･･･D₁₂₁D₁₂₂ / 販売店名 / 下表による / 1～12文字(2～24桁) ※入力ﾃﾞｰﾀ2桁で1文字に相当します。 [文字対応表] Dx1 奇数桁 / Dx2 偶数桁 0: 0 ｜ A K U ｱ ｻ ﾅ ﾏ ﾙ 1: 1 ー B L V ｲ ｼ ﾆ ﾐ ﾚ 2: 2 # C M W ｳ ｽ ﾇ ﾑ ﾛ 3: 3 , D N X ｴ ｾ ﾈ ﾒ ﾜ 4: 4 ＊ E O Y ｵ ｿ ﾉ ﾓ ﾝ 5: 5 ／ F P Z ｶ ﾀ ﾊ ﾔ ﾞ 6: 6 : G Q ｬ ｷ ﾁ ﾋ ﾕ ﾟ 7: 7 ＝ H R ｭ ｸ ﾂ ﾌ ﾖ ｳ 8: 8 ｱ I S ｮ ｹ ﾃ ﾍ ﾗ ｪ 9: 9 ｨ J T ｯ ｺ ﾄ ﾎ ﾘ ｫ 例：アを登録する場合は、50と入力します。	全てﾌﾞﾗﾝｸ

システム系コマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊090</td><td>停電時の直通電話機の設定

外線毎に停電時における直通電話機を設定します。</td><td>Do Do　D1 D1 D1　#
①　②

① DoDo：直通外線 01～08：外線番号

② D1D1D1：直通電話機 000：なし 101～128：対象収容位置

※全ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱする場合は①に00、②に000を入力します。</td><td>外線01:101
外線02:102
外線03:103
外線04:104
外線05:105
外線06:106
外線07:107
外線08:108</td></tr>
<tr><td>＊091</td><td>DP(20PPS)ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ

DP(20PPS)ﾀﾞｲﾔﾙ時(＊100で設定)のﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ(桁間時間)を設定します。</td><td>D　#
①

① D：ﾎﾟｰｽﾞ時間 0：約512ms 1：約640ms 2：約768ms 3：約896ms</td><td>0:約512ms</td></tr>
<tr><td>＊092</td><td>外線へのPB信号送出時間の設定

銀行ｻｰﾋﾞｽ等を使用する時、相手の装置によっては受付ない場合があるため、PB信号の送出時間を変更して対応するｺﾏﾝﾄﾞです。ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞの変更は＊093で行ないます。</td><td>D　#
①

① D：時間 0：約128ms 1：約448ms 2：約640ms 3：約960ms</td><td>0:約128ms</td></tr>
<tr><td>＊093</td><td>外線へのPB信号ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞの設定

PB信号のﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞを設定します。

※PB信号送出時間は＊092で設定します。</td><td>D　#
①

① D：ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ 0：約128ms 1：約192ms 2：約256ms 3：約320ms</td><td>0:約128ms</td></tr>
<tr><td>＊094</td><td>外線ﾌｯｷﾝｸﾞ時間の設定

ﾌｯｸ ﾎﾞﾀﾝ押下時の時間を設定します。</td><td>D　#
①

① D：時間 0：約250ms 1：約500ms 2：約1000ms 3：約2000ms</td><td>1:約500ms</td></tr>
</table>

システム系コマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊095</td><td>内線へのPB信号送出時間の設定

内線にPB信号受信端末を接続した際に、端末によっては受付ない場合があるため、PB信号の送出時間を変更して対応するｺﾏﾝﾄﾞです。ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞの変更は＊096で行ないます。

※1.PB信号受信端末の収容位置は＊727で設定します。
※2.PB信号ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞは＊096で設定します。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>時間</td><td>約128ms</td><td>約256ms</td><td>約384ms</td><td>約512ms</td></tr></table></td><td>0:約128ms</td></tr>
<tr><td>＊096</td><td>内線へのPB信号ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞの設定

内線のPB信号受信端末に送出するPB信号のﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞを設定します。

※1.PB信号受信端末の収容位置は＊727で設定します。
※2.PB信号送出時間は＊095で設定します。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ</td><td>約128ms</td><td>約256ms</td><td>約384ms</td><td>約512ms</td></tr></table></td><td>0:約128ms</td></tr>
</table>

外線発信系コマンド(共通)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊100</td><td>外線ﾀﾞｲﾔﾙ種別の設定

外線毎にﾀﾞｲﾔﾙ種別を設定します。

※ISDN(INSﾈｯﾄ64)の場合は「PB」に設定します。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号

③ D₂ ﾀﾞｲﾔﾙ種別: 0=20PPS, 1=10PPS, 2=PB</td><td>0:20PPS</td></tr>
<tr><td>＊101</td><td>外線種別の設定

外線毎に外線種別(昼/夜)を設定します。

※1.外線種別は接続する回線に合わせて設定します。
・NTT回線‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥NTT
・PBXの内線に収容‥‥‥‥‥‥PBX
・ﾋﾞﾙ電話(CES)に収容‥ﾋﾞﾙ電話
・専用線(RD/LD/OD)及びその他の回線‥‥‥‥‥NTTまたはその他
※2.外線種別を「その他」とした場合、下記以外は「NTT」と同様です。
・料金管理しない。
・ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ規制しない。
※3.外線種別が昼夜同じ場合は、夜は省略できます。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
① ② ③ ④

① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号

③ D₂ 外線種別(昼): 0=NTT, 1=ﾋﾞﾙ電話, 2=PBX, 3=その他

④ D₃ 外線種別(夜): 0=NTT, 1=ﾋﾞﾙ電話, 2=PBX, 3=その他</td><td>[昼]0:NTT
[夜]0:NTT</td></tr>
<tr><td>＊102</td><td>ＶＰＮ契約

各第1種電気通信事業者の実施しているVPN(仮想専用線網)ｻｰﾋﾞｽを契約するか否かを設定します。

※1.設定は外線種別を「NTT」とした外線のみ有効です。(＊100で設定)
※2.ｵﾌﾈｯﾄ発信の場合にﾀﾞｲﾔﾙの先頭に0を付加するVPNｻｰﾋﾞｽが対象です。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号

③ D₂ VPN契約有無: 0=契約なし, 1=契約あり</td><td>0:契約なし</td></tr>
</table>

外線発信系コマンド(自動発信)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊110)</td><td>外線自動発信の捕捉外線の設定

外線毎に自動発信時の捕捉の有無を設定します。

※1.外線毎にｸﾞﾙｰﾌﾟ1～6 各々について捕捉の有無を設定します。
※2.各ｸﾞﾙｰﾌﾟの外線を捕捉する特番(外線自動発信,短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信)は＊081で設定します。
※3.ﾜﾝﾀｯﾁ系の発信はｸﾞﾙｰﾌﾟ1の外線を捕捉します。(初期)
ただし、＊115で変更できます。
※4.ｸﾞﾙｰﾌﾟ1で捕捉ありに設定された外線はさらに電話機毎に捕捉可否を設定できます。
(＊112,＊113)</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
① ② ③ ④

① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号

③ D₂ 対象ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 0 全て 1～6

④ D₃ 自動捕捉機能 0 なし 1 あり

※ﾃﾞｰﾀの確認にて、③に0を入力した場合はﾓﾆﾀできません。</td><td>0:全て,
0:なし</td></tr>
<tr><td>＊111</td><td>ｵﾌﾌｯｸ発信機能の設定

送受器を上げるだけで、外線捕捉ができる機能(ｵﾌﾌｯｸ発信)の有無を設定します。

※ｵﾌﾌｯｸ発信で捕捉される外線は、＊110で設定する外線自動発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ1捕捉ありの外線を老番側から選択します。
(＊115でｸﾞﾙｰﾌﾟ変更可能)</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～128 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～128 最終収容位置

③ D₂ ｵﾌﾌｯｸ発信 0 機能なし 1 機能あり</td><td>0:機能なし</td></tr>
</table>

外線発信系コマンド(自動発信)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊112</td><td>外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1の
ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟの設定

外線自動発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ1で捕捉ありに設定された外線(＊110で設定)を、さらにｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟに分けて電話機毎に捕捉可否を設定できます。

※1.ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ、短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信等のﾜﾝﾀｯﾁ発信は外線自動発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ1を自動捕捉しますが、これらの発信時にﾃﾅﾝﾄ設定をしないで捕捉外線をｸﾞﾙｰﾌﾟ分けするときに本ｺﾏﾝﾄﾞを設定します。
※2.電話機毎の捕捉の可否は＊113で設定します。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
①　②　③

① D₀D₀ 対象外線 / 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線 / 01～08 最終外線番号

③ D₂ / ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ番号: 1 2 3 ･･･ 8</td><td>1:ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ1</td></tr>
<tr><td>(＊113)</td><td>外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1の
ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ対応電話機の設定

外線自動発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ1で捕捉ありに設定された外線(＊110で設定)をさらにｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟに分けて電話機毎に捕捉可否を設定できます。

※1.ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ、短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信等のﾜﾝﾀｯﾁ発信は外線自動発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ1を自動捕捉しますが、これら発信時にﾃﾅﾝﾄ設定をしないで捕捉外線をｸﾞﾙｰﾌﾟ分けするときに本ｺﾏﾝﾄﾞを設定します。
※2.外線毎のｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟは＊112で設定します。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂
①　②　③
D₃ #
④

① D₀D₀D₀ 対象電話機 / 101～128 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 対象電話機 / 101～128 最終収容位置

③ D₂ / ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ番号: 0 全ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ / 1 2 3 ･･･ 8

④ D₃ 自動発信: 0 発信不可 / 1 発信可

※ﾃﾞｰﾀの確認にて、③に0を入力した場合はﾓﾆﾀできません。</td><td>0:全ｻﾌﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ
1:発信可</td></tr>
</table>

外線発信系コマンド(自動発信)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊114	**外線ﾜﾝﾀｯﾁ発信機能の設定**	Do Do Do　D1 D1 D1　D2　#	1:あり
	電話機毎に外線のﾜﾝﾀｯﾁ発信機能の有無を設定します。 (内線のﾜﾝﾀｯﾁ発信は停止できません) ※このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。	①　②　③ ① DoDoDo / 対象電話機 : 101～106, 109～128 / 先頭収容位置 ② D1D1D1 / 対象電話機 : 101～106, 109～128 / 最終収容位置 ③ D2 / ﾜﾝﾀｯﾁ機能 : 0 なし, 1 あり	
＊115	**ﾜﾝﾀｯﾁ系発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ設定**	D　#	1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ1
	下記のﾜﾝﾀｯﾁ発信時に自動捕捉する外線のｸﾞﾙｰﾌﾟを設定します。 ﾜﾝﾀｯﾁ発信とは、外線ﾎﾞﾀﾝを押さずに他のﾎﾞﾀﾝを押して自動的に外線を捕捉する機能です。 ・短縮 ﾎﾞﾀﾝでの短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信 (＊, 短縮2 ﾎﾞﾀﾝでの発信含む) ・再発信 ﾎﾞﾀﾝでの相手番号再発信 ・ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙでの発信 ・ﾀﾞｲﾔﾙ ﾎﾞﾀﾝでのﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ発信 ※外線の発信ｸﾞﾙｰﾌﾟは＊110で設定します。	① ① D / ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 : 1 2 3 4 5 6	

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊120</td><td>ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙのﾒﾓﾘｰ数の設定

ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙのﾒﾓﾘｰ数を設定します。

※1.短縮ﾀﾞｲﾔﾙの桁数は各々下記となります。
<table><tr><th>ﾒﾓﾘｰ数</th><th>桁数</th></tr><tr><td>80</td><td>2 桁</td></tr><tr><td>500</td><td>3 桁</td></tr><tr><td>1000</td><td>3 桁</td></tr></table>
※2.1000ﾒﾓﾘｰに設定した場合は、電話機短縮ﾀﾞｲﾔﾙは使用できません。

ﾒﾓﾘｰ数を変更した場合は、相手先名称を再登録してください。再登録しないと名称表示時の短縮番号が誤って表示される場合があります。</td><td>D #
①

<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>ﾒﾓﾘｰ数</td><td>80ﾒﾓﾘｰ</td><td>500ﾒﾓﾘｰ</td><td>1000ﾒﾓﾘｰ</td></tr></table></td><td>0:80ﾒﾓﾘｰ</td></tr>
<tr><td>＊121</td><td>PBX局線発信特番

外線種別をPBXまたはﾋﾞﾙ電話とした場合(＊101)の、PBX局発特番を設定します。

※PBX局線発信特番は1種類で1桁のみ設定できます。</td><td>D #
①

<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0 ～ 9</td></tr><tr><td></td><td>発信特番</td><td>ﾀﾞｲﾔﾙ</td></tr></table></td><td>発信特番: 0</td></tr>
<tr><td>＊122</td><td>PBX局線発信特番自動挿入の設定

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ,ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙで発信した場合に、PBX局線発信特番を自動的に挿入するか否かを設定します。</td><td>D #
①

<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>自動挿入</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊123</td><td>ﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ機能の設定

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ,ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ,ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ等を連続して2回以上行い、最大48桁までﾀﾞｲﾔﾙすることができる機能(ﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ,ﾜﾝﾀｯﾁﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ)を設定します。</td><td>D #
①

<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>ﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙ機能</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊124</td><td>＊ ﾎﾞﾀﾝによる短縮発信

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信時に 短縮 ﾎﾞﾀﾝの代わりに ＊ ﾎﾞﾀﾝが使用できるか否かを設定します。</td><td>D #
①

<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>使用の可否</td><td>不可</td><td>可</td></tr></table></td><td>1:可</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊125	短縮 ﾎﾞﾀﾝ使用種別 短縮 ﾎﾞﾀﾝを、一般の短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信用のﾎﾞﾀﾝにするか、事業所番号発信用のﾎﾞﾀﾝに使用するかを設定します。	D　# ① ① D：使用種別　0：一般の短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信用　1：事業所番号発信用	0:一般の短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信用
＊126	ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙの設定 ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ登録及び確認が行えます。（但し12桁まで） ※1.13桁以上の登録及び確認は電話機毎の操作となります。操作方法は取扱説明書を参照してください。 ※2.ﾒﾓﾘ数は＊120で設定します。	D_0 D_0 D_0　D_1 (D_1)…(D_1) # ①　②（1桁～12桁） ① ﾒﾓﾘ数 80：短縮番号 D_0 D_0：対象短縮番号 00～79 ﾒﾓﾘ数 500：短縮番号 D_0 D_0 D_0：対象短縮番号 000～499 ﾒﾓﾘ数 1000：短縮番号 D_0 D_0 D_0：対象短縮番号 000～999 ※1.設定する場合に短縮番号が2桁の場合は①で2桁(00～79)入力後、#を押し②を入力します。 ※2.ﾓﾆﾀする場合に短縮番号が2桁の場合は①で2桁(00～79)入力後、##を押します。 ※3.ｼｽﾃﾑ短縮を1000ﾒﾓﾘに設定すると電話機短縮は、設定できません。 ② D_1：電話番号　0～9：相手番号ﾀﾞｲﾔﾙ	設定なし

外線発信系コマンド(リダイヤル)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊130	**外線発信自動ﾘﾄﾗｲ回数の設定** 自動ﾘﾄﾗｲを何回行うかを設定します。 ※手動ﾘﾄﾗｲは＊134で設定します。	D D # ① ① DD: 00 / 01～99 回数: なし / 1回～99回	15:15回
＊131	**ｽｰﾊﾟｰﾘﾄﾗｲ終了後の警報音** ﾘﾄﾗｲ終了後の警報音の有無を設定します。	D # ① ① D: 0 / 1 警報音: なし / あり	1:あり
＊132	**ｽｰﾊﾟｰﾘﾄﾗｲの切断時間** ﾘﾄﾗｲ終了後の切断時間を設定します。	D # ① ① D: 0 / 1 / 2 / 3 切断時間: 0秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒	1:10秒
＊133	**ﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝによるｽｰﾊﾟｰﾘﾄﾗｲ機能** ｽｰﾊﾟｰﾘﾄﾗｲを、ﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝで有効とするか無効とするかを設定します。	D # ① ① D: 0 / 1 機能有無: 無効 / 有効	0:無効
＊134	**手動ﾘﾄﾗｲ機能の設定** 手動ﾘﾄﾗｲ機能の有無を設定します。 ※手動ﾘﾄﾗｲとは、外線発信時に 再発信 ﾎﾞﾀﾝを押すと ﾌｯｸ ＋ 再発信 を押したのと同じになる機能です。	D # ① ① D: 0 / 1 手動ﾘﾄﾗｲ: 機能なし / 機能あり	0:機能なし

外線発信系コマンド(リダイヤル)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊135</td><td>ｵﾌﾌｯｸ中のﾘﾄﾗｲ機能の設定

ｵﾌﾌｯｸ中に外線自動ﾘﾄﾗｲができる機能を設定します。

※このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ / 対象電話機 / 101～106,109～128 / 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ / 対象電話機 / 101～106,109～128 / 最終収容位置

③ D₂ / 機能の有無 / 0:なし / 1:あり</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊137</td><td>ﾘﾀﾞｲﾔﾙの外線捕捉選択方法

ﾘﾀﾞｲﾔﾙ発信を行った場合に捕捉する外線の選択方法を設定します。

※1.外線種別(＊101で設定)をNTT,PBX,ﾋﾞﾙ電話混在で使用する場合、選択方法は「前回使用外線」を設定してください。
最初の発信と違う外線種別の外線が選択されるとPBX局線発信特番の有無により誤った番号に発信されます。
※2.自動選択の場合は、外線自動発信のｸﾞﾙｰﾌﾟ1(＊110で設定)の外線を老番から選択します。
ｸﾞﾙｰﾌﾟは＊115で変更できます。</td><td>D #
①

① D / 選択方法 / 0:前回使用外線 / 1:自動選択</td><td>1:自動選択</td></tr>
<tr><td>＊138</td><td>外線ﾘﾊﾞｰｽ検出後のﾒﾓﾘ

外線のﾘﾊﾞｰｽ検出後に送出したﾀﾞｲﾔﾙをﾒﾓﾘするかしないかを設定します。

※短縮で発信したﾀﾞｲﾔﾙは設定に関係なくﾒﾓﾘされます。</td><td>D #
①

① D / ﾘﾊﾞｰｽ検出後のﾒﾓﾘ / 0:ﾒﾓﾘしない / 1:ﾒﾓﾘする</td><td>1:ﾒﾓﾘする</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊140	サービスクラスの設定	D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ ① ② ③ D₃ # ④	0:全内線 ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽA

電話機毎にｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(昼/夜)を設定します。
※1.ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽが昼夜同じ場合は、夜は省略できます。
※2.特定市外番号は＊141で設定します。
※3.特定発信規制は＊142で設定します。
※4.ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙの規制の有無は＊143で設定します。
※5.ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽFはNTT外線を捕捉できませんので、ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信を行う場合は＊110のｸﾞﾙｰﾌﾟ1を「捕捉あり」に設定してください。
※6.ID発信(公専公接続を含む)を行う場合は、ID番号を登録した仮想収容位置にｻｰﾋﾞｽｸﾗｽを設定することも可能です。
この場合は対象収容位置は機種に関係なく101～172, 201～272, 301～372となります。

①	$D_0D_0D_0$	101～128
	対象電話機	先頭収容位置

②	$D_1D_1D_1$	101～128
	対象電話機	最終収容位置

③	D_2	0	1	2	3	4	5	6
	ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(昼)	A (超特甲)	B (特甲)	C (準特甲A)	D (準特甲B)	E (甲)	F (準甲)	G (乙)

④	D_3	0	1	2	3	4	5	6
	ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ(夜)	A (超特甲)	B (特甲)	C (準特甲A)	D (準特甲B)	E (甲)	F (準甲)	G (乙)

[ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽの規制内容]
○:発信可能　　×:発信不可
◇:＊141で設定した地域のみ発信可
△:＊143で「規制あり」の場合は規制される
▲:＊143で「規制あり」の場合は規制される
「規制なし」の場合は、ﾜﾝﾀｯﾁでのｼｽﾃﾑ短縮発信のみ可能
●:＊144で設定したｸﾗｽ以下は、＊142で設定したﾀﾞｲﾔﾙが規制される

発信種別 ＼ ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ	ﾀﾞｲﾔﾙ	A(超特甲)	B(特甲)	C(準特甲A)	D(準特甲B)	E(甲)	F(準甲)	G(乙)	
国際通話等	000～006	○	○	×	×	×	×	×	注1
市外通話等	01～09, 0#, 0＊	○	○	○	◇	×	×	×	
ＮＣＣ	007～009	○	○	○	◇	×	×	×	
NTTの短縮ﾀﾞｲﾔﾙ	＊(PB外線の場合)	○	○	○	×	×	×	×	
特定発信規制	＊142で設定したﾀﾞｲﾔﾙ	○	●	●	●	●	×	×	
特殊なﾀﾞｲﾔﾙ	#(PB外線の場合)	○	×	×	×	×	×	×	
市内等	1～9	○	○	○	○	○	×	×	
ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ		○	△	△	△	△	▲	×	
着信応答･保留応答･被転送		○	○	○	○	○	○	×	
PBX, CES収容時	PBX局発特番以外	○	○	○	○	○	○	×	
内線		○	○	○	○	○	○	○	

注1 PBX, CESに設定した外線(＊101で設定)の場合はPBX特番(通常0)の次のﾀﾞｲﾔﾙから規制されます。また、VPNに設定した外線(＊102で設定)も同様にｵﾌﾈｯﾄ発信時のｱｸｾｽ番号「0」の次のﾀﾞｲﾔﾙから規制されます。

外線発信系コマンド(サービスクラス)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊141	**特定市外番号の設定** ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽD(準特甲B)の電話機が発信可能な市外番号を先頭の0を除いて1～10桁で32ケ所設定できます。 ※1. NCC経由での市外発信も同様に規制されます。 ※2. ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽは＊140で設定します。 ※3. 設定を行うと設定した市外のみ発信可能となり、全ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱすると全ての市外に発信可能となります。	D₀ D₀　D₁ (D₁ … D₁)　＃ ①　②（1～10桁） ① D₀D₀ 01～32 項番 01～32 ② D₁(D₁…D₁) 1～9999999999 発信可能な市外番号 設定市外のみ発信可能 ※1. 全ﾃﾞｰﾀｸﾘｱの場合は①で00,②で0を入力します。 ※2. 項番毎のｸﾘｱは②で0を入力します。	**全ての市外に発信可能**
＊142	**特定発信規制の設定** ＊144で設定されたｸﾗｽの電話機が外線発信した場合の発信規制ﾀﾞｲﾔﾙを設定します。 ※1. ﾀﾞｲﾔﾙは、1～10桁で64個まで設定できます。 ※2. ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽは＊140で設定します。	D₀ D₀　D₁ D₁ ･･･ D₁　＃ ①　②（1～10桁） ① D₀D₀ 01～64 項番 01～64 ② D₁D₁･･･D₁ 0～9 規制ﾀﾞｲﾔﾙ 0～9 ※1. 全ﾃﾞｰﾀ消去は①で00,②で0を入力します。 ※2. 個別ｸﾘｱは②で00000を入力します。	01:100 02:005 03:0990 04:1890990 05:106
＊143	**ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙのｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ規制** ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙで外線発信した場合にｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ通り規制するかを設定します。 ※ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽは＊140で設定します。	D　＃ ① ① D 0 1 規制 なし あり	1:あり
＊144	**特定発信規制対象のｸﾗｽの設定** 特定発信規制対象のｸﾗｽを設定します。 ※設定したｸﾗｽ以下で規制されます。	D　＃ ① ① D 1 2 3 4 規制対象のｸﾗｽ B(特甲) C(準特甲A) D(準特甲B) E(甲)	1:B(特甲)

外線発信系コマンド(サービスクラス)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊145	**夜間切替時の ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ切替機能有無**	D_0 D_0 D_1 D_1 D_2 # ① ② ③	1:切替あり

外線毎に夜間切替時のｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ切替を実施するかを設定します。
切替なしの外線から発信する場合は夜間でも昼のｻｰﾋﾞｽｸﾗｽになります。

※ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽは＊140で設定します。

①	D_0D_0	01～08	
	対象外線	先頭外線番号	

②	D_1D_1	01～08	
	対象外線	最終外線番号	

③	D_2	0	1
	切替	なし	あり

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊150</td>
<td>ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置の設定
(PBX/ﾋﾞﾙ電話)

外線種別をPBXまたはﾋﾞﾙ電話とした場合(＊101)、外線発信時の第1ﾀﾞｲﾔﾙ毎に桁間ﾎﾟｰｽﾞをどの位置に入れるかを設定します。

※1.外線発信の相手先ﾀﾞｲﾔﾙが「PBX局線発信特番 + 00‥」で始まる場合で00以降にﾎﾟｰｽﾞを入れるときは、＊152で設定します。
※2.ﾎﾟｰｽﾞ時間は＊154で設定します。</td>
<td>D₀ D₁ #
① ②

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀</td><td>0～9</td></tr>
<tr><td></td><td>第1ﾀﾞｲﾔﾙ</td><td>0～9</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td><td>‥</td><td>8</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾎﾟｰｽﾞ
挿入
位置</td><td>ﾎﾟｰｽﾞ
なし</td><td>1桁目
送出後</td><td>‥</td><td>8桁目
送出後</td></tr>
</table>
</td>
<td>ﾀﾞｲﾔﾙ 位置
0 : 1
1～9 : 0</td>
</tr>
<tr>
<td>＊151</td>
<td>ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置の設定 (NTT)

外線種別をNTTとした場合(＊101)、外線発信時の第1ﾀﾞｲﾔﾙ毎に桁間ﾎﾟｰｽﾞをどの位置に入れるかを設定します。

※1.外線発信の相手先ﾀﾞｲﾔﾙが00‥で始まる場合は、＊153で設定します。
※2.ﾎﾟｰｽﾞ時間は＊155で設定します。
※3.「ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」ｻｰﾋﾞｽで「184」や「186」のﾀﾞｲﾔﾙの後はﾎﾟｰｽﾞが必要となるため、第1ﾀﾞｲﾔﾙが1の場合は3桁目送出後にﾎﾟｰｽﾞを挿入してください。
(1 3 # と設定します。)</td>
<td>D₀ D₁ #
① ②

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀</td><td>0～9</td></tr>
<tr><td></td><td>第1ﾀﾞｲﾔﾙ</td><td>0～9</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td><td>‥</td><td>8</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾎﾟｰｽﾞ
挿入
位置</td><td>ﾎﾟｰｽﾞ
なし</td><td>1桁目
送出後</td><td>‥</td><td>8桁目
送出後</td></tr>
</table>
</td>
<td>ﾀﾞｲﾔﾙ 位置
0～9 : 0
(ﾎﾟｰｽﾞ
なし)</td>
</tr>
<tr>
<td>＊152</td>
<td>００××ﾀﾞｲﾔﾙの
ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置の設定
(PBX/ﾋﾞﾙ電話)

外線種別をPBXまたはﾋﾞﾙ電話とした場合(＊101で設定)、外線発信時に「PBX局線発信特番 + 00‥」で始まるﾀﾞｲﾔﾙのとき桁間ﾎﾟｰｽﾞをどの位置に入れるかを00の次のﾀﾞｲﾔﾙ毎に設定します。

×００ＡＢ・・の場合
↑↑↑
４５６ ×:PBX局線発信特番
桁桁桁 (＊121で設定)
目目目 Ａ:識別用ﾀﾞｲﾔﾙ

※ﾎﾟｰｽﾞ時間は＊154で設定します。</td>
<td>D₀ D₁ #
① ②

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀</td><td>0～9</td></tr>
<tr><td></td><td>識別用ﾀﾞｲﾔﾙ</td><td>0～9</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>4</td><td>‥</td><td>8</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾎﾟｰｽﾞ
挿入
位置</td><td>ﾎﾟｰｽﾞ
なし</td><td>4桁目
送出後</td><td>‥</td><td>8桁目
送出後</td></tr>
</table>
</td>
<td>ﾀﾞｲﾔﾙ 位置
0～9 : 0
(ﾎﾟｰｽﾞ
なし)</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊153</td><td>００××ﾀﾞｲﾔﾙの
ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置の設定(NTT)

外線種別をNTTとした場合(＊101で設定)、外線発信時に「00‥」で始まるﾀﾞｲﾔﾙのとき桁間ﾎﾟｰｽﾞをどの位置に入れるかを00の次のﾀﾞｲﾔﾙ毎に設定します。

００ＡＢＣ・・の場合
↑↑↑
３４５　　Ａ:識別用ﾀﾞｲﾔﾙ
桁桁桁
目目目

※ﾎﾟｰｽﾞ時間は＊155で設定します。</td><td>Do　D1　#
①　②

① Do: 0 1 2 3 ‥ 9
識別用ﾀﾞｲﾔﾙ: 0 1 2 3 ‥ 9

② D1: ﾎﾟｰｽﾞ挿入位置 / 0: ﾎﾟｰｽﾞなし / 3: 3桁目送出後 / ‥ / 8: 8桁目送出後</td><td>ﾀﾞｲﾔﾙ　位置
0～9 : 0
(ﾎﾟｰｽﾞなし)</td></tr>
<tr><td>＊154</td><td>PBX/ﾋﾞﾙ電話収容時の
桁間ﾎﾟｰｽﾞ時間

外線種別(＊101で設定)をPBXまたはﾋﾞﾙ電話とした場合の桁間ﾎﾟｰｽﾞ時間を設定します。

※＊150, ＊152で設定した桁間ﾎﾟｰｽﾞの時間です。</td><td>D　D　#
①

① DD: 00 01 02 … 15
ﾎﾟｰｽﾞ時間: 0秒 1秒 2秒 … 15秒</td><td>03:3秒</td></tr>
<tr><td>＊155</td><td>NTT収容時の桁間ﾎﾟｰｽﾞ時間

外線種別(＊101で設定)をNTT収容とした場合の桁間ﾎﾟｰｽﾞ時間を設定します。

※＊151, ＊153で設定した桁間ﾎﾟｰｽﾞの時間です。</td><td>D　D　#
①

① DD: 00 01 02 … 15
ﾎﾟｰｽﾞ時間: 0秒 1秒 2秒 … 15秒</td><td>03:3秒</td></tr>
<tr><td>＊156</td><td>短縮ﾀﾞｲﾔﾙ中のﾎﾟｰｽﾞ時間の設定

短縮ﾀﾞｲﾔﾙに 再発信 ﾎﾞﾀﾝを登録したときのﾎﾟｰｽﾞ時間を設定します。</td><td>D　#
①

① D: 0 1 2 ‥ 9
ﾎﾟｰｽﾞ時間: 3秒 6秒 9秒 ‥ 30秒</td><td>0:3秒</td></tr>
<tr><td>＊157</td><td>一般ﾀﾞｲﾔﾙのﾌﾟﾚﾎﾟｰｽﾞ時間の設定

一般の外線発信時、外線を捕捉してから第1ﾀﾞｲﾔﾙ送出までのﾎﾟｰｽﾞ時間を設定します。</td><td>D　#
①

① D: 0 1 2 3 ‥ 7
ﾌﾟﾚﾎﾟｰｽﾞ時間: 0秒 0.5秒 1秒 1.5秒 ‥ 3.5秒</td><td>1:0.5秒</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊161</td>
<td>DDI契約の設定

外線毎にDDIの契約状況を設定します。

※1.未契約または未開通のNCCを「開通」に設定すると電話がつながらない場合がありますので開通を確認後に設定してください。
※2.相手先ﾀﾞｲﾔﾙ毎にどのNCCを選択するかは＊165で設定します。選択したNCCが開通の場合にそのNCCが選択されます。契約なしの場合はNTTが選択されます。</td>
<td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>先頭外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>最終外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>3</td></tr>
<tr><td></td><td>DDIの契約</td><td>なし</td><td>開通</td></tr>
</table>
※③で1,2は入力しないでください。</td>
<td>0:契約なし</td>
</tr>
<tr>
<td>＊162</td>
<td>KDD契約の設定

外線毎にKDDの契約状況を設定します。

※1.未契約または未開通のNCCを「開通」に設定すると電話がつながらない場合がありますので開通を確認後に設定してください。
※2.相手先ﾀﾞｲﾔﾙ毎にどのNCCを選択するかは＊165で設定します。選択したNCCが開通の場合にそのNCCが選択されます。契約なしの場合はNTTが選択されます。
※3.対象は0070の市外電話です。(001は対象外)</td>
<td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>先頭外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>最終外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>3</td></tr>
<tr><td></td><td>KDDの契約</td><td>なし</td><td>開通</td></tr>
</table>
※③で1,2は入力しないでください。</td>
<td>0:契約なし</td>
</tr>
<tr>
<td>＊163</td>
<td>JT 契約の設定

外線毎にJTの契約状況を設定します。

※1.未契約または未開通のNCCを「開通」に設定すると電話がつながらない場合がありますので開通を確認後に設定してください。
※2.相手先ﾀﾞｲﾔﾙ毎にどのNCCを選択するかは＊165で設定します。選択したNCCが開通の場合にそのNCCが選択されます。契約なしの場合はNTTが選択されます。</td>
<td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>先頭外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>最終外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>3</td></tr>
<tr><td></td><td>JTの契約</td><td>なし</td><td>開通</td></tr>
</table>
※③で1,2は入力しないでください。</td>
<td>0:契約なし</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊164</td><td>LCR発信時の
NTTﾊﾞｲﾊﾟｽ発信特番の設定

＊161,162,163で「開通」に設定された外線から発信するときに、LCRをｷｬﾝｾﾙしてNTTを選択して発信する場合に使用する特番を設定します。

※1.LCRをｷｬﾝｾﾙする場合は、外線捕捉後に相手先ﾀﾞｲﾔﾙの前に特番をﾀﾞｲﾔﾙします。
※2.特番ﾀﾞｲﾔﾙ後、短縮ﾀﾞｲﾔﾙで発信する場合はﾁｪｰﾝﾀﾞｲﾔﾙの設定が必要です。(＊123で設定)
※3.短縮ﾀﾞｲﾔﾙに特番を含めて登録した場合もLCRはｷｬﾝｾﾙされます。</td><td>D D (D) #
① (2桁～3桁)

① DD(D) 00～999
特番 対象番号

※ 0 # でｸﾘｱできます。</td><td>99</td></tr>
<tr><td>＊165</td><td>LCRの対地局番とNCCﾙｰﾄの設定

LCRを行う対地(市外局番)とﾙｰﾄ(NCC)を設定します。

※1.対地は市外局番の先頭の“0”を除いて設定します。(1～5桁)
※2.ﾙｰﾄは昼/夜/深夜 各々について設定します。
※3.対地は最大1408個まで設定できます。
※4.未設定の局番に発信した場合はNTTが選択されます。
対地数に制限がありますので、NTTを選択する対地は設定しないでください。
※5.本ｺﾏﾝﾄﾞの設定ﾃﾞｰﾀは、＊161,162,163で「開通」に設定した外線から発信した場合に有効です。</td><td>D₀ (D₀ D₀ D₀ D₀) #
①
D₁ D₂ D₃ #
② ③ ④

① D₀(D₀D₀D₀D₀) 1～99999
LCR実施の対地局番 対象局番

② D₁ 0 1 2 3
NCCﾙｰﾄ(昼) NTT DDI KDD JT

③ D₂ 0 1 2 3
NCCﾙｰﾄ(夜) NTT DDI KDD JT

④ D₃ 0 1 2 3
NCCﾙｰﾄ(深夜) NTT DDI KDD JT

※1.指定の対地をｸﾘｱする場合は、D₁D₂D₃を000として設定します。
※2.全ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱする場合は、ｺﾏﾝﾄﾞ＋00#000#と入力します。
※3.LCR対地ﾃﾞｰﾀを確認後、ﾃﾞｰﾀを変更する場合はｺﾏﾝﾄﾞから入力し直してください。</td><td>00:設定なし</td></tr>
</table>

外線発信系コマンド(その他)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊180)</td><td>外線別発信規制の設定

ﾃﾅﾝﾄとは別に、電話機毎に外線発信の規制の有無を設定します。

※1.規制されるのは、発信(空き外線捕捉)のみであり、着信応答，保留応答は可能です。
※2.「発信可」に設定した外線でも、ﾃﾅﾝﾄ等他の機能で規制されている場合は発信できません。
※3.ID発信(公専公接続を含む)を行う場合は、ID番号を登録した仮想収容位置に外線発信規制を設定することも可能です。
この場合は対象収容位置は機種に関係なく101～172,201～272,301～372となります。</td><td>[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁] [D₂][D₂]
①　②　③
[D₃] [#]
④
--※1--

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>00</td><td>01～08</td></tr>
<tr><td></td><td>対象外線</td><td>全外線</td><td>外線番号</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>④</td><td>D₃</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>外線発信の可否</td><td>発信不可</td><td>発信可</td></tr>
</table>

※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは、D₂D₂以降の連続設定ができます。尚、別の収容位置の電話機を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。
※2.ﾃﾞｰﾀの確認にて③に00を入力した場合は、全外線「発信可」または「発信不可」が設定されている場合はﾓﾆﾀできます。</td><td>1:全外線発信可</td></tr>
<tr><td>＊181</td><td>外線発信ｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ特番

外線自動発信が設定してあり、外線がすべて使用中の場合、いずれかの外線が空いたら発信できるよう予約するときの特番を設定します。</td><td>[D] [#]
①

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>‥</td><td>9</td><td>0</td></tr>
<tr><td></td><td>ｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ特番</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>‥</td><td>9</td><td>0</td></tr>
</table>

※ｸﾘｱする場合は00#を入力します。</td><td>00:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊182</td><td>外線連続捕捉機能

外線捕捉中に他の外線ﾎﾞﾀﾝを押して外線の持ち替えができる機能の有無を設定します。</td><td>[D] [#]
①

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>連続捕捉</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
</table></td><td>1:あり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊300</td><td>外線毎の着信種別の設定

外線毎に着信時の着信応答方法を設定します。

※1.着信種別が昼夜同じ場合は、夜は省略できます。
※2.ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝやｉ･ﾅﾝﾊﾞｰで特定の番号のみ転送電話や自動応答ﾒｯｾｰｼﾞを行う場合は、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを利用します。
ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの着信種別を夜間切替で行う場合は＊301を設定します。操作電話機(＊084で設定)の転送切替ﾎﾞﾀﾝで転送電話とする場合は＊643でDILIN番号毎にﾃﾅﾝﾄ番号設定が必要です。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
① ② ③ ④

① D₀D₀ 01～08 / 対象外線 先頭外線番号

② D₁D₁ 01～08 / 対象外線 最終外線番号

③ D₂ | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5
着信種別(昼) | 一般外線 | DID | DI | DIL | 自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ | 転送電話

④ D₃ | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5
着信種別(夜) | 一般外線 | DID | DI | DIL | 自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ | 転送電話</td><td>0:一般外線</td></tr>
<tr><td colspan="4">[各着信種別の意味]
<table><tr><th>着信種別</th><th>意　味</th><th>記　事</th></tr><tr><td>一般外線</td><td>一般の外線着信の場合</td><td></td></tr><tr><td>DID</td><td>ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾀﾞｲﾔﾙ(DID)機能で使用する場合</td><td>・ｵﾌﾟｼｮﾝでET-PBU-Giが必要</td></tr><tr><td>DI</td><td>ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI機能、INSﾈｯﾄ64の「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」機能を利用する場合</td><td>・ｵﾌﾟｼｮﾝでET-PBU-Giが必要(ｱﾅﾛｸﾞ外線の場合のみ)
・NTTとのDIやi･ﾅﾝﾊﾞｰの契約が必要</td></tr><tr><td>DIL</td><td>ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾗｲﾝ(DIL)機能で使用する場合(ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ機能の自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ利用時もDILで設定します。)</td><td>・対応電話機(＊323で設定)が未設定の場合は一般外線と同様の扱いとなります。</td></tr><tr><td>自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ機能で使用する場合</td><td>・ﾒｯｾｰｼﾞの種類は＊390で設定します。</td></tr><tr><td>転送電話</td><td>転送電話(外線自動転送)機能の着信側の外線を設定します。
したがって、本ｺﾏﾝﾄﾞで転送電話と設定した外線に着信したときに転送電話が機能します。
但し、転送切替ﾎﾞﾀﾝで転送電話とする場合は、着信種別は「転送電話」以外を設定してください。</td><td>・発信側の外線は＊600で設定(ISDNの場合は設定不要)します。
(転送電話の発信可能外線で ET-TRI( )-Giに収容されている老番側の外線から選択)</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＊301</td><td>DILIN番号毎の着信種別の設定

DILIN番号毎に着信時の着信応答方法を設定します。

※1.着信種別が昼夜同じ場合は、夜は省略できます。
※2.昼と夜の着信種別を別にする場合は、＊360を昼夜共にｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIに設定してください。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
① ② ③ ④

① D₀D₀ 01～96 / 先頭DILIN番号 01～96

② D₁D₁ 01～96 / 最終DILIN番号 01～96

③ D₂ | 0 | 4 | 5
着信種別(昼) | 一般 | 自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ | 転送電話

④ D₃ | 0 | 4 | 5
着信種別(夜) | 一般 | 自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ | 転送電話
※③,④で1～3は未使用ですので設定しないでください。</td><td>0:一般</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(全般)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊302</td><td>着信ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間の設定

ｽﾗｲﾄﾞ着信、着信警報、DIL解除時間を設定します。

※DILが解除されると対応電話機は鳴動しなくなり、一般着信になりますので＊310,＊311で鳴動設定してください。</td><td>D D #
①
<table><tr><td>①</td><td>DD</td><td>00</td><td>01</td><td>02</td><td>･･･</td><td>30</td></tr><tr><td></td><td>ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間</td><td>なし</td><td>2秒</td><td>4秒</td><td>･･･</td><td>60秒</td></tr></table>※ ﾃﾞｰﾀは２秒単位となっています。</td><td>15:30秒</td></tr>
<tr><td>＊303</td><td>ｵﾌﾌｯｸ応答機能の設定

送受器を上げるだけで、外線着信に応答できる機能(ｵﾌﾌｯｸ応答)の有無を設定します。

※ｵﾌﾌｯｸ応答で応答できる着信外線は＊304で選択できます。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr></table><table><tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>ｵﾌﾌｯｸ応答</td><td>機能なし</td><td>機能あり</td></tr></table></td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊304</td><td>ｵﾌﾌｯｸ自動応答の外線設定

ｵﾌﾌｯｸ自動応答機能時に応答できる外線を設定します。

※電話機毎の機能の有無は＊303で設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>機能</td><td>全外線</td><td>鳴動外線</td></tr></table></td><td>0:全外線</td></tr>
<tr><td>＊305</td><td>ｵﾌﾌｯｸ応答可能なDILIN番号の設定

ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを行う場合に、電話機毎にｵﾌﾌｯｸ応答可能なDILIN番号を設定します。

※1.設定できるDILIN番号は１個のみです。
※2.設定すると他のDILIN番号への着信および一般外線への着信にはｵﾌﾌｯｸ応答できなくなります。
※3.ｵﾌﾌｯｸ自動応答の外線指定(＊304で設定)が「鳴動外線」となっている場合は、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI時の着信鳴動電話機の設定(＊312,313で設定)にて、同一DILIN番号の鳴動がありになっていないと、ｵﾌﾌｯｸ応答できません。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁
① ②
D₂ D₂ #
③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr></table><table><tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>00</td><td>01～96</td></tr><tr><td></td><td>対象DILIN番号</td><td>設定なし</td><td>DILIN番号01～96</td></tr></table></td><td>00:設定なし</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(着信鳴動)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊310)</td><td>外線毎の着信鳴動電話機の設定
(昼)[外線個別着信]

どの外線に対して着信鳴動するかを設定します。

※1. ＊300で着信種別をDID,DI,DILに設定した場合は、本設定に関係なく対応電話機が鳴動します。ただし、着信ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰで一般着信になった場合は本設定の電話機が鳴動します。
※2. 下記の機能での着信も本設定の電話機が鳴動します。
・外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ
・外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞの一般着信
・電話/FAX自動切替の一般着信
・転送電話の転送中着信
・ISDNのｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ使用ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝの一般着信
・ISDNの「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」の一般着信
・ISDNのﾀﾞｲﾔﾙｲﾝのｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信</td><td rowspan="2">D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁
① ②
D₂ D₂ D₃ #
③ ④
※1

① D₀D₀D₀ 101～128 / 対象電話機 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 101～128 / 対象電話機 最終収容位置

③ D₂D₂ 00 01～08 / 対象外線 全外線を指定 外線番号1～8

④ D₃ 0 1 / 鳴動 鳴動なし 鳴動あり

※1. 本ｺﾏﾝﾄﾞは、D₂D₂以降の連続設定ができます。尚、別の収容位置の電話機を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。
※2. ﾃﾞｰﾀの確認にて③に00を入力した場合は、全外線「鳴動あり」または「鳴動なし」が設定されている場合はﾓﾆﾀできます。
※3. 同時に鳴動する電話機にTELCLが含まれる場合は、TELCLは最大2台までとし、制御ﾁｬﾈﾙ及び優先通話ﾁｬﾈﾙ(工事ﾏﾆｭｱﾙ編参照)が異なる組み合わせとしてください。</td><td rowspan="2">･収容位置
101～104は全外線鳴動あり
他収容位置は全外線鳴動なし</td></tr>
<tr><td>(＊311)</td><td>外線毎の着信鳴動電話機の設定
(夜)

夜間切替後に、どの外線に対して着信鳴動するかを設定します。

※1. 内容は、＊310と共通です。
※2. 夜間切替の操作電話機は＊084で設定します。(外付けｽｲｯﾁまたはﾀｲﾏで切替も可能)</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(着信鳴動)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊312)</td><td>ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI時の着信鳴動電話機の設定(昼)

ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI機能において、どのDILIN番号に対して着信鳴動するかを設定します。</td><td>[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁]
①　②
[D₂][D₂] [D₃] [#]
③　④
※1

① D₀D₀D₀ 対象電話機 / 101～128 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 対象電話機 / 101～128 最終収容位置

③ D₂D₂ 対象DILIN番号 / 00 全DILIN番号 / 01～96 DILIN番号01～96

④ D₃ 鳴動 / 0 鳴動なし / 1 鳴動あり

※1. 本ｺﾏﾝﾄﾞは、D₂D₂以降の連続設定ができます。尚、別の収容位置の電話機を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。
※2. ﾃﾞｰﾀの確認にて、③に00を入力した場合はﾓﾆﾀできません。
※3. 同時に鳴動する電話機にTELCLが含まれる場合は、TELCLは最大2台までとし、制御ﾁｬﾈﾙ及び優先通話ﾁｬﾈﾙ(工事ﾏﾆｭｱﾙ編参照)が異なる組み合わせとしてください。</td><td>･収容位置
101～104は
全DILIN番号
鳴動あり
他収容位置は
全DILIN番号
鳴動なし</td></tr>
<tr><td>(＊313)</td><td>ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI時の着信鳴動電話機の設定(夜)

夜間切替後にｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI機能において、どのDILIN番号に対して着信鳴動するかを設定をします。

※1. 内容は、＊312と共通です。
※2. 夜間切替の操作電話機は＊084で設定します。(外付けｽｲｯﾁまたはﾀｲﾏで切替も可能)</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>＊314</td><td>外線着信音指定方法の設定

着信音指定を外線毎(DILIN番号毎)とするか、電話機毎とするかを設定します。外線毎(DILIN番号毎)の場合は＊315(＊317)を設定します。電話機毎の場合は＊316を設定します。

※外線着信中には変更しないでください。</td><td>[D] [#]
①

① D 方法 / 0 外線毎 / 1 電話機毎</td><td>0:外線毎</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(着信鳴動)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊315</td><td>外線別着信音源の設定

外線毎に着信音源を設定します。
＊314を外線毎に設定した時に有効。

※1.外線着信中には変更しないでください。
※2.外部保留音を使用する場合はET-EMU-Giが必要になります。
※3.このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。
※4.「鳴動音なし着信表示」を設定すると、着信音が鳴らない以外は通常の着信と同様にLCD表示や着信ﾗﾝﾌﾟ表示は機能します。
但し、以下の場合は着信音Aで鳴動します。
･DI,DID,DIL,ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ,i･ﾅﾝﾊﾞｰ等の特定電話機に着信する場合
･＊326の設定が「あり」で、ｵﾌﾌｯｸ中の場合
※5.TELCLや単独電話機の場合、「鳴動音なし着信表示」の設定でも着信音が鳴ります。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀ 対象外線：01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線：01～08 最終外線番号

③ D₂ 着信音：0 A / 1 B / 2 C / 3 内部保留音 / 4 外部保留音 / 5 鳴動音なし着信表示</td><td>0:着信音A</td></tr>
<tr><td>＊316</td><td>電話機別外線着信音の設定

電話機毎に着信音源を設定します。
＊314を電話機毎に設定した時に有効。

※1.外線着信中には変更しないでください。
※2.外部保留音を使用する場合はET-EMU-Giが必要になります。
※3.このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。
※4.「鳴動音なし着信表示」については、＊315の※4,5の説明を参照してください。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ 対象電話機：101～106,109～128 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 対象電話機：101～106,109～128 最終収容位置

③ D₂ 着信音：0 A / 1 B / 2 C / 3 内部保留音 / 4 外部保留音 / 5 鳴動音なし着信表示</td><td>0:着信音A</td></tr>
<tr><td>＊317</td><td>DILIN番号別着信音指定

DILIN番号毎に、着信音源を設定します。
＊314を外線毎に設定した時に有効。

※1.外線着信中には変更しないでください。
※2.外部保留音を使用する場合はET-EMU-Giが必要になります。
※3.このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。
※4.「鳴動音なし着信表示」については、＊315の※4,5の説明を参照してください。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀ 対象DILIN番号：01～96 先頭DILIN番号

② D₁D₁ 対象DILIN番号：01～96 最終DILIN番号

③ D₂ 着信音：0 A / 1 B / 2 C / 3 内部保留音 / 4 外部保留音 / 5 鳴動音なし着信表示</td><td>0:着信音A</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(着信警報、他)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊320	**着信警報機能(外線毎)の設定** ｺﾏﾝﾄﾞ＊302で設定した時間を経過しても外線着信応答がない時は着信音を変える機能(着信警報)を外線毎に設定します。 ※着信警報音は＊315, ＊316に関係なく1種類です。	D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀ 対象外線 / 01～08 先頭外線番号 ② D₁D₁ 対象外線 / 01～08 最終外線番号 ③ D₂ 着信警報 / 0 なし / 1 あり	0:警報なし
＊321	**着信警報機能(DILIN番号毎)の設定** ｺﾏﾝﾄﾞ＊302で設定した時間を経過しても外線着信応答がない時は着信音を変える機能(着信警報)をDILIN番号毎に設定します。 ※着信警報音は＊316, ＊317に関係なく1種類です。	D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀ 対象DILIN番号 / 01～96 先頭DILIN番号 ② D₁D₁ 対象DILIN番号 / 01～96 最終DILIN番号 ③ D₂ 着信警報 / 0 なし / 1 あり	0:警報なし
＊322	**警報鳴動音量** 着信警報の音量を、電話機ﾎﾞﾘｭｰﾑのままとするか、大きくするかを設定します。 保留警報音(＊508で設定)の音量も同様に設定されます。	D # ① ① D 着信(保留)警報の鳴動音量 / 0 電話機のﾎﾞﾘｭｰﾑ位置 / 1 特大 / 2 大 / 3 中 / 4 小	0:電話機のﾎﾞﾘｭｰﾑ位置
＊323	**DIL対応電話機の設定** 外線着信を設定電話機のみで応答可能にする機能の設定です。 ※1. 外線と電話機が同一ﾃﾅﾝﾄ番号でない場合は、設定不可でｴﾗｰ表示となります。但し、外線または電話機のﾃﾅﾝﾄ(＊641, ＊642で設定)が「ﾃﾅﾝﾄ0(共通ﾃﾅﾝﾄ)」の場合は設定可能です。 ※2. 外線と電話機のﾃﾅﾝﾄ番号（ｺﾏﾝﾄﾞ＊640, ＊641, ＊642）を先に設定してください。先に設定しないと保留に応答できない場合があります。 ※3. 外線の着信種別をDILに設定した場合に、本ｺﾏﾝﾄﾞは有効となります。（＊300で設定）	D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₂ D₂ ① ② ③ D₃ D₃ D₃ # ④ ① D₀D₀ 対象外線 / 01～08 先頭外線番号 ② D₁D₁ 対象外線 / 01～08 最終外線番号 ③ D₂D₂D₂ DIL対象電話機(昼) / 000 機能なし / 101～128 収容位置 ④ D₃D₃D₃ DIL対象電話機(夜) / 000 機能なし / 101～128 収容位置	000:機能なし

外線着信系コマンド(着信警報、他)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊324</td><td>ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答の有無

ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答機能の有無を設定します。

※1.ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答ｸﾞﾙｰﾌﾟは、＊325で設定します。
※2.ﾃﾅﾝﾄ種別が完全ﾃﾅﾝﾄの場合は、(＊640で設定)は本設定を機能ありに設定してもﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答はできません。</td><td>D ＃
①

① D | 0 | 1
応答機能 | なし | あり</td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊325</td><td>ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答ｸﾞﾙｰﾌﾟの設定

通常はﾃﾅﾝﾄ外の外線着信には応答できませんが、ﾃﾅﾝﾄ外の外線着信に応答するためのｸﾞﾙｰﾌﾟを設定します。同一ｸﾞﾙｰﾌﾟ内の電話機が外線着信鳴動中には着信外線がﾃﾅﾝﾄ外でも応答することができます。

※1.ﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答機能の有無を＊324で設定します。
※2.ﾃﾅﾝﾄ種別(＊640で設定)が完全ﾃﾅﾝﾄの場合は、本設定を行ってもﾃﾅﾝﾄ外外線着信応答は機能しません。
※3.応答する場合はﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰで 代理応答 ﾎﾞﾀﾝの設定または代理応答特番の設定(＊081で設定)が必要です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ D₂ ＃
① ② ③

① D₀D₀D₀ | 101～128
対象電話機 | 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ | 101～128
対象電話機 | 最終収容位置

③ D₂D₂ | 00 | 01 | 02 | ･･･ | 15
ｸﾞﾙｰﾌﾟ | 機能なし | 1 | 2 | ･･･ | 15</td><td>00:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊326</td><td>ｵﾌﾌｯｸ中の外線着信鳴動の設定

送受器を上げている時にも外線着信鳴動を行うか否かを設定します。

※このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ ＃
① ② ③

① D₀D₀D₀ | 101～106, 109～128
対象電話機 | 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ | 101～106, 109～128
対象電話機 | 最終収容位置

③ D₂ | 0 | 1
鳴動 | なし | あり</td><td>1:鳴動あり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊330</td><td>ｽﾗｲﾄﾞ着信時のｽﾗｲﾄﾞ先
電話機台数の設定

ｽﾗｲﾄﾞ着信時のｽﾗｲﾄﾞ先電話機を外線毎に1台の電話機とするか、ｼｽﾃﾑ全体で8台とするかを設定します。

※1.「ｼｽﾃﾑで8台」に設定した場合は、＊333及び＊334は機能しなくなります。
※2.「ｼｽﾃﾑで8台」に設定した場合は、最大8台の電話機が一斉に鳴動します。
※3.「外線毎に1台」に設定した場合は＊333または＊334で設定してある電話機にｽﾗｲﾄﾞします。
※4.ｽﾗｲﾄﾞ着信までのﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間は＊302で設定します。
※5.ｽﾗｲﾄﾞ着信時のﾃﾅﾝﾄ解除機能は＊336で設定します。</td><td>[D] [#]
①

① D / ｽﾗｲﾄﾞ電話機 / 0 外線毎に1台 / 1 ｼｽﾃﾑで8台

※「外線毎に1台」に設定すると、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの場合は「DILIN番号毎に1台」となります。</td><td>0:外線毎に1台</td></tr>
<tr><td>＊331</td><td>外線毎のｽﾗｲﾄﾞの有無の設定

外線毎にｽﾗｲﾄﾞ着信を行うか否かを設定します。

※本ｺﾏﾝﾄﾞはｽﾗｲﾄﾞ着信を行う外線を指定するものですので、＊330の設定は関係しません。</td><td>[D₀ D₀] [D₁ D₁] [D₂] [D₃] [#]
① ② ③ ④

① D₀D₀ / 対象外線 / 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ / 対象外線 / 01～08 最終外線番号

③ D₂ / ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(昼) / 0 なし / 1 あり

④ D₃ / ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(夜) / 0 なし / 1 あり

※昼と夜を同じにする場合は、昼のみ入力します。</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(スライド着信)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊332</td><td>DILIN番号毎のｽﾗｲﾄﾞの有無の設定

DILIN番号毎にｽﾗｲﾄﾞ着信を行うか否かを設定します。

※本ｺﾏﾝﾄﾞはｽﾗｲﾄﾞ着信を行うDILIN番号を指定するものですので、＊330の設定は関係しません。</td><td>[D0][D0] [D1][D1] [D2] [D3] [#]
①　②　③　④

① D0D0 / 対象DILIN番号 / 01～96 / 先頭DILIN番号

② D1D1 / 対象DILIN番号 / 01～96 / 最終DILIN番号

③ D2 / ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(昼) / 0:なし / 1:あり

④ D3 / ｽﾗｲﾄﾞ着信機能の有無(夜) / 0:なし / 1:あり

※昼と夜を同じにする場合は、昼のみ入力します。</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊333</td><td>外線毎のｽﾗｲﾄﾞ先電話機の設定

ｽﾗｲﾄﾞ着信機能のｽﾗｲﾄﾞ先電話機を外線毎に1台ずつ設定します。

※1. ＊330を「外線毎に1台」としたときに、設定した収容位置にｽﾗｲﾄﾞ着信します。
※2. ｽﾗｲﾄﾞ着信までのﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間は＊302で設定します。
※3. ｽﾗｲﾄﾞ着信時のﾃﾅﾝﾄ解除機能は＊336で設定します。
※4. ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの留守番代行をする場合は、電話機の収容位置の代わりにﾎﾞｲｽﾒｰﾙの収容位置を設定します。(但し、ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの留守番代行機能は夜間切替後のみ機能します。昼に設定してもｽﾗｲﾄﾞしません。)</td><td>[D0][D0] [D1][D1] [D2][D2][D2]
①　②　③

[D3][D3][D3] [#]
④

① D0D0 / 対象外線 / 01～08 / 先頭外線番号

② D1D1 / 対象外線 / 01～08 / 最終外線番号

③ D2D2D2 / 対象電話機(昼) / 000:機能なし / 101～128:収容位置

④ D3D3D3 / 対象電話機(夜) / 000:機能なし / 101～128:収容位置

※昼と夜を同じにする場合は、昼のみ入力します。</td><td>000:機能なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊334</td><td>DILIN番号毎のｽﾗｲﾄﾞ先電話機
の設定

ｽﾗｲﾄﾞ着信機能のｽﾗｲﾄﾞ先電話機をDILIN番号毎に1台ずつ設定します。

※1. ＊330を「外線毎に1台」としたときに、設定した収容位置にｽﾗｲﾄﾞ着信します。
※2. ｽﾗｲﾄﾞ着信までのﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間は＊302で設定します。
※3. ｽﾗｲﾄﾞ着信時のﾃﾅﾝﾄ解除機能は＊336で設定します。
※4. ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの留守番代行をする場合は、電話機の収容位置の代わりにﾎﾞｲｽﾒｰﾙの収容位置を設定します。(但し、ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの留守番代行機能は夜間切替後のみ機能します。昼に設定してもｽﾗｲﾄﾞしません。)</td><td>[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂][D₂][D₂]
①　②　③
[D₃][D₃][D₃] [#]
④

① D₀D₀ 対象DILIN番号：01～96 先頭DILIN番号
② D₁D₁ 対象DILIN番号：01～96 最終DILIN番号
③ D₂D₂D₂ 対象電話機(昼)：000 機能なし／101～128 収容位置
④ D₃D₃D₃ 対象電話機(夜)：000 機能なし／101～128 収容位置

※昼と夜を同じにする場合は、昼のみ入力します。</td><td>000:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊335</td><td>ｼｽﾃﾑでのｽﾗｲﾄﾞ先電話機の設定

ｽﾗｲﾄﾞ着信時のｽﾗｲﾄﾞ先電話機を、ｼｽﾃﾑで最大8台まで設定することができます。

※1. ＊330でｽﾗｲﾄﾞ電話機を「ｼｽﾃﾑで8台」に設定したときのみ、本ｺﾏﾝﾄﾞは有効となります。
※2. ｽﾗｲﾄﾞ着信までのﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時間は＊302で設定します。
※3. ｽﾗｲﾄﾞ着信時のﾃﾅﾝﾄ解除機能は＊336で設定します。
※4. ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの留守番代行をする場合は、電話機の収容位置の代わりにﾎﾞｲｽﾒｰﾙの収容位置を設定します。(但し、ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの留守番代行機能は夜間切替後のみ機能します。昼の場合はｽﾗｲﾄﾞしません。)</td><td>[D₀] [D₁][D₁][D₁] [#]
①　②

① D₀ 項番：1～8／全ｸﾘｱ指定：0
② D₁D₁D₁ 対象電話機：000 設定なし／101～128 収容位置

※1. 項番毎にｸﾘｱする場合は②で000を入力します。
※2. 全項番をｸﾘｱする場合は①で0,②で000を入力します。
※3. 同時に鳴動する電話機にTELCLが含まれる場合は、TELCLは最大2台までとし、制御ﾁｬﾈﾙ及び優先通話ﾁｬﾈﾙ(工事ﾏﾆｭｱﾙ編参照)が異なる組み合わせとしてください。</td><td>000:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊336</td><td>ｽﾗｲﾄﾞ着信時のﾃﾅﾝﾄ解除機能の設定

ｽﾗｲﾄﾞ着信のときﾃﾅﾝﾄ(着信ﾃﾅﾝﾄ、発着信ﾃﾅﾝﾄ)の解除の有無を設定します。

※完全ﾃﾅﾝﾄは解除されません。</td><td>[D] [#]
①

① D ﾃﾅﾝﾄ解除の有無：0 なし／1 あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊340</td><td>DID 一次応答信号の種類

DIDの一次応答信号を通常の内線DTとするかEMUの外部音源とするかVRUの音源(可変)とするかをﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。
※VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。(基板1枚当たり最大4件)</td><td>D₀ D₀ D₁ #
① ②
① D₀D₀ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15
② D₁: 0 一次応答信号 / 1 内線DT / 2 VRU 1-1 / 3 VRU 1-2 / 4 VRU 1-3 / 5 VRU 1-4 / 6 VRU 2-1 / 7 VRU 2-2 / 8 VRU 2-3 / 9 VRU 2-4 / 10 外部音源</td><td>0:内線DT</td></tr>
<tr><td>＊341</td><td>DID 一次応答信号送出時間

DIDの一次応答信号の送出時間を設定します。
※一次応答信号送出後の処理は、＊342で設定します。</td><td>D #
①
① D: 0 送出時間 3秒 / 1 6秒 / 2 9秒 / 3 12秒 / 4 15秒 / 5 18秒 / 6 21秒 / 7 24秒 / 8 27秒 / 9 30秒</td><td>6:21秒</td></tr>
<tr><td>＊342</td><td>DID 一次応答ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時の処理設定

DIDで一次応答信号(DT等)送出時間内にﾀﾞｲﾔﾙを受信できずに、ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰとなったときの処理を設定します。</td><td>D #
①
① D: 0 処理 切断 / 1 一般着信</td><td>0:切断</td></tr>
<tr><td>＊343</td><td>DID 一般着信処理後の切断時間の設定

DID及びDIで一般着信となった後の切断ﾀｲﾐﾝｸﾞ(一般着信させる時間)を設定します。
※＊432や＊346で「一般着信」とした場合に有効です。</td><td>D #
①
① D: 0 切断ﾀｲﾐﾝｸﾞ 10秒 / 1 20秒 / 2 30秒 / ‥ / 9 100秒</td><td>2:30秒</td></tr>
<tr><td>＊344</td><td>DID ＊ ﾎﾞﾀﾝによるDT戻り処理

DIDの操作途中に ＊ ﾎﾞﾀﾝで再びDTとするかを設定します。</td><td>D #
①
① D: 0 処理 無効 / 1 有効</td><td>1:有効</td></tr>
<tr><td>＊345</td><td>DID,DI内線呼出時間の設定

DID,DI内線呼出時間を設定します。
※呼出時間後の処理は＊346で設定します。</td><td>D #
①
① D: 0 呼出時間 無限 / 1 10秒 / 2 20秒 / 3 30秒 / ‥ 9 ‥ 90秒</td><td>3:30秒</td></tr>
<tr><td>＊346</td><td>DID,DI内線呼出時間ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時の処理

DID,DIの内線不応答でﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰとなった時の処理を設定します。
※1.呼出時間は＊345で設定します。
※2.ISDN回線の場合、「呼出継続」を設定しても、着信してから約3分で着信は停止し待機状態に戻ります。(＊345の「無限」も同様)</td><td>D #
①
① D: 0 DIDの場合 切断 / DIの場合 呼出継続 / 1 DIDの場合 一般着信 / DIの場合 一般着信</td><td>1:一般着信</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊347</td><td>強制一般着信

DID一時応答中に # # で一般着信とする機能を設定します。</td><td>D #
①
① D | 0 | 1
強制一般着信 | なし | あり</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊348</td><td>外線着信自動応答の
応答時間の設定

外線着信に自動応答する機能で、着信を検出してから自動応答するまでの時間を設定します。
※下記の様な機能の場合、主装置が外線着信に自動的に応答します。
・ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝﾀﾞｲﾔﾙ(DID)
・外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ
・外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ　等</td><td>D #
①
① D | 0 | 1 | 2 | 3
応答時間 | 0秒 | 3秒 | 6秒 | 9秒</td><td>0:0秒</td></tr>
<tr><td>＊350</td><td>DI番号変換機能の有無

DI加入者番号と内線番号の変換機能の有無及びDI加入者番号の桁数を設設定します。
※1.本ｺﾏﾝﾄﾞを「機能なし」にした場合は「DI加入者番号＝内線番号」となる為、内線番号を加入者番号に合わせる必要があります。(内線番号は4桁までです。)
※2.DI加入者番号と対応電話機は、＊351で設定します。
※3.NTTのDI加入者番号の桁数と内線番号の桁数は同一でなくても結構です。
※4.内線番号の桁数が統一されていない場合は、必ずDI番号変換機能を使用してください。</td><td>D #
①
① D | 0 | 1 | 2 | 3 | 4
変換機能の有無 | なし | あり(1桁) | あり(2桁) | あり(3桁) | あり(4桁)</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊351</td><td>DIの番号変換の設定

DI機能を行うとき、NTTから割付けられたDI加入者番号(電話番号)と内線番号が一致できない場合に、本ｺﾏﾝﾄﾞで加入者番号と内線番号の変換を設定します。
※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは＊300で着信種別を「ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)」に設定した場合に有効です。(ISDNの場合は、＊9289が「あり」でもﾀﾞｲﾔﾙｲﾝが可能)
※2.番号変換機能の有無と変換番号の桁数をあらかじめ＊350で設定する必要があります。</td><td>D₀ D₀ D₀　D₁ (D₁ D₁ D₁)　#
①　②
① D₀D₀D₀ | 101～128
対象電話機 | 収容位置
② D₁(D₁D₁D₁) | 0～9999
変換番号 | DI加入者番号
※DI加入者番号を 0 0 0 0 0 と設定すると機能なしとなります。</td><td>機能なし</td></tr>
<tr><td>＊352</td><td>DI夜間一般着信の設定

夜間切替後は、ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)外線(＊300で設定)への着信を、DI加入者番号に関係なく一般着信させるか否かを設定します。</td><td>D #
①
① D | 0 | 1
夜間一般着信 | なし | あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊353	DI/DIDｷｬｯﾁﾎﾝの設定 外線通話中にDIDまたはDI着信があった場合に、話中にせず呼出を行う機能の有無を設定します。	D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 # ①　②　③ ① $D_0D_0D_0$ 対象電話機：101～128 先頭収容位置 ② $D_1D_1D_1$ 対象電話機：101～128 最終収容位置 ③ D_2 DI/DIDｷｬｯﾁﾎﾝ：0 機能なし／1 機能あり	0:機能なし
＊355	i･ﾅﾝﾊﾞｰの設定 「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」を利用する外線を設定します。 ※1.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」を利用する場合は、ISDN関連の設定やﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ関連の設定も必要です。 ※2.本設定を「あり」にした外線にﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ回線を接続した場合、ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝは利用できなくなります。	D_0 D_0 D_1 # ①　② ① D_0D_0 対象外線：01,03,05,07 外線番号(奇数番号) ② D_1 i･ﾅﾝﾊﾞｰ：0 なし／1 あり	0:なし
＊356	i･ﾅﾝﾊﾞｰのﾎﾟｰﾄ番号に対応する電話番号の設定 「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」回線の各ﾎﾟｰﾄ番号に対応する電話番号を設定します。 ※1.各ﾎﾟｰﾄ番号に対応する電話番号の下4桁を設定します。 ※2.ﾎﾟｰﾄ番号1は契約者回線番号、ﾎﾟｰﾄ番号2、3は追加番号に対応します。 ※3.設定する電話番号と内線番号が一致しない場合は、DI番号変換機能を使用してください。(＊350でDI変換機能の有無を設定し、本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した番号と同一の番号を＊351で変換番号に設定します。) ※4.ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを利用する場合は、本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した番号と同一の番号を＊361のDI加入者番号に設定します。 ※5.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」の場合、「着番号識別」(＊9282で設定)は機能しません。同等機能は、③で着信を受けるﾎﾟｰﾄ番号に00000、着信を受けないﾎﾟｰﾄ番号に99999を設定することで対応可能です。 ※6.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」の場合、ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝと異なり＊9289の設定は無効です。 ※7.本ｺﾏﾝﾄﾞの③で99999を設定した場合に＊9290は有効となります。	D_0 D_0 D_1 D_2 D_2 D_2 D_2 (D_2) # ①　②　③ ※1 00000：なし ① D_0D_0 対象外線：01,03,05,07 外線番号(奇数番号) ② D_1 ﾎﾟｰﾄ番号：1／2／3 ③ $D_2D_2D_2D_2(D_2)$ 対応電話番号：0000～9999 電話番号(下4桁)／00000 なし／99999 一般着信 ※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは、D_1以降の連続設定ができます。尚、別の外線番号の設定を行う場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。 ※2.電話番号をなし(00000)にすると、このﾎﾟｰﾄ番号で着信した場合は着信を受け付けず、相手にはBTが送出されます。 但し、外線側にISDN機器(Gi側で00000に設定したﾎﾟｰﾄ番号を受付可能な機器かi･ﾅﾝﾊﾞｰ未対応機器)がﾏﾙﾁ接続されている場合は、ﾏﾙﾁ接続したISDN機器が着信します。 ※3.電話番号を一般着信(99999)にすると、このﾎﾟｰﾄ番号で着信した場合は一般着信となります。	

外線着信系コマンド(ストレートラインDI)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊360</td><td>ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの設定

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)機能を一般のDIとして使用するか、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIとして使用するかを設定します。

※1.DI機能は＊300で設定します。
※2.一般のDIは、着信時にDI加入者番号に対応する電話機を直接呼び出します。
※3.ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIは、着信時に一般の外線着信の様に複数の電話機に着信表示され応答することができます。
着信表示及び応答はDILINﾎﾞﾀﾝで行います。
※4.一般のDIか、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIかは、昼/夜各々について設定できます。
※5.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの夜間切替ﾎﾞﾀﾝで夜間に切替える場合は、DILIN番号に対して設定したﾃﾅﾝﾄ番号毎に切替可能です。(操作電話機は＊084で設定)</td><td>D₀ D₁ #
①　②

① D₀ | 0 | 1
DI機能(昼) | 一般のDI | ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI

② D₁ | 0 | 1
DI機能(夜) | 一般のDI | ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI

※昼と夜を同じにする場合は、昼のみ入力します。</td><td>昼 0:一般のDI
夜 0:一般のDI</td></tr>
<tr><td>＊361</td><td>ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの
DI加入者番号の設定

ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを行う場合のDI加入者番号を設定します。

※1.DILIN番号(とりあえず仮定した番号)毎にDI加入者番号を設定します。
最大96個まで設定できます。
※2.ここで設定しない番号で着信した場合は、一般のDIとして直接内線電話機を呼び出します。
※3.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」でｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを使用する場合は、＊356で設定した電話番号をDI加入者番号に設定します。</td><td>D₀ D₀ D₁ (D₁ D₁ D₁) #
①　②

① D₀D₀ | 01～96
対応のDILIN番号 | DILIN番号

② D₁(D₁D₁D₁) | 0～9999
対象DI加入者番号 | DI加入者番号

※1.対応番号毎にｸﾘｱする場合は、②で00000(0を5桁)を入力します。
※2.全ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱする場合は、①に00、②に00000(0を5桁)を入力してください。
※3.ISDNのｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信もｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIで運用する場合は、該当するDILIN番号のDI加入者番号の代わりに②で99999(9を5桁)を入力します。</td><td>設定なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊362</td><td>電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎の
DILIN ﾎﾞﾀﾝの設定

ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを行う場合のDILINﾎﾞﾀﾝを設定します。
ﾎﾞﾀﾝの位置は電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ(＊710で設定)毎に設定し、ｸﾞﾙｰﾌﾟ内の電話機は同じﾎﾞﾀﾝ配置となります。

※1.ﾎﾞﾀﾝ位置の対応は下記の通りです。(ﾎﾞﾀﾝ電話機)
<table><tr><th>ﾎﾞﾀﾝ位置</th><th>対応ﾎﾞﾀﾝ</th></tr><tr><td>01</td><td>外線1</td></tr><tr><td>02</td><td>外線2</td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>24</td><td>外線24</td></tr></table>※2.DILIN番号は、＊361でDI加入者番号を設定した番号とします。
※3.複数のDILINﾎﾞﾀﾝに同じDILIN番号を設定できます。
この場合は、着信時ﾎﾞﾀﾝの若番側から着信します。
※4.複数の電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟに同じDILIN番号は設定できません。但し、ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ機能(＊650等で設定)を利用すると、同じDILIN番号への着信を複数のｸﾞﾙｰﾌﾟで受けられます。
※5.本設定でDILINﾎﾞﾀﾝを設定するとﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰは消去され、DILINﾎﾞﾀﾝになります。

一度DILINﾎﾞﾀﾝに設定するとﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定ではﾎﾞﾀﾝを変更することはできません。
変更する場合は、本設定をｸﾘｱしてからﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰを設定します。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₂ #
① ② ③
※1

<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>00～15</td></tr><tr><td></td><td>対応のｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</td><td>電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>01～24</td></tr><tr><td></td><td>対応のﾎﾞﾀﾝ</td><td>電話機のﾎﾞﾀﾝ位置</td></tr></table>01～24以外は設定しないでください。

<table><tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>01～96</td></tr><tr><td></td><td>対応のDILIN番号</td><td>DILIN番号</td></tr></table>※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは、D₁D₁以降の連続設定ができます。尚、別の電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。
※2.ﾎﾞﾀﾝ毎のﾃﾞｰﾀｸﾘｱは、③で00を入力します。
※3.ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号毎のﾃﾞｰﾀｸﾘｱは、②,③に00を入力します。</td><td>00:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊363</td><td>空き DILIN ﾎﾞﾀﾝへの
自動割付の有無

空きDILINﾎﾞﾀﾝへの自動割付の有無を設定します。

※自動割付ありの設定の場合は、以下の場合に老番側の空きDILINﾎﾞﾀﾝが自動割付され表示をします。
1)外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1の捕捉操作の場合(＊115で他のｸﾞﾙｰﾌﾟに変更可能)
2)外線自動選択応答でｸﾞﾙｰﾌﾟ外のDILINﾎﾞﾀﾝへの着信に応答した場合
3)保留応答番号でｸﾞﾙｰﾌﾟ外の外線に応答した場合
4)ｸﾞﾙｰﾌﾟ外に転送した場合(但し、転送先のｸﾞﾙｰﾌﾟに空きDILINﾎﾞﾀﾝがないと転送できない)
→1)～3)に付いては、空きDILINﾎﾞﾀﾝがないと捕捉、応答できません。
自動割付なしの設定の場合は、空きDILINﾎﾞﾀﾝがなくても捕捉、応答、転送操作ができます。</td><td>D #
①

<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>自動割付の有無</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>1:あり</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊364	**外線自動発信時の 自動割付DILIN番号の設定** ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIを行う場合に、電話機毎に自動割付されるDILIN番号を設定します。 ※1.設定できるDILIN番号は1個のみです。 ※2.設定したDILIN番号の[DILIN]ﾎﾞﾀﾝの老番から割り付きます。 ※3.設定なしの場合は、同じ電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ内に設定してある全ての[DILIN]ﾎﾞﾀﾝの老番から割り付きます。 ※4.空き[DILIN]ﾎﾞﾀﾝへの自動割付(＊363で設定)が「なし」の場合は本設定は機能しません。	[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁] ①　② [D₂][D₂] [#] ③ ① D₀D₀D₀ / 対象電話機 : 101～128 / 先頭収容位置 ② D₁D₁D₁ / 対象電話機 : 101～128 / 最終収容位置 ③ D₂D₂ / 対象DILIN番号 : 00 / 設定なし : 01 ～ 96 / DILIN番号01～96	00:設定なし

外線着信系コマンド(電話／FAX自動切替)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊370</td><td>FAX自動転送機能の
FAX外線番号の設定

外線着信に自動応答して、FAXから着信の場合はFAXを呼び出し、FAX以外からの着信の場合は電話機を呼び出す機能(電話/FAX自動切替)を行う外線を設定します。

※1.設定したFAX用外線に着信した場合のみ機能します。
(FAX用外線の設定は1本のみ)
※2.本機能は着信機能では優先度が一番高いので、ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝや転送電話の設定(＊300)があっても、電話/FAX自動切替となります。但し、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの場合は、電話/FAX切替機能は無効となります。
※3.電話機への着信はDIDの一般着信と同様です。</td><td>D D ＃
①

① ＤＤ | 00 | 01～08
FAX用外線 | 機能なし | 対象外線番号

※ISDN回線(INSﾈｯﾄ64)の場合は若番外線番号(奇数番号)を設定します。
ISDN回線が外線5,6の場合は「外線5」(05)を設定します。</td><td>00:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊371</td><td>FAX自動転送機能の
FAX収容位置の設定

外線着信に自動応答して、FAXから着信の場合呼び出すFAXの内線収容位置を設定します。

※呼び出すFAXは、内線に単独電話機収容機能で接続します。
(FAXの接続は1台のみ)</td><td>D D D ＃
①

① ＤＤＤ | 000 | 107～128
FAX接続の収容位置 | 設定なし | 収容位置</td><td>000:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊372</td><td>FAXのCNG信号検出待ち時間の設定

FAXのCNG信号検出待ち時間を設定します。

※1.CNG検出待ち時間は、発信がFAXか否かを判定する時間です。通常は4秒を設定してください。
FAXからのCNG信号がうまく受けられず電話機を呼び出してしまう場合は、CNG検出待ち時間を長めに設定してください。
※2.FAXからCNG信号が送出されない場合は、FAXからの着信でも電話機が呼び出されます。</td><td>D ＃
①

① D | 0 ～ 9
CNG検出待ち時間 | 1秒 ～ 10秒</td><td>3:4秒</td></tr>
<tr><td>＊373</td><td>FAX応答待ち時間の設定

FAX応答待ち時間を設定します。

※FAX応答待ち時間は、FAXを呼び出してからFAXが応答するのを待つ時間です。ﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時は、外線を切断します。</td><td>D ＃
①

① D | 0 | 1 | 2 | 3
FAX応答待ち時間 | 5秒 | 10秒 | 15秒 | 20秒</td><td>1:10秒</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(電話／FAX自動切替)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊374	FAX送受器戻しの自動転送の設定 電話機で応答時に相手がFAXである場合は、応答後一定時間以内に送受器を戻すと、自動的にFAXに転送する機能を設定します。	D D # ① ① DD: 00 機能なし / 01 2秒 / 02 4秒 / ‥ / 10 20秒	00:機能なし
＊375	FAX疑似呼出音(RBT)の送出 外線自動応答後、外線に疑似呼出音(RBT)を送出するか、否かを設定します。	D # ① ① D: 0 送出なし / 1 送出あり	1:送出あり

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊380</td><td>お待たせﾒｯｾｰｼﾞのﾓｰﾄﾞ設定

お待たせﾒｯｾｰｼﾞのﾓｰﾄﾞ(自動ﾓｰﾄﾞ／手動ﾓｰﾄﾞ)を設定します。

・自動ﾓｰﾄﾞ：お待たせ ﾎﾞﾀﾝを押すと以後の着信はお待たせﾒｯｾｰｼﾞになります。
・手動ﾓｰﾄﾞ：お待たせ ﾎﾞﾀﾝを押すと1回だけお待たせﾒｯｾｰｼﾞになります。
※1.自動ﾓｰﾄﾞの場合、自動解除時間は＊386で設定します。
※2.「ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)/ISDN着信拒否」機能を行う場合は、「自動ﾓｰﾄﾞ」に設定します。</td><td>D ＃
①

① D / ﾓｰﾄﾞ：0 自動ﾓｰﾄﾞ、1 手動ﾓｰﾄﾞ</td><td>0:自動ﾓｰﾄﾞ</td></tr>
<tr><td>＊381</td><td>外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の設定

外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の有無を設定すると共に、機能ありの場合は音源をVRUの可変音源かEMUの外部音源かを設定します。

※1.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
(基板1枚当たり最大4件)
※2.本機能と「ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)/ISDN着信拒否」との併用はできません。</td><td>D₀ D₀ D₁ ＃
① ②

① DₒDₒ：00～15 ﾃﾅﾝﾄ番号：0～15

② D₁ お待たせﾒｯｾｰｼﾞの種類
0 機能なし
1 VRU1-1
2 VRU1-2
3 VRU1-3
4 VRU1-4
5 VRU2-1
6 VRU2-2
7 VRU2-3
8 VRU2-4
9 外部音源(EMU)</td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊382</td><td>外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ
送出時間の設定

外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞのﾒｯｾｰｼﾞ送出時間をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。

※お待たせﾒｯｾｰｼﾞを設定時間送出後は、保留音が発信者に送出されます。</td><td>D₀ D₀ D₁ ＃
① ②

① DₒDₒ：00～15 ﾃﾅﾝﾄ番号：0～15

② D₁：0 4秒、1 8秒、2 12秒、3 16秒 (お待たせﾒｯｾｰｼﾞ送出時間)</td><td>1:8秒</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊383</td><td>外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の
切断ﾒｯｾｰｼﾞのﾒｯｾｰｼﾞ音源の設定

外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞでの切断ﾒｯｾｰｼﾞ音源の種類をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。

※1.外線保留で一定時間(＊385で設定)応答がない場合は保留を中止して次の処理に移ります。
・ﾒｯｾｰｼﾞなし…ﾒｯｾｰｼﾞを送出しないで直ちに外線を切断します。
・ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ……ﾎﾞｲｽﾒｰﾙに転送して留守番代行機能を行います。
ﾎﾞｲｽﾒｰﾙから流す不在ﾒｯｾｰｼﾞの種類は＊9124で設定します。
・切断ﾒｯｾｰｼﾞ…切断ﾒｯｾｰｼﾞを送出後、外線を切断します。
・留守番電話機に転送…内線収容の留守番電話機に転送します。
留守番電話機の収容位置は＊607で設定します。応答待ち時間は＊608で設定します。
※2.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
(基板1枚当たり最大4件)</td><td>Dₒ Dₒ D₁ D₁ #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>DₒDₒ</td><td>00～15</td></tr><tr><td></td><td>ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>0～15</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類</td><td></td></tr><tr><td></td><td>00</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞなし(外線切断)</td><td></td></tr><tr><td></td><td>01</td><td>VRU1-1</td><td rowspan="10">切断ﾒｯｾｰｼﾞ</td></tr><tr><td></td><td>02</td><td>VRU1-2</td></tr><tr><td></td><td>03</td><td>VRU1-3</td></tr><tr><td></td><td>04</td><td>VRU1-4</td></tr><tr><td></td><td>05</td><td>VRU2-1</td></tr><tr><td></td><td>06</td><td>VRU2-2</td></tr><tr><td></td><td>07</td><td>VRU2-3</td></tr><tr><td></td><td>08</td><td>VRU2-4</td></tr><tr><td></td><td>09</td><td>外部音源(EMU)</td></tr><tr><td></td><td>10</td><td>ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ(留守番代行)</td><td></td></tr><tr><td></td><td>11</td><td>留守番電話機に転送</td><td></td></tr></table></td><td>00:ﾒｯｾｰｼﾞなし</td></tr>
<tr><td>＊384</td><td>外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の
切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間の設定

外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能での切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間を、ﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。

※＊383で切断ﾒｯｾｰｼﾞを選択した場合のみ有効です。</td><td>Dₒ Dₒ D₁ #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>DₒDₒ</td><td>00～15</td></tr><tr><td></td><td>ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>0～15</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間</td><td>4秒</td><td>8秒</td><td>12秒</td><td>16秒</td></tr></table></td><td>1:8秒</td></tr>
<tr><td>＊385</td><td>外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の
保留時間の設定

外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能で自動応答してﾒｯｾｰｼﾞ送出後、切断処理を行うまでの保留時間を設定します。

※外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の設定は＊381で設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>･･･</td><td>9</td></tr><tr><td></td><td>保留時間</td><td>10秒</td><td>20秒</td><td>30秒</td><td>･･･</td><td>100秒</td></tr></table></td><td>2:30秒</td></tr>
<tr><td>＊386</td><td>外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の
自動解除時間の設定

お待たせ ﾎﾞﾀﾝを押して外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞのﾓｰﾄﾞに切り替えてから自動的に解除されるまでの時間を設定します。

※外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能の設定は＊381で設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>1</td><td>2</td><td>･･･</td><td>9</td></tr><tr><td></td><td>解除時間</td><td>1時間</td><td>2時間</td><td>･･･</td><td>9時間</td></tr></table></td><td>1:1時間</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(外線自動応答メッセージ)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊390</td><td>外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞの音源の設定

外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ機能で送出するﾒｯｾｰｼﾞ音源の種類をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。ﾒｯｾｰｼﾞはVRUの可変音源かEMUの外部音源から選択します。

※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは＊300または＊301で着信種別を「外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ」に設定した場合に有効です。
※2.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
（基板1枚当たり最大4件）</td><td>D₀ D₀ D₁ D₂ #
① ② ③

① DₒDₒ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15

② D₁ 0:昼 1:夜 2:外出 3:休日 4:全て

③ D₂ 1:VRU1-1 2:VRU1-2 3:VRU1-3 4:VRU1-4 5:VRU2-1 6:VRU2-2 7:VRU2-3 8:VRU2-4 9:外部音源

※ﾃﾞｰﾀ確認にて、②に4を入力した場合はﾓﾆﾀできません。</td><td>1:VRU1-1</td></tr>
<tr><td>＊391</td><td>外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間の設定

外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ機能で送出するﾒｯｾｰｼﾞの送出時間をﾃﾅﾝﾄ毎に設定します。

※本ｺﾏﾝﾄﾞは＊300または＊301で着信種別を「外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ」に設定した場合に有効です。</td><td>D₀ D₀ D₁ #
① ②

① DₒDₒ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15

② D₁ 0:8秒 1:16秒 2:32秒 3:64秒</td><td>1:16秒</td></tr>
<tr><td>＊392</td><td>外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ後の処理の設定

外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ機能でﾒｯｾｰｼﾞ送出後の処理を設定します。

※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは＊300または＊301で着信種別を「外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ」に設定した場合に有効です。
※2.一般着信での鳴動電話機は＊310～＊313で設定します。</td><td>D #
①

① D 0:切断 1:一般着信</td><td>0:切断</td></tr>
</table>

外線着信系コマンド(その他)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊400	**自動BT返送機能の設定** ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ(DI)及びISDN回線にて、外線着信時にすぐに応答できない場合にあらかじめ[お待たせ]ﾎﾞﾀﾝを押しておくと発信者に話中音(BT)を聞かせる機能をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。 ※1.本機能はお待たせﾒｯｾｰｼﾞのﾓｰﾄﾞを自動ﾓｰﾄﾞに設定した場合のみ有効です。(＊380で設定) ※2.自動BT返送機能を自動的に解除するまでの時間は＊386で設定します。 ※3.ISDN回線の場合、着信応答可能なISDN機器がS/Tにﾏﾙﾁ接続されているときは機能しません。	[D₀][D₀] [D₁] [#] ①　② ① D₀D₀ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15 ② D₁ 0 1 / BT返送 機能なし 機能あり	0:機能なし
＊410	**ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能の有無の設定** 外線毎にﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能の利用の有無を設定します。 ※1.「ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」の契約があっても、本設定が「なし」の場合は機能しません。 ※2.ISDN回線(INSﾈｯﾄ64)の場合は、設定は不要です。	[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂] [#] ①　②　③ ① D₀D₀ 01～08 / 対象外線 先頭外線番号 ② D₁D₁ 01～08 / 対象外線 最終外線番号 ③ D₂ 0 1 / 機能の有無 なし あり	0:なし
＊411	**ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能の受信ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ時の処理** 「ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」ｻｰﾋﾞｽで受信するﾃﾞｰﾀにｴﾗｰがあったときに、「ｱｲﾃｶﾞﾜｶﾘﾏｾﾝ ?」を表示して着信するか、発呼者BTとするかを設定します。	[D] [#] ① ① D 0 1 / 受信ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ時の処理 着信 発呼者BT	0:着信

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊500</td><td>保留ﾎﾞﾀﾝによる外線保留応答の設定

外線保留中に保留ﾎﾞﾀﾝを押すことにより、保留応答できる機能を設定します。

※このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ 対象電話機：101～106, 109～128 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 対象電話機：101～106, 109～128 最終収容位置

③ D₂：0 保留応答 機能なし／1 機能あり</td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊501</td><td>保留ﾎﾞﾀﾝによる外線自動保留の有無の設定

外線自動保留を内線ﾎﾞﾀﾝの代わりに保留ﾎﾞﾀﾝでも行うか否かを設定します。

※このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ 対象電話機：101～106, 109～128 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ 対象電話機：101～106, 109～128 最終収容位置

③ D₂：0 なし／1 あり 外線自動保留の有無</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊502</td><td>外線自動保留時の保留状態の設定

外線自動保留時の保留状態を、一般保留とするか自己保留とするかを設定します。</td><td>D #
①

① D：0 保留状態 一般保留／1 自己保留</td><td>0:一般保留</td></tr>
<tr><td>＊503</td><td>保留音の選曲

内部保留音の曲目を設定します。

※＊504が「0」のとき有効です。</td><td>D #
①

① D：0 曲目 ﾚｯﾄ･ｲｯﾄ･ﾋﾞｰ／1 ﾒﾛﾃﾞｨｰﾌｪｱ</td><td>0:ﾚｯﾄ･ｲｯﾄ･ﾋﾞｰ</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊504</td><td>外線保留音種別の設定

ﾃﾅﾝﾄ番号毎に内部または外部保留音を設定します。

※1.外部保留音を使用する場合は、ET-EMU-Giが必要になります。
※2.VRU音源を使用する場合は、ET-VRU-Giが必要になります。
※3.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
（基板1枚当たり最大4件）</td><td>D₀ D₀ D₁ #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>00～15</td></tr><tr><td></td><td>ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>0～15</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td></td><td>保留音源</td><td>内部音源</td><td>VRU 1-1</td><td>VRU 1-2</td><td>VRU 1-3</td><td>VRU 1-4</td><td>VRU 2-1</td><td>VRU 2-2</td><td>VRU 2-3</td><td>VRU 2-4</td><td>外部音源</td></tr></table></td><td>0:内部音源</td></tr>
<tr><td>＊505</td><td>単独電話機の保留番号の設定

単独電話機で外線及び内線を保留させる特番を設定します。

※ﾎﾞﾀﾝ電話機でも特番を有効とする場合は＊506を設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>‥</td><td>9</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>保留番号</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>‥</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>
※機能なしとする場合は00を入力します。</td><td>2:2</td></tr>
<tr><td>＊506</td><td>ﾎﾞﾀﾝ電話機の特番保留の設定

＊505で設定した保留番号をﾎﾞﾀﾝ電話機でも有効とするか否かを設定します。

※1.単独電話機は、本設定に関係なく有効となります。
※2.本設定を「機能あり」にした場合は、外線通話中に保留番号をﾀﾞｲﾔﾙすると外線は保留されてしまいます。PB信号による銀行ｻｰﾋﾞｽ等を行う場合は「機能あり」に設定しないでください。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～106, 109～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～106, 109～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>特番保留</td><td>機能なし</td><td>機能あり</td></tr></table></td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊507</td><td>単独電話機の保留戻り特番の設定

単独電話機で保留中の外線や内線に戻る特番を設定します。

※ﾎﾞﾀﾝ電話機でも操作可能です。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>‥</td><td>9</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>戻り番号</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>‥</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>
※機能なしとする場合は00を入力します。</td><td>2:2</td></tr>
</table>

外線保留・転送系コマンド(保留)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊508</td><td>保留警報時間の設定

外線を保留してから保留警報音が出るまでの時間及び自己保留が解除されるまでの時間を設定します。

※警報音の音量は、＊322で設定します。(着信警報と共通)</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>時間</td><td>なし</td><td>30秒</td><td>60秒</td><td>90秒</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊509</td><td>他ｸﾞﾙｰﾌﾟの保留外線自動選択応答の設定

他の電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ(＊710で設定)の電話機が保留した外線に、自動選択応答できるか否かを設定します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>自動選択応答</td><td>可</td><td>不可</td></tr></table></td><td>0:可</td></tr>
</table>

外線保留・転送系コマンド(転送)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊520</td><td>ｵﾝﾌｯｸ転送機能の設定

外線を他の電話機に転送するとき、送受器を下ろすだけで転送可能か否かを設定します。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～128 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～128 最終収容位置
③ D₂ ｵﾝﾌｯｸ転送 0 不可 1 可</td><td>0:不可</td></tr>
<tr><td>＊521</td><td>外線簡易転送機能の設定

外線の内線転送時に、相手応答前に[転送]ﾎﾞﾀﾝを押して転送可能か否かを設定します。
※1.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰで[転送]ﾎﾞﾀﾝの設定が必要。
※2.ｵﾝﾌｯｸ転送機能なし(＊520で設定)であれば「2」(ｵﾝﾌｯｸ操作でも可)にしても[転送]ﾎﾞﾀﾝ操作が必要。</td><td>D #
①
① D 0 可否 1 不可 2 可 可(ｵﾝﾌｯｸ操作でも可)</td><td>1:可</td></tr>
<tr><td>＊522</td><td>ｵｰﾄﾏﾁｯｸﾘｺｰﾙ時間の設定

外線簡易転送時の不応答による呼び返しの有無及び呼び返しまでの時間を設定します。</td><td>D #
①
① D 時間 0 機能なし 1 10秒 2 20秒 3 30秒</td><td>2:20秒</td></tr>
<tr><td>＊523</td><td>不完全転送時の保留警報鳴動の設定

外線保留後、ﾀﾞｲﾔﾙ中に操作ﾐｽを行った場合、操作電話機がｵﾝﾌｯｸすると保留警報音を鳴動させるか否かを、電話機毎に設定します。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～128 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～128 最終収容位置
③ D₂ 保留警報鳴動 0 なし 1 あり</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊524</td><td>SDT聴取時のｵﾝﾌｯｸ処理

SDT(ｽﾍﾟｼｬﾙﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ)聴取時にｵﾝﾌｯｸしたとき、呼び返すか、保留とするかを設定します。

※＊523で“あり”に設定されたときに有効となります。</td><td>D #
①
① D SDT聴取時のｵﾝﾌｯｸ処理 0 呼び返し 1 保留</td><td>0:呼び返し</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(転送電話)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊600</td><td>転送電話の発信外線　昼/夜

ｱﾅﾛｸﾞ外線の転送電話用外線を設定します。

※1.外線毎に転送電話発信の可否が設定できます。
※2.発信の可否が昼夜同じ場合は、夜のﾃﾞｰﾀは、省略できます。
※3.＊300で「転送電話」に設定した外線に着信すると、本ｺﾏﾝﾄﾞで設定する外線に転送されます。(空きの外線の老番側より選択)
※4.転送先の電話番号は＊615,＊616で設定します。(登録済みの短縮番号で設定)
※5.ISDNの場合は、本ｺﾏﾝﾄﾞの設定は不要です。(自動的に空きのISDN外線より発信します。)</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
①　②　③　④

① D₀D₀ 対象外線 / 01～08 先頭外線番号

② D₁D₁ 対象外線 / 01～08 最終外線番号

③ D₂ 発信の可否(昼) / 0 発信不可 / 1 発信可能

④ D₃ 発信の可否(夜) / 0 発信不可 / 1 発信可能</td><td>0:発信不可</td></tr>
<tr><td>＊601</td><td>転送電話の種類

転送電話ﾓｰﾄﾞ(通常ﾓｰﾄﾞ/追っかけﾓｰﾄﾞ/ﾂｲﾝﾋﾞｰﾑﾓｰﾄﾞ)を設定します。</td><td>D #
①

① D / 0 通常ﾓｰﾄﾞ / 1 追っかけﾓｰﾄﾞ / 2 ﾂｲﾝﾋﾞｰﾑﾓｰﾄﾞ
転送電話ﾓｰﾄﾞ</td><td>0:通常ﾓｰﾄﾞ</td></tr>
<tr><td>＊602</td><td>転送電話ﾚﾍﾞﾙ設定

転送電話動作時のｱﾝﾌﾟｹﾞｲﾝを設定します。

※1.設定するｱﾝﾌﾟｹﾞｲﾝは「工事ﾏﾆｭｱﾙ編」を参照ください。
※2.ISDNの場合は、本ｺﾏﾝﾄﾞの設定は不要です。</td><td>D #
①

① D / 0 0dB / 1 2dB / 2 4dB / 3 6dB / 4 8dB / 5 10dB / 6 12dB / 7 14dB
転送電話ﾚﾍﾞﾙ
小 ←→ 大</td><td>4:8dB</td></tr>
<tr><td>＊603</td><td>転送電話の転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類の設定

転送電話で発呼者に流す転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類をVRUや外部音源の中から選択します。また、転送ﾒｯｾｰｼﾞの機能の有無の設定を行います。
設定はﾃﾅﾝﾄ番号毎に行います。

※VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。(基板1枚当たり最大4件)</td><td>D₀ D₀ D₁ #
①　②

① D₀D₀ ﾃﾅﾝﾄ番号 / 00～15 0～15

② D₁ 転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類
0 ﾒｯｾｰｼﾞなし
1 VRU1-1
2 VRU1-2
3 VRU1-3
4 VRU1-4
5 VRU2-1
6 VRU2-2
7 VRU2-3
8 VRU2-4
9 EMUの外部音源</td><td>0:ﾒｯｾｰｼﾞなし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊604</td><td>転送電話の転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間の設定

転送電話の転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。

※＊603がﾒｯｾｰｼﾞなしの場合は無効です。</td><td>D₀ D₀ D₁ #
① ②

① D₀D₀ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15

② D₁ 0 1 2 3 / 転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間 4秒 8秒 12秒 16秒</td><td>1:8秒</td></tr>
<tr><td>＊605</td><td>転送電話の切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類の設定

転送電話の切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。

※1.転送先が一定時間(＊610で設定)応答がない場合は次の処理に移ります。
・外線切断/転送継続…転送ﾒｯｾｰｼﾞなしの場合は転送を継続し、転送ﾒｯｾｰｼﾞありの場合は外線を切断します。
転送ﾒｯｾｰｼﾞ有無(ﾒｯｾｰｼﾞの種類も含む)は＊603で設定します。
・ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ……ﾎﾞｲｽﾒｰﾙに転送して留守番代行機能を行います。
ﾎﾞｲｽﾒｰﾙから流す不在ﾒｯｾｰｼﾞの種類は＊9124で設定します。
・切断ﾒｯｾｰｼﾞ…切断ﾒｯｾｰｼﾞを送出後、外線を切断します。
・留守番電話機に転送…内線収容の留守番電話機に転送します。留守番電話機の収容位置は＊607で設定します。応答待ち時間は＊608で設定します。
※2.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
(基板1枚当たり最大4件)</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ #
① ②

① D₀D₀ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15

② D₁D₁ 切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類
00 転送継続/外線切断
01 VRU1-1
02 VRU1-2
03 VRU1-3
04 VRU1-4
05 VRU2-1
06 VRU2-2
07 VRU2-3
08 VRU2-4
09 外部音源(EMU)
(01～09: 切断ﾒｯｾｰｼﾞ)
10 ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ(留守番代行)
11 留守番電話機に転送</td><td>00:転送継続/外線切断</td></tr>
<tr><td>＊606</td><td>転送電話の切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間の設定

転送電話の切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間をﾃﾅﾝﾄ番号毎に設定します。

※＊605をVRUか外部音源に設定した場合に有効です。</td><td>D₀ D₀ D₁ #
① ②

① D₀D₀ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15

② D₁ 0 1 2 3 / 切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間 4秒 8秒 12秒 16秒</td><td>1:8秒</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(転送電話)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊607</td><td>留守番電話機の収容位置の設定

留守番電話機を接続した収容位置を設定します。</td><td>D D D #
①
<table><tr><td>①</td><td>DoDoDo
留守番電話機</td><td>000
設定なし</td><td>107～128
収容位置</td></tr></table></td><td>000:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊608</td><td>留守番電話機応答待ち時間の設定

留守番電話機の応答待ち時間を設定します。

※応答待ち時間を経過しても留守番電話機が応答しない場合は、回線を切断します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
留守番電話機
応答待ち時間</td><td>0
5秒</td><td>1
10秒</td><td>2
15秒</td><td>3
20秒</td></tr></table></td><td>3:20秒</td></tr>
<tr><td>＊609</td><td>転送電話の転送中着信表示の設定

転送電話(外線自動転送)機能で転送中に内線電話機に着信表示を行うか否かを設定します。
※1.鳴動電話機は＊310～＊313で設定します。
※2.着信鳴動は、転送先応答、着信停止、または切断処理開始(外線切断/切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出/ﾎﾞｲｽﾒｰﾙに転送/留守番電話機に転送)まで行います。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
着信表示</td><td>0
なし</td><td>1
あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊610</td><td>転送電話の転送先呼出時間の設定

転送電話の一回の呼出時間を設定します。(設定単位は10秒毎です。)

※公専公接続機能(公一専接続、及び公一公接続)の場合も相手先呼出時間として機能します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
転送先呼出時間</td><td>0
10秒</td><td>～
～</td><td>9
100秒</td></tr></table></td><td>4:50秒</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(転送電話)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊611	**転送電話通話時間** 転送電話の通話成立後、強制切断までの通話時間を設定します。 ※公専公接続機能(公一専接続、及び公一公接続)の場合も相手先との通話時間として機能します。	D D # ① ① DD: 00 転送電話通話時間 30分 / 01 10分 / 02 20分 / ‥ / 15 150分	00:30分
＊612	**転送電話用外線の設定** 転送電話(外線自動転送)機能動作時の発信用外線をｼｽﾃﾑ全体から選択するか、着信外線と同一ﾃﾅﾝﾄ内から選択するかを設定します。	D # ① ① D: 0 発信外線 ｼｽﾃﾑ / 1 同一ﾃﾅﾝﾄ	0:ｼｽﾃﾑ
＊613	**転送電話のDT検出の設定** 転送電話(外線自動転送)機能の発信側外線のﾀﾞｲﾔﾙ送出時、DT検出を行うか否かを設定します。 ※1.DT検出を行わない場合は、外線捕捉から一定時間後にﾀﾞｲﾔﾙ送出をｽﾀｰﾄします。 ※2.DT検出を行う場合は、外線捕捉後DTを検出したらﾀﾞｲﾔﾙ送出をｽﾀｰﾄします。 ※3.DT検出を行うと転送電話の接続時間は多少短くなりますが、回線ﾉｲｽﾞ等によりDTを誤検出する場合もありますので、頻繁に誤接続する場合には「DT検出なし」に設定してください。	D # ① ① D: 0 DT検出なし / 1 あり	0:なし
＊614	**予備着信(極性反転)の検出** 自動応答は呼出信号(16Hz)を検出して行われますが、設定により予備着信(極性反転)の検出で自動応答させることができます。 ※1.予備着信を検出して自動応答する機能は、転送電話とFAX自動切替のみです。自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ等では機能しません。 ※2.回線ﾉｲｽﾞ等による誤検出がある場合は、“予備検出なし”に設定する必要があります。	D # ① ① D: 0 予備着信検出なし / 1 あり	0:なし

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
(＊615)	**外線毎の転送電話転送先の設定** 転送電話の転送先を、電話番号の登録されている短縮番号で外線毎に設定します。 ※1. 転送先は＊300で「転送電話」に設定した外線に対して設定します。したがって、その外線に着信したときに設定相手先に転送されます。 ※2. 設定できる短縮番号はｼｽﾃﾑ短縮のみで、ｼｽﾃﾑ短縮のﾒﾓﾘｰ数毎に下記となります。 (ﾒﾓﾘｰ数は＊120で設定) ﾒﾓﾘｰ数 / 短縮番号 / 設定ﾃﾞｰﾀ④,⑤ 80 / 00～79 / 00～79 500 / 000～079 / 00～79 1000 / 000～079 / 00～79 ※3. 外線毎にA面/B面の2個の短縮番号を設定でき、[転送先切替]ﾎﾞﾀﾝで切替できます。 切替を行う電話機は＊084で設定します。	[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂] [D₃][D₃] ① ② ③ ④ [D₄][D₄] [#] ⑤ ① D₀D₀ / 対象外線(着信側) / 01～08 / 先頭外線番号 ② D₁D₁ / 対象外線(着信側) / 01～08 / 最終外線番号 ③ D₂ / 区分 / 0 昼 / 1 夜 / 2 外出 / 3 休日 / 4 全指定 ④ D₃D₃ / A面短縮番号 / 00～79 / 対象短縮番号 ⑤ D₄D₄ / B面短縮番号 / 00～79 / 対象短縮番号 ※1. ③で4を設定すると、昼/夜/外出/休日ﾓｰﾄﾞ全て転送先は同一となります。 ※2. ﾃﾞｰﾀの確認にて、③に4を入力した場合はﾓﾆﾀできません。	A面 : 79 B面 : 79
(＊616)	**DILIN番号毎の 転送電話転送先の設定** 転送電話の転送先を電話番号の登録されている短縮番号でDILIN番号毎に設定します。 ※1. 転送先は＊301で「転送電話」に設定したDILIN番号に対して設定します。したがって、そのDILIN番号に着信したときに設定相手先に転送されます。 ※2. 設定できる短縮番号はｼｽﾃﾑ短縮のみで、ｼｽﾃﾑ短縮のﾒﾓﾘｰ数毎に下記となります。 (ﾒﾓﾘｰ数は＊120で設定) ﾒﾓﾘｰ数 / 短縮番号 / 設定ﾃﾞｰﾀ④,⑤ 80 / 00～79 / 00～79 500 / 000～079 / 00～79 1000 / 000～079 / 00～79 ※3. DILIN番号毎にA面/B面の2個の短縮番号を設定でき、[転送先切替]ﾎﾞﾀﾝで切替できます。 切替を行う電話機は＊084で設定します。	[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂] [D₃][D₃] ① ② ③ ④ [D₄][D₄] [#] ⑤ ① D₀D₀ / 対象DILIN番号(着信側) / 01～96 / 先頭DILIN番号 ② D₁D₁ / 対象DILIN番号(着信側) / 01～96 / 最終DILIN番号 ③ D₂ / 昼夜区分 / 0 昼 / 1 夜 / 2 外出 / 3 休日 / 4 全指定 ④ D₃D₃ / A面短縮番号 / 00～79 / 対象短縮番号 ⑤ D₄D₄ / B面短縮番号 / 00～79 / 対象短縮番号 ※1. ③で4を設定すると、昼/夜/外出/休日ﾓｰﾄﾞ全て転送先は同一となります。 ※2. ﾃﾞｰﾀの確認にて、③に4を入力した場合はﾓﾆﾀできません。	A面 : 79 B面 : 79

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊617</td><td>転送呼出中の処理

転送ﾒｯｾｰｼﾞ終了後、相手応答または切断処理まで、疑似呼出音(RBT)を送出するか、発信側の回線の音を送出するかを設定します。

※＊603がﾒｯｾｰｼﾞなしの場合は無効です。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>転送呼出中の処理</td><td>疑似呼出音(RBT)</td><td>発信側の回線の音</td></tr></table></td><td>0:疑似呼出音</td></tr>
<tr><td>＊618</td><td>転送電話追っかけﾓｰﾄﾞﾘﾄﾗｲ

転送電話追っかけﾓｰﾄﾞの場合に発信先が話中のときのﾘﾄﾗｲ方法を設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>ﾘﾄﾗｲ方法</td></tr><tr><td></td><td>0</td><td>最初の相手にﾘﾄﾗｲする
(追っかけない)</td></tr><tr><td></td><td>1</td><td>次の相手にﾘﾄﾗｲする
(追っかける)</td></tr></table></td><td>0:最初の相手にﾘﾄﾗｲする</td></tr>
<tr><td>＊620</td><td>外線手動転送時の
外線自動発信の設定

外線を自動保留してｽﾍﾟｼｬﾙﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ(SDT)を聞いているときに外線自動発信できるか否かを設定します。

※「外線自動発信あり」に設定した場合は、＊081で設定する下記の特番が有効になります。
・外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ1～6
・短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信</td><td>D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 #
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>$D_0D_0D_0$</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>$D_1D_1D_1$</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D_2</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>外線自動発信</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊628</td><td>転送先への
転送電話通知の設定

転送電話(外線自動転送)や外線への不在転送の場合に、転送先が応答したときにPB信号で“＃１＃”を送出して、転送先に転送電話であることを通知します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>00</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>転送電話通知の有無</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table>
※通知を「なし」にする場合は、00と2桁で入力してください。</td><td>00:なし</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(会議通話)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊630</td><td>会議通話数
会議通話数、割込数を設定します。
※設定を変更した場合は、次回ｼｽﾃﾑﾘｾｯﾄ、または電源ｵﾌ/ｵﾝ時に有効となります。</td><td>D ＃
①
<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>会議通話数</td><td>4
(3者通話
割込数1)</td><td>3
(4者通話
割込数2)</td><td>2
(6者通話
割込数4)</td></tr>
</table>
※外線割込通話以外は、常に3者通話で会議通話回路数のみ変わります。</td><td>0:会議通話数4
(3者会議)</td></tr>
<tr><td>＊631</td><td>外線割込通話の設定
外線通話への割込を電話機毎に設定します。
※1.割込通話を行う場合は、ET-CFU-Giが必要になります。
※2.ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能の設定は＊708で設定します。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ ＃
① ② ③
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>割込通話</td><td>不可</td><td>可</td></tr>
</table></td><td>0:不可</td></tr>
<tr><td>＊632</td><td>外線通話への被割込電話機の設定
外線通話への被割込を電話機毎に設定します。
※1.割込通話を行う場合は、ET-CFU-Giが必要になります。
※2.ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能の設定は＊708で設定します。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ ＃
① ② ③
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>被割込</td><td>不可</td><td>可</td></tr>
</table></td><td>1:可</td></tr>
<tr><td>＊633</td><td>外線割込通話時のｱﾗｰﾑ送出の設定
外線通話の被割込時にｱﾗｰﾑを鳴動させるか否かを設定します。
※1.割込通話を行う場合は、ET-CFU-Giが必要になります。
※2.ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能の設定は＊708で設定します。
※3.このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ ＃
① ② ③
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～106, 109～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～106, 109～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ｱﾗｰﾑ送出</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
</table></td><td>0:なし</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(会議通話)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊634	**外線通話ﾓﾆﾀ（聴話）の設定** 外線ﾓﾆﾀできるか否かを電話機毎に設定できます。 ※単独電話機収容のときは、被ﾓﾆﾀの設定(＊635)のみ有効です。 外線ﾓﾆﾀを行うには、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰに 聴話 の設定が必要です。	D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀D₀ 対象電話機: 101～106, 109～128 先頭収容位置 ② D₁D₁D₁ 対象電話機: 101～106, 109～128 最終収容位置 ③ D₂ 0 1 外線ﾓﾆﾀ 不可 可	1:可
＊635	**外線通話被ﾓﾆﾀ(聴話)の設定** 外線ﾓﾆﾀされるか否かを電話機毎に設定できます。 ※単独電話機収容のときは、被ﾓﾆﾀの設定のみ有効です。	D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀D₀ 対象電話機: 101～128 先頭収容位置 ② D₁D₁D₁ 対象電話機: 101～128 最終収容位置 ③ D₂ 0 1 被ﾓﾆﾀ 不可 可	1:可
＊636	**外線通話被ﾓﾆﾀ(聴話)時のｱﾗｰﾑの設定** 外線被ﾓﾆﾀ時にｱﾗｰﾑ送出するか否かを電話機毎に設定できます。 ※このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。	D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ # ① ② ③ ① D₀D₀D₀ 対象電話機: 101～106, 109～128 先頭収容位置 ② D₁D₁D₁ 対象電話機: 101～106, 109～128 最終収容位置 ③ D₂ 0 1 外線被ﾓﾆﾀ時ｱﾗｰﾑ送出 なし あり	0:なし

外線系その他のコマンド(テナント)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊640</td><td>外線ﾃﾅﾝﾄ種別の設定

外線毎にﾃﾅﾝﾄ種別(昼/夜)を設定します。

※1.外線使用中(保留中、着信中も含む)には変更しないでください。
※2.ﾃﾅﾝﾄ種別が昼夜同じ場合は、夜は省略できます。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
① ② ③ ④

① D₀D₀ 01～08 / 対象外線 / 先頭外線番号

② D₁D₁ 01～08 / 対象外線 / 最終外線番号

③ D₂ | 0 | 1 | 2 | 3 / ﾃﾅﾝﾄ種別(昼) | なし | 着信ﾃﾅﾝﾄ | 発着信ﾃﾅﾝﾄ | 完全ﾃﾅﾝﾄ

④ D₃ | 0 | 1 | 2 | 3 / ﾃﾅﾝﾄ種別(夜) | なし | 着信ﾃﾅﾝﾄ | 発着信ﾃﾅﾝﾄ | 完全ﾃﾅﾝﾄ

[ﾃﾅﾝﾄ種別の意味]
<table><tr><th>ﾃﾅﾝﾄ種別</th><th>意　味</th></tr><tr><td>なし</td><td>共通ﾃﾅﾝﾄで全電話機で使用できます。</td></tr><tr><td>着信ﾃﾅﾝﾄ</td><td>外線着信時のみﾃﾅﾝﾄは有効で、外線発信及び保留応答は全電話機でできます。</td></tr><tr><td>発着信ﾃﾅﾝﾄ</td><td>外線発信及び外線着信時にﾃﾅﾝﾄは有効で、外線保留応答は全電話機でできます。</td></tr><tr><td>完全ﾃﾅﾝﾄ</td><td>全ての機能でﾃﾅﾝﾄは有効で、ﾃﾅﾝﾄ外の電話機ではいっさい使用できません。</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊641</td><td>外線毎のﾃﾅﾝﾄ番号の設定

外線毎にﾃﾅﾝﾄ番号を設定します。

電話機毎のﾃﾅﾝﾄ番号設定との組み合わせでﾃﾅﾝﾄ分けできます。

※1.電話機毎にどのﾃﾅﾝﾄの外線を使用できるかは＊642で設定します。
※2.ﾃﾅﾝﾄ番号を0(共通ﾃﾅﾝﾄ)とした場合はﾃﾅﾝﾄ種別に関係なく全電話機で使用できます。
※3.外線使用中(保留中､着信中も含む)には変更しないでください。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀ 01～08 / 対象外線 / 先頭外線番号

② D₁D₁ 01～08 / 対象外線 / 最終外線番号

③ D₂D₂ 00～15 / ﾃﾅﾝﾄ番号 0～15</td><td>00:ﾃﾅﾝﾄ0</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊642)</td><td>電話機毎のﾃﾅﾝﾄ番号の設定

電話機毎にどのﾃﾅﾝﾄ番号の外線を使用できるかを設定します。

※1.外線のﾃﾅﾝﾄ番号は＊641で設定します。
※2.外線使用中(保留中、着信中も含む)には変更しないでください。
※3.複数のﾃﾅﾝﾄを同時に使用可に設定できます。
※4.共通ﾃﾅﾝﾄを使用可に設定すると全ﾃﾅﾝﾄ番号が使用可になり、使用不可に設定すると全ﾃﾅﾝﾄ番号が使用不可になります。</td><td>[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁]
①　②
[D₂][D₂] [D₃] [#]
③　④
↑------※ ------

① D₀D₀D₀ / 対象電話機 : 101～128 / 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ / 対象電話機 : 101～128 / 最終収容位置

③ D₂D₂ / ﾃﾅﾝﾄ番号 : 00～15 / 0～15

④ D₃ / ﾃﾅﾝﾄの使用可否 : 0 使用不可 / 1 使用可

※本ｺﾏﾝﾄﾞは、D₂D₂以降の連続設定ができます。尚、別の収容位置の電話機を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。</td><td>1:使用可</td></tr>
<tr><td>＊643</td><td>DILIN番号毎のﾃﾅﾝﾄ番号の設定

DILIN番号毎にﾃﾅﾝﾄ番号を設定します。

※ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの場合のﾃﾅﾝﾄ番号の設定は、ﾃﾅﾝﾄ種別の設定が目的ではなく、「夜間切替」や「外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ」等の機能がﾃﾅﾝﾄ番号毎の設定となっているため、DILIN番号毎にﾃﾅﾝﾄ番号を設定します。</td><td>[D₀][D₀] [D₁][D₁] [D₂][D₂] [#]
①　②　③

① D₀D₀ / 対象DILIN番号 : 01～96 / 先頭DILIN番号

② D₁D₁ / 対象DILIN番号 : 01～96 / 最終DILIN番号

③ D₂D₂ / ﾃﾅﾝﾄ番号 : 00～15 / 0～15</td><td>00:ﾃﾅﾝﾄ0</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(バーチャルライン)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊650</td><td>ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式の有無の設定

一般の外線及びｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIの場合に着信の索線方式(ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式)を行うか否かを設定します。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式</td><td>機能なし</td><td>機能あり</td></tr></table></td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊651</td><td>ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式の外線ｸﾞﾙｰﾌﾟの設定

一般外線のﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式のｸﾞﾙｰﾌﾟを外線毎に設定します。

※1.ﾊﾞｰﾁｬﾙ方式のｸﾞﾙｰﾌﾟに設定すると、外線 ﾎﾞﾀﾝは使用できなくなります。
※2.同じｸﾞﾙｰﾌﾟの外線は1つの 着信 ﾎﾞﾀﾝに設定されます。着信 ﾎﾞﾀﾝは＊652で設定し、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定方法による設定/変更はできません。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₂ ＃
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>01～08</td></tr><tr><td></td><td>対象外線</td><td>先頭外線番号</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>01～08</td></tr><tr><td></td><td>対象外線</td><td>最終外線番号</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>00</td><td>01～15</td></tr><tr><td></td><td>外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</td><td>ｸﾞﾙｰﾌﾟなし</td><td>1～15</td></tr></table></td><td>00:ｸﾞﾙｰﾌﾟなし</td></tr>
<tr><td>＊652</td><td>外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎の 着信 ﾎﾞﾀﾝの設定

一般外線のﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ(＊710で設定)毎に外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(＊651で設定)に対応した 着信 ﾎﾞﾀﾝを設定します。

※1.1つの索線用外線ｸﾞﾙｰﾌﾟに対応する 着信 ﾎﾞﾀﾝは1台の電話機には1個しか登録できません。
※2.同一電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟの 着信 ﾎﾞﾀﾝの位置は共通となります。
※3. 着信 ﾎﾞﾀﾝは本ｺﾏﾝﾄﾞで設定し、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定方法による設定/変更はできません。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ D₂ ＃
① ② ③
↑---------※1---------
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>00～15</td></tr><tr><td></td><td>電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</td><td>0～15</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁D₁</td><td>01～24</td></tr><tr><td></td><td>電話機ﾎﾞﾀﾝ位置</td><td>1～24</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>00</td><td>01～15</td></tr><tr><td></td><td>外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</td><td>設定なし</td><td>1～15</td></tr></table>
※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは、D₁D₁以降の連続設定ができます。尚、別の電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。
※2.全ｸﾘｱは②③に00を設定します。</td><td>00:設定なし</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊653	DILIN番号毎の 着信 ﾎﾞﾀﾝの設定 ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIのﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ(＊710で設定)毎にDILIN番号に対応した 着信 ﾎﾞﾀﾝを設定します。 ※1.1つのDILIN番号に対応する 着信 ﾎﾞﾀﾝは1台の電話機には1個しか登録できません。 ※2.DI加入者番号に対応したDILIN番号は、＊361で設定します。 ※3.同一電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟの 着信 ﾎﾞﾀﾝの位置は共通となります。 ※4.ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式の場合、DILIN ﾎﾞﾀﾝは使用できません。 ただし、複数の電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟに同じDILIN番号の 着信 ﾎﾞﾀﾝの設定が可能です。 ※5. 着信 ﾎﾞﾀﾝは本ｺﾏﾝﾄﾞで設定し、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定方法による設定/変更はできません。	D_0 D_0 D_1 D_1 D_2 D_2 # ① ② ③ ※1 ① D_0D_0 00～15 / 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 0～15 ② D_1D_1 01～24 / 電話機ﾎﾞﾀﾝ位置 1～24 ③ D_2D_2 00 01～96 / DILIN番号 設定なし 1～96 ※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは、D_1D_1以降の連続設定ができます。尚、別の電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号を設定する場合は、再度ｺﾏﾝﾄﾞより入力します。 ※2.全ｸﾘｱは②③に00を設定します。	00:設定なし
＊654	DILIN番号毎の着信可能数の設定 ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIのﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、1つのDILIN番号に、着信可能な数を設定します。 ※1.設定数以上に着信(そのDILIN番号に着信中及び着信通知継続中の数)した場合はBT処理とします。 発信通話中及び、内線通話中等は数に含みません。 ※2.DI加入者番号に対応したDILIN番号は、＊361で設定します。 ※3.発信可能数の設定はできまん。	D_0 D_0 D_1 D_1 D_2 D_2 # ① ② ③ ① D_0D_0 01～96 / 先頭DILIN番号 1～96 ② D_1D_1 01～96 / 最終DILIN番号 1～96 ③ D_2D_2 01～08 / 着信可能数 1～8 ※③は09～48まで入力できますが、入力しても機能しません。	08:8
＊655	ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝの設定 一般外線及びｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIのﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎に各8ヶまでの ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝを設定します。 ※1.ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式の場合は、外線 ﾎﾞﾀﾝ及び DILIN ﾎﾞﾀﾝが使用できませんので、保留した回線に応答する為に ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝを設定します。 ※2.同一電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟの ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝの位置は共通となります。 ※3. ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝは本ｺﾏﾝﾄﾞで設定し、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの設定方法による設定/変更はできません。	D_0 D_0 D_1 D_2 D_2 # ① ② ③ ① D_0D_0 00～15 / 電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 0～15 ② D_1 1～8 / 項番 1～8 ③ D_2D_2 00 01～24 / 電話機ﾎﾞﾀﾝ位置 設定なし 1～24 ※ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎のｸﾘｱは②で0、③で00を設定します。	00:設定なし

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊656</td><td>ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝ毎の保留種別の設定

一般外線及びｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIのﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝ毎の保留種別をｸﾞﾙｰﾌﾟ内か、またはｼｽﾃﾑ共通かを設定します。
※1. ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝの項番は＊655を参照してください。
※2. 保留 ﾎﾞﾀﾝを押下した場合の保留先のﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝの指定は＊658で設定します。</td><td>Do D1 #
① ②
① Do / ﾊﾟｰｸﾎﾞﾀﾝ項番 / 0 / 全項番 / 1～8
② D1 / 保留の種別 / 0 / ｸﾞﾙｰﾌﾟ内 / 1 / ｼｽﾃﾑ共通
※ﾃﾞｰﾀの確認にて、①に0を入力した場合はﾓﾆﾀできません。</td><td>0:ｸﾞﾙｰﾌﾟ内</td></tr>
<tr><td>＊657</td><td>空きﾊﾟｰｸﾎﾞﾀﾝなし時の
保留 ﾎﾞﾀﾝの保留操作処理の設定

一般外線及びｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIのﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、保留 ﾎﾞﾀﾝ押下時に空きﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝがないときの保留操作を、無効とするか有効とするかを設定します。
※保留操作有効に設定した場合に、保留に戻る為には 保留 ﾎﾞﾀﾝによる保留応答機能(＊500)を機能ありに設定する必要があります。</td><td>D #
①
① D / 保留操作 / 0 / 無効 / 1 / 有効</td><td>0:無効</td></tr>
<tr><td>＊658</td><td>ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式機能での
保留ﾎﾞﾀﾝ処理

一般外線及びｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDIのﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式で、保留 ﾎﾞﾀﾝ押下時の保留先を自ｸﾞﾙｰﾌﾟ内の ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝにするか、ｼｽﾃﾑ共通の ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝにするかを設定します。
※ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝ毎の保留種別は、＊656で設定します。</td><td>D #
①
① D / 保留ﾎﾞﾀﾝの処理 / 0 / ｸﾞﾙｰﾌﾟ内 / 1 / ｼｽﾃﾑ共通</td><td>0:ｸﾞﾙｰﾌﾟ内</td></tr>
<tr><td>＊659</td><td>着信 ﾎﾞﾀﾝのﾗﾝﾌﾟ表示

通話中の着信を 着信 ﾎﾞﾀﾝのﾗﾝﾌﾟに表示するか否かを設定します。</td><td>D #
①
① D 通話中の着信表示
0 通話中はﾏｲﾗｲﾝ表示 (通話中の着信表示はしない)
1 通話中着信があれば着信表示</td><td>0:通話中は
ﾏｲﾗｲﾝ表示</td></tr>
<tr><td>＊660</td><td>外線捕捉時の保留中
ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝ押下時動作の設定

ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式にて外線を捕捉中に保留状態の ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝを押したときに、捕捉した外線を空きの ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝに保留するか、捕捉中の外線を切断し ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝに保留中の外線に応答するかを設定します。
※1. 設定を「保留応答」にすると、ｵﾌﾌｯｸ発信機能の設定(＊111)が「あり」になっている場合でも、ｵﾌﾌｯｸしてから ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝに保留されている外線に応答できます。
※2. ｵﾌﾌｯｸ応答機能の設定(＊303)が「あり」の場合は、ｵﾌﾌｯｸしたときに着信応答する場合があります。本設定が「保留応答」の場合、保留中の ﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝを押すと着信応答した外線が切断されますので注意が必要です。</td><td>D #
①
① D / 保留中ﾊﾟｰｸﾎﾞﾀﾝ押下時の動作 / 0 / 空きﾊﾟｰｸ ﾎﾞﾀﾝに保留 / 1 / 保留応答</td><td>0:空き ﾊﾟｰｸ
ﾎﾞﾀﾝに保留</td></tr>
</table>

外線系その他のコマンド(その他)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊670	**3分予報音時間の設定** 外線通話中に時間経過の予報音が周期的に出る時間を設定します。	D # ① ① D: 0 / 1 / 2 / 3 / … / 7 時間: 機能なし / 1分 / 2分 / 3分 / … / 7分	0:機能なし
＊671	**3分予報音送出条件の設定** 予報音を発信外線の場合のみ送出させるか、発信/着信外線共送出させるかを設定します。 ※電話機毎に予報音を停止させたい場合は＊672を設定します。	D # ① ① D: 0 / 1 送出条件: 発信外線のみ / 発信/着信外線共	1:発信/着信外線共
＊672	**電話機毎の3分予報音機能の設定** 電話機毎に3分予報音及び超過料金ｱﾗｰﾑ機能の有無を設定できます。 ※1. 3分予報音の時間は＊670で設定します。 ※2. このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。	D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 # ① ② ③ ① $D_0D_0D_0$: 対象電話機 101～106, 109～128: 先頭収容位置 ② $D_1D_1D_1$: 対象電話機 101～106, 109～128: 最終収容位置 ③ D_2: 機能 0: なし 1: あり	1:あり
＊675	**自動ﾄｰﾝ切替の設定** 外線着信応答の場合及び外線発信で相手応答の場合（極性反転を識別して）DP信号方式からPB信号方式への変更を自動で行う機能の設定です。	D # ① ① D: 0: なし / 1: あり 注）外線の使用種別をPBXまたはﾋﾞﾙ電話と設定した場合(＊101)は、本設定に関係なく、ﾄｰﾝ切替は機能しません。手動で切替操作を行ないます。	0:なし
＊677	**使用回線表示方法の設定** 外線捕捉中のLCD表示を外線番号とするか、外線種別とするかを設定します。 ※外線種別は＊101で設定します。	D # ① ① D: 表示内容 / 0: 外線番号表示 / 1: 外線種別表示	0:外線番号表示

外線系その他のコマンド(その他)

＊678 使用回線種別表示内容の設定

＊677で外線捕捉中のLCD表示を「外線種別表示」に設定した場合に、表示を外線種別のままとするか、設定した文字ﾊﾟﾀｰﾝとするかを、外線毎に設定します。

※文字は＊679で設定します。

データ設定方法：

D_0	D_0	D_1	D_1	D_2	#
①		②		③	

①	D_0D_0	01～08	
	対象外線	先頭外線番号	
②	D_1D_1	01～08	
	対象外線	最終外線番号	
③	D_2	0	1～8
	外線種別表示内容	外線種別表示	設定文字表示項番1～8

初期値：0:外線種別表示

＊679 使用回線種別表示文字ﾊﾟﾀｰﾝの設定

(ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽ不可)

外線種別の表示文字ﾊﾟﾀｰﾝを入力します。

※文字ﾊﾟﾀｰﾝは、ｶﾀｶﾅ/ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ(大文字)/数字で、最大5文字、8組までで設定可能です。

データ設定方法：

D_0	D_{11}	D_{12}	····	D_{51}	D_{52}	#
①	②		····	⑥		

①	D_0	0	1～8
	項番	全項番	1～8

② ～ ⑥	$D_{11}D_{12}\cdots D_{51}D_{32}$	下表による
	表示文字	1～5文字(2～10桁)

※1.ﾃﾞｰﾀ2桁で1文字に相当します。
※2.全項番をｸﾘｱする場合は、①で0，②で10を入力します。
※3.項番毎のｸﾘｱは②で10を入力します。(ﾌﾞﾗﾝｸ1文字を入力)

初期値：全桁ﾌﾞﾗﾝｸ

[文字対応表]

D_{x2} ＼ D_{x1}		奇数桁 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
偶数桁	0	0		A	K	U	ｱ	ｻ	ﾅ	ﾏ	ﾙ
	1	1	ー	B	L	V	ｲ	ｼ	ﾆ	ﾐ	ﾚ
	2	2	#	C	M	W	ｳ	ｽ	ﾇ	ﾑ	ﾛ
	3	3	,	D	N	X	ｴ	ｾ	ﾈ	ﾒ	ﾜ
	4	4	＊	E	O	Y	ｵ	ｿ	ﾉ	ﾓ	ﾝ
	5	5	／	F	P	Z	ｶ	ﾀ	ﾊ	ﾔ	ﾞ
	6	6	:	G	Q	ｬ	ｷ	ﾁ	ﾋ	ﾕ	ﾟ
	7	7	＝	H	R	ｭ	ｸ	ﾂ	ﾌ	ﾖ	ｳ
	8	8	ｱ	I	S	ｮ	ｹ	ﾃ	ﾍ	ﾗ	ｪ
	9	9	ｨ	J	T	ｯ	ｺ	ﾄ	ﾎ	ﾘ	ｫ

例：アを入力する場合は、50と入力します。

内線系コマンド(全般)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊700	**内線呼出種別の設定** 内線呼出の初期状態をトーンにするか音声にするかを設定します。 ※呼出し中に［＊］を押せば「トーン」←→「音声」の切替ができます。	D ＃ ① ① D / 呼出種別 / 0 / ﾄｰﾝ呼出 / 1 / 音声呼出	0:ﾄｰﾝ呼出
＊701	**ﾄｰﾝ呼出の内線着信音選択** 内線着信音の周波数を変更することができます。	D ＃ ① ① D / 着信音 / 0 / 1000Hz,1333Hz/16Hz変調 / 1 / 1000Hz/16Hz変調	0:1000Hz,1333Hz/16Hz変調
＊702	**ｵﾌﾌｯｸ内線自動捕捉** 送受器を上げるだけで内線を捕捉する機能を設定します。 ※単独電話機の場合も自動捕捉「あり、なし」の設定が必要です。	D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 ＃ ① ② ③ ① $D_0D_0D_0$ / 対象電話機 / 101～128 / 先頭収容位置 ② $D_1D_1D_1$ / 対象電話機 / 101～128 / 最終収容位置 ③ D_2 / 自動捕捉 / 0 / なし / 1 / あり	1:あり
＊703	**内線呼出適用範囲の設定** 内線呼出しを「全内線」か電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟ内(＊710で設定)かを設定します。	D ＃ ① ① D / 適用範囲 / 0 / 全内線 / 1 / 同一ｸﾞﾙｰﾌﾟ内のみ	0:全内線
＊704	**一斉呼出、ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出の設定** 一斉呼出またはｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出のときに呼びだされるか否かを設定します。 ※「呼出なし」に設定した場合は下記の場合に呼出されません。 ・一斉呼出 ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出 ・外部ｽﾋﾟｰｶ＋内線一斉呼出	D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 ＃ ① ② ③ ① $D_0D_0D_0$ / 対象電話機 / 101～106,109～128 / 先頭収容位置 ② $D_1D_1D_1$ / 対象電話機 / 101～106,109～128 / 最終収容位置 ③ D_2 / 呼出 / 0 / 不可 / 1 / 可	1:可

内線系コマンド(全般)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊705	**一斉呼出／ グループ呼出予告音送出の設定** 一斉呼出時の予告音送出の有無を設定します。 ※予告音ありに設定した場合は、呼出の直前に“ﾌﾟｯﾌﾟｯ”という音が入ります。尚、PGUが実装されている場合は“ﾋﾟﾝﾎﾟﾝﾊﾟﾝﾎﾟﾝ”となります。	D ＃ ① ① D / 予告音送出 : 0 / なし, 1 / あり	0:なし
＊706	**内線音声呼出の予告音送出の設定** 内線音声呼出し予告音送出の有無を設定します。	D ＃ ① ① D / 予告音送出 : 0 / なし, 1 / あり	1:あり
＊707	**内線ﾎｯﾄﾗｲﾝの設定** 送受器を上げるだけで指定の電話機を呼び出す機能の設定です。 ※1.ｵﾌﾌｯｸ自動発信の設定(＊111)が「あり」で捕捉可能な外線がある場合や、ｵﾌﾌｯｸ自動応答機能の設定(＊303)が「あり」で応答可能な着信外線がある場合は、内線ﾎｯﾄﾗｲﾝは機能しません。 ※2.単独電話機に設定した場合は内線・外線への発信・保留応答はできません。(ｵﾌﾌｯｸ自動応答及びｵﾌﾌｯｸ自動発信はできます。)	D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 ① ② D_2 D_2 D_2 ＃ ③ ① $D_0D_0D_0$ / 発信電話機 : 101～128 / 先頭収容位置 ② $D_1D_1D_1$ / 発信電話機 : 101～128 / 最終収容位置 ③ $D_2D_2D_2$ / 着信電話機 : 000 / 設定なし, 101～128 / 収容位置	000:設定なし
＊708	**ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能の設定** 呼出した内線電話機が話中のとき、内線番号の末尾1桁を再度ﾀﾞｲﾔﾙして、相手の通話に割り込めるかどうかをを設定します。 ※1.割込通話可能な電話機は＊631で設定します。 ※2.被割込通話可能な電話機は＊632で設定します。 ※3.被割込電話機へのｱﾗｰﾑの鳴動は＊633で設定します。 ※4.ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能を行う場合は、ET-CFU-Giが必要になります。	D ＃ ① ① D / ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能 : 0 / なし, 1 / あり	0:なし

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊709</td><td>外線通話中の内線着信鳴動の設定

外線通話中に内線着信があった場合に鳴動させるか否かを設定します。

※1.このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。
※2.本設定にて鳴動なしとした場合、内線着信は話中処理となります。
※3.ﾘｾｯﾄｺｰﾙ割込機能を行う場合は、ET-CFU-Giが必要になります。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
①　②　③

① D₀D₀D₀ / 対象電話機 : 101～106,109～128 / 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ / 対象電話機 : 101～106,109～128 / 最終収容位置

③ D₂ : 0 鳴動なし / 1 あり</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊710</td><td>電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟの設定

代理応答、内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出、内線保留応答、ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI、及びﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式のｸﾞﾙｰﾌﾟを設定します。

※1.ｺﾏﾝﾄﾞ＊717を「あり」にすると、代理応答・内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出・内線保留応答・内線呼出範囲のｸﾞﾙｰﾌﾟはｺﾏﾝﾄﾞ＊718に従います。
※2.ｺﾏﾝﾄﾞ＊717,718は、ROM版数9-4から有効です。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ D₂ #
①　②　③

① D₀D₀D₀ / 対象電話機 : 101～128 / 先頭収容位置

② D₁D₁D₁ / 対象電話機 : 101～128 / 最終収容位置

③ D₂D₂ / ｸﾞﾙｰﾌﾟ : 00 / 0(共通ｸﾞﾙｰﾌﾟ) / 01 / 1 / 02 / 2 / … / 15 / 15</td><td>00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ0</td></tr>
<tr><td>＊711</td><td>内線代表の設定

内線呼出時、相手が話中等で呼び出せない場合に次にｽﾗｲﾄﾞする電話機を電話機毎に設定します。

※1.ｽﾗｲﾄﾞ先電話機の収容位置は老番側でなくても構いません。
※2.DID,DIの内線呼びの場合も機能します。
※3.最大15台まで次電話機にｽﾗｲﾄﾞします。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ #
①　②

① D₀D₀D₀ / 対象電話機 : 101～128 / 収容位置

② D₁D₁D₁ / ｽﾗｲﾄﾞ先電話機 : 000 / 設定なし : 101～128 / 収容位置

※①②を同じ収容位置に設定するとｴﾗｰとなります。</td><td>000:設定なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊712</td><td>応答遅延転送の転送時間の設定

応答遅延転送機能の有無と着信から転送までの時間を設定します。

※応答遅延転送先は、i＋1 3のﾕｰｻﾞｰ設定で行います。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>‥</td><td>7</td></tr><tr><td></td><td>応答遅延転送時間</td><td>機能なし</td><td>10秒</td><td>20秒</td><td>‥</td><td>70秒</td></tr></table></td><td>3:30秒</td></tr>
<tr><td>＊713</td><td>内線通話中のDSSﾎﾞﾀﾝ処理

内線通話中にDSSﾎﾞﾀﾝを押下した場合、通話中の内線を保留にして内線を呼び出す(自動保留)か、通話中の内線を切断してから内線を呼び出す(呼び直し)か設定できます。

※DSSﾎﾞﾀﾝの設定方法は、ﾎﾞﾀﾝ電話装置の「取扱説明書」、26章(14)を参照してください。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>処理</td><td>自動保留</td><td>呼び直し</td></tr></table></td><td>0:自動保留</td></tr>
<tr><td>＊717</td><td>代理応答/内線保留ｸﾞﾙｰﾌﾟの有無

電話機ｸﾞﾙｰﾌﾟの設定(＊710)と独立して、代理応答・内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出・内線保留応答のｸﾞﾙｰﾌﾟを設定することができます。

※1.本ｺﾏﾝﾄﾞを「あり」にすると、代理応答・内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出・内線保留応答・内線呼出範囲のｸﾞﾙｰﾌﾟはｺﾏﾝﾄﾞ＊710ではなく、＊718に従います。
※2.ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI、ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式、ﾗｲﾝｷｰ付PHSのｸﾞﾙｰﾌﾟ設定は本設定に関係なくｺﾏﾝﾄﾞ＊710に従います。
※3.本ｺﾏﾝﾄﾞはROM版数9-4から有効です。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>代理応答/内線保留ｸﾞﾙｰﾌﾟの有無</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊718</td><td>代理応答/内線保留ｸﾞﾙｰﾌﾟの設定

代理応答、内線ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出、内線保留応答のｸﾞﾙｰﾌﾟを設定します。

※1.本設定はｺﾏﾝﾄﾞ＊717が「あり」のときに有効です。
※2.ｽﾄﾚｰﾄﾗｲﾝDI、ﾊﾞｰﾁｬﾙﾗｲﾝ方式、ﾗｲﾝｷｰ付PHSのｸﾞﾙｰﾌﾟ設定はｺﾏﾝﾄﾞ＊710に従います。
※3.本ｺﾏﾝﾄﾞはROM版数9-4から有効です。</td><td>D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 D_2 #
①　②　③
<table><tr><td>①</td><td>$D_0D_0D_0$</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>$D_1D_1D_1$</td><td>101～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D_2D_2</td><td>00</td><td>01</td><td>02</td><td>…</td><td>15</td></tr><tr><td></td><td>ｸﾞﾙｰﾌﾟ</td><td>0(共通ｸﾞﾙｰﾌﾟ)</td><td>1</td><td>2</td><td>…</td><td>15</td></tr></table></td><td>00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ0</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊720</td><td>不在設定のｵﾌﾌｯｸ解除機能の可否

不在設定時にオフフックすると解除する機能を設定します。</td><td>D　#

①

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>解除機能の可否</td><td>不可</td><td>可</td></tr>
</table>
</td><td>1:可</td></tr>
<tr><td>＊721

(ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽ不可)</td><td>不在表示の追加

不在設定時に内線呼出を受けた場合に、相手の電話機のLCDに表示させる不在表示の表示ﾊﾟﾀｰﾝ(ﾒｯｾｰｼﾞ)を登録します。

※1.不在表示の表示ﾊﾟﾀｰﾝは不在状態番号1～9まであり、1～4は初期設定済みで、5～9は文字ﾊﾟﾀｰﾝの登録が可能です。
※2.文字ﾊﾟﾀｰﾝは、ｶﾀｶﾅ/ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ(大文字)/数字で、最大8文字まで設定可能です。</td><td>Do　D11　D12　(D21　D22　～　Dn1　Dn2)　#

①　②　全桁ﾌﾞﾗﾝｸ

<table>
<tr><td>①</td><td>Do</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td></td><td>不在状態番号</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D11D12(D21D22～Dn1Dn2)</td><td>下表による</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>1～8文字(2～10桁)</td></tr>
</table>

※1.入力ﾃﾞｰﾀ2桁で1文字に相当します。
※2.①の入力ﾃﾞｰﾀと状態番号は一致していませんので注意してください。
※3.ﾒｯｾｰｼﾞをｸﾘｱする場合は、②で10を入力します。(ﾌﾞﾗﾝｸを1文字入力)

<table>
<tr><td colspan="2">Dx1 / Dx2</td><td>奇数桁 0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr>
<tr><td rowspan="10">偶数桁</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td>A</td><td>K</td><td>U</td><td>ｱ</td><td>ｻ</td><td>ﾅ</td><td>ﾏ</td><td>ﾙ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>－</td><td>B</td><td>L</td><td>V</td><td>ｲ</td><td>ｼ</td><td>ﾆ</td><td>ﾐ</td><td>ﾚ</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>#</td><td>C</td><td>M</td><td>W</td><td>ｳ</td><td>ｽ</td><td>ﾇ</td><td>ﾑ</td><td>ﾛ</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>,</td><td>D</td><td>N</td><td>X</td><td>ｴ</td><td>ｾ</td><td>ﾈ</td><td>ﾒ</td><td>ﾜ</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td><td>＊</td><td>E</td><td>O</td><td>Y</td><td>ｵ</td><td>ｿ</td><td>ﾉ</td><td>ﾓ</td><td>ﾝ</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td><td>／</td><td>F</td><td>P</td><td>Z</td><td>ｶ</td><td>ﾀ</td><td>ﾊ</td><td>ﾔ</td><td>゛</td></tr>
<tr><td>6</td><td>6</td><td>：</td><td>G</td><td>Q</td><td>ｬ</td><td>ｷ</td><td>ﾁ</td><td>ﾋ</td><td>ﾕ</td><td>゜</td></tr>
<tr><td>7</td><td>7</td><td>＝</td><td>H</td><td>R</td><td>ｭ</td><td>ｸ</td><td>ﾂ</td><td>ﾌ</td><td>ﾖ</td><td>ｳ</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>ｱ</td><td>I</td><td>S</td><td>ｮ</td><td>ｹ</td><td>ﾃ</td><td>ﾍ</td><td>ﾗ</td><td>ｪ</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td><td>ｨ</td><td>J</td><td>T</td><td>ｯ</td><td>ｺ</td><td>ﾄ</td><td>ﾎ</td><td>ﾘ</td><td>ｫ</td></tr>
</table>

例：アを登録する場合は、50と入力します。</td><td></td></tr>
<tr><td>＊722</td><td>不在転送時の
転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類の設定

不在転送時に発呼者に流す転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類をVRUや外部音源の中から選択します。また、転送ﾒｯｾｰｼﾞの機能の有無の設定を行います。

※1.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
(基板1枚当たり最大4件)
※2.着信側の外線がDIDの場合は「ﾒｯｾｰｼﾞなし」は動作しません。
「ﾒｯｾｰｼﾞなし」に設定した場合は内部保留音が送出されます。</td><td>D　#

①

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>転送ﾒｯｾｰｼﾞの種類</td></tr>
<tr><td></td><td>0</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞなし</td></tr>
<tr><td></td><td>1</td><td>VRU1-1</td></tr>
<tr><td></td><td>2</td><td>VRU1-2</td></tr>
<tr><td></td><td>3</td><td>VRU1-3</td></tr>
<tr><td></td><td>4</td><td>VRU1-4</td></tr>
<tr><td></td><td>5</td><td>VRU2-1</td></tr>
<tr><td></td><td>6</td><td>VRU2-2</td></tr>
<tr><td></td><td>7</td><td>VRU2-3</td></tr>
<tr><td></td><td>8</td><td>VRU2-4</td></tr>
<tr><td></td><td>9</td><td>外部音源(EMU)</td></tr>
</table>
</td><td>0:ﾒｯｾｰｼﾞなし</td></tr>
</table>

内線系コマンド(不在設定/不在転送)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊723</td><td>不在転送の転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間

不在転送時の転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間を設定します。

※＊722が「ﾒｯｾｰｼﾞなし」の場合は無効です。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>転送ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間</td><td>4秒</td><td>8秒</td><td>12秒</td><td>16秒</td></tr></table></td><td>1:8秒</td></tr>
<tr><td>＊724</td><td>不在転送時の
切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類の設定

不在転送時の切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類を設定します。

※1.転送先が一定時間(＊610で設定)応答がない場合は次の処理に移ります。
・転送継続/外線切断…転送ﾒｯｾｰｼﾞなしの場合は転送を継続し、転送ﾒｯｾｰｼﾞありの場合は外線を切断します。
但し、着信側の外線がDIDの場合は、転送ﾒｯｾｰｼﾞの有無の設定に関係なく外線を切断します。
転送ﾒｯｾｰｼﾞ種類(ﾒｯｾｰｼﾞなしも含む)は＊722で設定します。
・ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ……ﾎﾞｲｽﾒｰﾙに転送して不在代行機能を行います。
ﾎﾞｲｽﾒｰﾙから流す不在ﾒｯｾｰｼﾞの種類は＊9124で設定します。
・切断ﾒｯｾｰｼﾞ…切断ﾒｯｾｰｼﾞを送出後、外線を切断します。
・留守番電話機に転送…内線収容の留守番電話機に転送します。
留守番電話機の収容位置は、＊607で設定します。応答待ち時間は＊608で設定します。
※2.VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
(基板1枚当たり最大4件)</td><td>D D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D D</td><td>切断ﾒｯｾｰｼﾞの種類</td><td></td></tr><tr><td></td><td>00</td><td>転送継続/外線切断</td><td></td></tr><tr><td></td><td>01</td><td>VRU1-1</td><td rowspan="9">切断ﾒｯｾｰｼﾞ</td></tr><tr><td></td><td>02</td><td>VRU1-2</td></tr><tr><td></td><td>03</td><td>VRU1-3</td></tr><tr><td></td><td>04</td><td>VRU1-4</td></tr><tr><td></td><td>05</td><td>VRU2-1</td></tr><tr><td></td><td>06</td><td>VRU2-2</td></tr><tr><td></td><td>07</td><td>VRU2-3</td></tr><tr><td></td><td>08</td><td>VRU2-4</td></tr><tr><td></td><td>09</td><td>外部音源(EMU)</td></tr><tr><td></td><td>10</td><td colspan="2">ﾎﾞｲｽﾒｰﾙ(不在代行)</td></tr><tr><td></td><td>11</td><td colspan="2">留守番電話機に転送</td></tr></table></td><td>00:転送継続/外線切断</td></tr>
<tr><td>＊725</td><td>不在転送の切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間

不在転送の切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間を設定します。

※＊724で切断ﾒｯｾｰｼﾞを選択した場合のみ有効です。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>切断ﾒｯｾｰｼﾞ送出時間</td><td>4秒</td><td>8秒</td><td>12秒</td><td>16秒</td></tr></table></td><td>1:8秒</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊727</td>
<td>PB信号受信端末の収容位置の設定

PB信号受信端末の収容位置を設定します。

※1.最大8台まで設定可能です。
※2.設定した収容位置との内線通話の場合は、ﾀﾞｲﾔﾙを押すとPB信号が送出され、保留特番等の特番操作は無効となります。
※3.PB信号送出時間は＊095、PB信号ﾐﾆﾏﾑﾎﾟｰｽﾞ時間は＊096で設定します。</td>
<td>D₀ D₁ D₁ D₁ #
①　②

<table>
<tr><td rowspan="2">①</td><td>D₀</td><td>1～8</td></tr>
<tr><td>項番</td><td>1～8</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>000</td><td>101～128</td></tr>
<tr><td>PB信号受信端末</td><td>設定なし</td><td>対象収容位置</td></tr>
</table>

※ｸﾘｱする場合は、対象収容位置を000として設定します。</td>
<td>000:設定なし</td>
</tr>
</table>

電話機に関するコマンド(ボタン電話機全般)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊800</td><td>ｷｰ押し確認音の設定

電話機毎にｷｰ押し確認音の送出の有無を設定できます。
※1.このｺﾏﾝﾄﾞは、ﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。
※2.この設定を行ってから実際に変化するまでには数10秒かかることがあります。</td><td>D₀ D₀ D₀ | D₁ D₁ D₁ | D₂ | #
①　②　③
① D₀D₀D₀ / 対象電話機 | 101～106, 109～128 / 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ / 対象電話機 | 101～106, 109～128 / 最終収容位置
③ D₂ / 確認音 | 0:なし | 1:あり</td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊801</td><td>ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ対応電話機

ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ回路に対応電話機を設定します。

※対応電話機が設定された回路は1対1固定となり、対応電話機が設定されていない回路は索線方式となり、回路に空きがあれば複数の電話機(ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ可能機種のみ)でﾊﾝｽﾞﾌﾘｰが可能です。</td><td>D₀ D₀ | D₁ D₁ D₁ | #
①　②
① D₀D₀ / 回路番号 | 00:全回路 | 01:回路番号1 | … | 04:回路番号4
② D₁D₁D₁ / 対応電話機 | 000:索線方式 | 101～106, 109～128:収容位置(1対1固定)
※①は12まで入力できますが、入力しても機能しません。</td><td>000:索線方式</td></tr>
<tr><td>＊802</td><td>通話切替の優先順位設定

ﾎﾞﾀﾝ電話機と専用ｺｰﾄﾞﾚｽ電話機を組み合わせる場合、またはTEL0Aと単独電話機等のｱﾅﾛｸﾞ端末を組み合わせる場合の通話優先順位を設定します。

※＊804の設定がされている場合に有効となります。また、対象電話機の収容位置は＊804の①の収容位置に設定してください。</td><td>D₀ D₀ D₀ | D₁ D₁ D₁ | D₂ | #
①　②　③
① D₀D₀D₀ / 対象電話機 | 101～106, 109～128 / 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ / 対象電話機 | 101～106, 109～128 / 最終収容位置
③ D₂ / 優先順位 | 0:優先順位なし | 1:ﾎﾞﾀﾝ電話機優先 | 2:接続機器優先</td><td>0:優先順位なし</td></tr>
</table>

電話機に関するコマンド(ボタン電話機全般)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊803</td>
<td>ｷｰﾛｯｸ機能設定

ｷｰﾛｯｸ機能(捕捉中の方のみｷｰを有効とする)を設定します。
ただしｷｰﾛｯｸ機能を設定した場合でも、ｵﾌﾌｯｸ(ｵﾝﾌｯｸ)及びｽﾋﾟｰｶﾎﾞﾀﾝの操作はできます。

※＊804の設定がされている場合に有効となります。また、対象電話機の収容位置は＊804の①の収容位置に設定してください。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～106,109～128 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～106,109～128 最終収容位置
③ D₂ ｷｰﾛｯｸ機能 0 なし 1 あり</td>
<td>0:なし</td>
</tr>
<tr>
<td>＊804</td>
<td>ﾎﾞﾀﾝ電話機連動機能の設定

ﾎﾞﾀﾝ電話機と組み合わせる専用ｺｰﾄﾞﾚｽ電話機の対応収容位置またはTEL0Aと組み合わせる単独電話機等のｱﾅﾛｸﾞ端末の収容位置を設定して、親子式電話機を構成します。

※1.子の電話機の設定は親側の設定と同一になります(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ等の設定も含む)。子の収容位置で設定しても、その設定は無効となります。
但し、TEL0Aと組み合わせる単独電話機等のｱﾅﾛｸﾞ端末のﾀﾞｲﾔﾙ種別設定(＊840)のみ子の収容位置で設定します。
※2.連動設定した電話機は、下記の組み合わせはできません。
・DSSとの組み合わせ(＊830)
・ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙとの組み合わせ(＊831)
上記の設定がされていた電話機に連動機能を設定すると、上記の設定はｸﾘｱされます。元にもどすときは再設定が必要です。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ #
① ②
① D₀D₀D₀ 親の電話機収容位置 101～106,109～128 ﾎﾞﾀﾝ電話機の収容位置
② D₁D₁D₁ 子の電話機収容位置 000 設定なし 101～128 専用ｺｰﾄﾞﾚｽ/ｱﾅﾛｸﾞ端末収容位置
※①②を同じ収容位置に設定するとｴﾗｰとなります。</td>
<td>000:設定なし</td>
</tr>
<tr>
<td>＊805</td>
<td>子機移動中のﾎﾞﾀﾝ電話機の操作可否

子機を移動中(ｺｰﾄﾞﾚｽ親機に乗っていない状態で、通話もしていない状態)に、ﾎﾞﾀﾝ電話機の操作を有効とするか無効とするかを設定します。

※1.＊804の設定がされている場合に有効となります。
また、対象電話機の収容位置は＊804の①の収容位置に設定してください。
※2.無効に設定した場合は、ﾎﾞﾀﾝ電話機はｵﾌﾌｯｸ(ｵﾝﾌｯｸ)の操作もできません。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～106,109～128 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～106,109～128 最終収容位置
③ D₂ ﾎﾞﾀﾝ電話機の操作 0 無効 1 有効</td>
<td>0:無効</td>
</tr>
</table>

電話機に関するコマンド(LCD表示)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊810</td><td>時刻表示方法の設定

時刻表示を12時間制とするか24時間制とするかを設定します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>表示方法</td><td>12時間制</td><td>24時間制</td></tr></table></td><td>0:12時間制</td></tr>
<tr><td>＊811</td><td>外線相手応答時の表示方法の設定

外線発信通話時の相手応答後の表示を設定します。

※設定を「日時」にすると、外線通話中のﾀﾞｲﾔﾙ入力も表示されません。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>表示</td><td>ﾀﾞｲﾔﾙ</td><td>日時</td></tr></table></td><td>0:ﾀﾞｲﾔﾙ</td></tr>
<tr><td>＊812</td><td>外線発信時の通話時間表示の設定

外線発信時の通話時間をLCDに表示するかしないかを設定します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>表示</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊813</td><td>外線着信時の通話時間表示の設定

外線着信時の通話時間をLCDに表示するかしないかを設定します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>表示</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊815</td><td>表示言語モード

表示言語モードを日本語にするか、英語にするかを設定します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>表示言語ﾓｰﾄﾞ</td><td>日本語</td><td>英語</td></tr></table></td><td>0:日本語</td></tr>
<tr><td>＊816</td><td>内線番号/名称表示継続時間

内線通話終話後の内線番号/名称表示継続時間を設定します。</td><td>D　#
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>表示継続時間</td><td>0秒</td><td>10秒</td><td>15秒</td><td>20秒</td></tr></table></td><td>0:0秒</td></tr>
</table>

電話機に関するコマンド(大型LCD)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊820</td><td>待機中の表示面の設定

TELLDの待機中の表示面を電話機毎に設定します。

※表示面と画面の表示の対応を以下に示します。

<table>
<tr><td>表示面</td><td>画面の表示</td></tr>
<tr><td>第1画面</td><td>ﾒﾆｭｰ表示画面(1画面)</td></tr>
<tr><td>第2画面</td><td>ﾒﾆｭｰ表示画面(2画面)</td></tr>
<tr><td>第3画面</td><td>ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙ画面</td></tr>
<tr><td>第4画面</td><td>電話機短縮ﾀﾞｲﾔﾙ画面</td></tr>
<tr><td>第5画面</td><td>内線画面</td></tr>
</table></td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～106,109～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～106,109～128</td></tr>
<tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>‥</td><td>4</td></tr>
<tr><td></td><td>表示面</td><td>第1画面</td><td>‥</td><td>第5画面</td></tr>
</table>
※③は5～7も入力できますが、絶対に入力しないでください。</td><td>0:第1画面</td></tr>
<tr><td>＊821</td><td>電子電話帳の検索方法指定

TELLDでｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙを検索するときに、一段検索とするか二段検索とするかを設定します。

・一段検索：ｱ行,ｶ行,ｻ行･･･の選択画面の後、登録内容を表示する。
・二段検索：ｱ行,ｶ行,ｻ行･･･の選択画面の後、続けて各行の選択画面(例:ｱ,ｲ,ｳ,ｴ,ｵ)を表示した後、登録内容を表示する。</td><td>D #
①

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>検索方法</td><td>一段検索</td><td>二段検索</td></tr>
</table></td><td>0:一段検索</td></tr>
<tr><td>＊823</td><td>ﾎﾞｲｽﾒｰﾙのﾎﾞｯｸｽ選択画面表示指定

TELLDでﾎﾞｲｽﾒｰﾙの外線通話録音や、ﾒｯｾｰｼﾞ送信等を行う場合に、ﾎﾞｯｸｽを選択するときに、登録されているﾎﾞｯｸｽ名称をすぐに表示するか、ﾎﾞｯｸｽ名称を表示する前にｱ行,ｶ行,ｻ行･･･のﾎﾞｯｸｽ選択画面を表示するかを、選択します。</td><td>D #
①

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾎﾞｯｸｽ選択画面</td><td>表示なし</td><td>表示あり</td></tr>
</table></td><td>0:表示なし</td></tr>
</table>

電話機に関するコマンド(コンソール)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊830</td>
<td>DSSｺﾝｿｰﾙの設定

多機能ｺﾝｿｰﾙをDSSｺﾝｿｰﾙとして使用する場合に、DSSｺﾝｿｰﾙの収容位置と組み合わせる電話機の収容位置を設定します。

※1.DSSの接続台数は最大8台/ｼｽﾃﾑで、1電話機当たり最大4台までです。
※2.ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙとして使用する場合は＊831で設定します。
※3.DSSと組み合わせた電話機は、下記の組み合わせはできません。
・ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙとの組み合わせ(＊831)
・単独電話機またはTELCLとの組合せ［連動設定］(＊804)
上記の設定がされていた電話機にDSSの設定を行うと、上記の設定はｸﾘｱされます。元にもどすときは再設定が必要です。</td>
<td>D₀ D₁ D₂ D₃ D₃ D₃
① ② ③ ④
D₄ D₄ D₄ #
⑤
① D₀ 項番 1～8 1～8
② D₁ 種別 0 なし 1 DSS
③ D₂ 電話機毎の接続No. 1 1台目 2 2台目 3 3台目 4 4台目
④ D₃D₃D₃ DSSｺﾝｿｰﾙ 101～106,109～128 対象収容位置
⑤ D₄D₄D₄ 組み合わせる電話機 101～106,109～128 対象収容位置
※ｸﾘｱする場合は、②にて0を入力し、③～⑤は省略します。</td>
<td>0:設定なし</td>
</tr>
<tr>
<td>＊831</td>
<td>ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙｺﾝｿｰﾙの設定

多機能ｺﾝｿｰﾙをｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙｺﾝｿｰﾙとして使用する場合に、組み合わせる電話機の収容位置とｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙｺﾝｿｰﾙの収容位置を設定します。

※1.ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙの場合は、1電話機当たり1台のみ接続可能です。
※2.DSSとして使用する場合は＊830で設定します。
※3.ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙと組み合わせた電話機は、下記の組み合わせはできません。
・DSSとの組み合わせ(＊830)
・単独電話機またはTELCLとの組み合わせ［連動設定］(＊804)
上記の設定がされていた電話機にｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙの設定を行うと、上記の設定はｸﾘｱされます。元にもどすときは再設定が必要です。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ #
① ②
① D₀D₀D₀ 組み合わせる電話機 101～106,109～128 対象収容位置
② D₁D₁D₁ ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙｺﾝｿｰﾙ 000 設定なし 101～106,109～128 対象収容位置
※ｸﾘｱする場合は、②にて000を入力します。</td>
<td>000:設定なし</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊840</td><td>単独電話機のﾀﾞｲﾔﾙ種別設定

単独電話機がDP式ﾀﾞｲﾔﾙかPB式ﾀﾞｲﾔﾙかを設定します。

※1.PB式ﾀﾞｲﾔﾙ電話機を使用する場合はET-PBU-Giが必要になります。
※2.TEL0Aと単独電話機等のｱﾅﾛｸﾞ端末を組み合わせて連動設定する(＊804で設定)場合でも、ﾀﾞｲﾔﾙ種別の設定はｱﾅﾛｸﾞ端末の収容位置で設定してください。
※3.ET-2LDI-Gi,ET-20DI-Giを使用する場合も本ﾕﾆｯﾄを実装した収容位置(「工事ﾏﾆｭｱﾙ編」参照)にﾀﾞｲﾔﾙ種別の設定が必要です。
・LDIの場合：「DP」に設定
・ODIの場合：接続する装置(ｲﾝﾊﾞﾝﾄﾞﾘﾝｶﾞｰ等)に合わせる。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
①　②　③

① D₀D₀D₀：107～128 対象電話機 先頭収容位置

② D₁D₁D₁：107～128 対象電話機 最終収容位置

③ D₂：0 DP / 1 PB ﾀﾞｲﾔﾙ種別

※①は101～106も入力できますが、機能しません。</td><td>0:DP</td></tr>
<tr><td>＊841</td><td>単独電話機の内線呼出ｲﾝﾀｰ

単独電話機の内線呼出ｲﾝﾀｰを変更することができます。</td><td>D #
①
0:SIR 約3s 約0.25s
1:IR 約3s 約0.75s

① D：0 SIR / 1 IR ｲﾝﾀｰ</td><td>0:SIR</td></tr>
<tr><td>＊842</td><td>単独電話機のﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動周期

ﾄﾞｱﾎﾝ着信の鳴動周期を設定します。</td><td>D #
①
0:ﾄﾞｱﾎﾝ着信音 約3s 約0.25s
1:IR 約3s 約0.75s

① D：0 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音 / 1 IR ﾄﾞｱﾎﾝ着信の鳴動周期</td><td>0:ﾄﾞｱﾎﾝ着信音</td></tr>
</table>

電話機に関するコマンド(単独電話機)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊843</td><td>単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ処理の設定

外線または内線通話中のﾌｯｷﾝｸﾞをﾌｯｷﾝｸﾞ保留とするか回線へのﾌｯｷﾝｸﾞとするかを設定します。

※1.本ｺﾏﾝﾄﾞは＊844でﾌｯｷﾝｸﾞ機能を有効に設定した場合に有効となります。
※2.処理を「ﾌｯｷﾝｸﾞ」に設定した場合、PB単独電話機(＊840で設定)でPB外線(＊100で設定)捕捉中にﾌｯｷﾝｸﾞを行うと、ﾌｯｷﾝｸﾞは無効となります。(外線ﾌｯｷﾝｸﾞはできません)
※3.処理を「ﾌｯｷﾝｸﾞ」に設定した場合、内線通話中にﾌｯｷﾝｸﾞを行うと終話となります。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>ﾌｯｷﾝｸﾞ処理</td><td>(外線･内線)ﾌｯｷﾝｸﾞ</td><td>ﾌｯｷﾝｸﾞ保留</td></tr></table></td><td>1:ﾌｯｷﾝｸﾞ保留</td></tr>
<tr><td>＊844</td><td>DP単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ機能の設定

DP単独電話機でﾌｯｷﾝｸﾞを有効とするか無効とするかを設定します。

※単独電話機の種別は＊840で設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>DP単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ</td><td>無効</td><td>有効</td></tr></table></td><td>0:無効</td></tr>
<tr><td>＊845</td><td>PB単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ機能の設定

PB単独電話機でﾌｯｷﾝｸﾞを有効とするか無効とするかを設定します。

※単独電話機の種別は＊840で設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>PB単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ</td><td>無効</td><td>有効</td></tr></table></td><td>1:有効</td></tr>
<tr><td>＊846</td><td>ﾌｯｷﾝｸﾞ監視時間の設定

単独電話機のﾌｯｷﾝｸﾞ監視時間を設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>監視時間</td><td>約640ms以下</td><td>約896ms以下</td><td>約1152ms以下</td><td>約1408ms以下</td></tr></table></td><td>3:約1408ms以下</td></tr>
<tr><td>＊847</td><td>単独電話機のﾊｳﾗｰ送出

単独電話機のﾀｲﾑｵｰﾊﾞｰ時、ﾊｳﾗｰを送出するか否かを設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>ﾊｳﾗｰ送出</td><td>なし</td><td>10秒</td><td>20秒</td><td>30秒</td></tr></table></td><td>2:20秒</td></tr>
</table>

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊849	PBﾚｼｰﾊﾞ話中時のMFR使用 PBﾚｼｰﾊﾞが全て使用中のとき、COMUのMFR回路をPBﾚｼｰﾊﾞとして使用するか否かを設定します。 [MFRの動作] ①ｽｰﾊﾟｰﾘﾄﾗｲ機能、転送電話でのBT検出 ②電話／FAX自動切替機能でのCNG信号検出 ③ﾘﾓｰﾄｻｰﾋﾞｽ、留守ﾓｰﾄﾞなどでのPBﾚｼｰﾊﾞの役目 ④転送電話機能でのDT検出 ※1.PB単独電話機用PBﾚｼｰﾊﾞとして使用する場合、上記の①～④のいずれかでMFRを使用しているときは、PBﾚｼｰﾊﾞとしては使用できません。 ※2.先にPB単独電話機用PBﾚｼｰﾊﾞとして使用している場合は、上記の①～④はできません。 ※3.使用頻度により不具合を生じる場合はPBUを増設することをおすすめします。	D　# ① ① D: PBﾚｼｰﾊﾞ話中時のMFR使用 — 0: 使用しない / 1: 使用する	1:使用する

ボイスメールに関するコマンド

＊9100 通話録音対象外線の設定

外線通話録音を行う場合の対象外線を設定します。

※本設定を「あり」にしないと通話録音できません。

初期値：0:なし

[D_0][D_0] [D_1][D_1] [D_2] [#]

① ② ③

①	D_0D_0	01～08	
	対象外線	先頭外線番号	
②	D_1D_1	01～08	
	対象外線	最終外線番号	
③	D_2	0	1
	通話録音	なし	あり

＊9101 外線通話録音開始方法の設定

外線着信応答時に外線通話録音を自動で行うか否かを設定します。

※＊9100で「通話録音あり」に設定した外線を使用した場合のみ、本設定は有効です。

初期値：0:なし

[D_0][D_0][D_0] [D_1][D_1][D_1] [D_2] [#]

① ② ③

①	$D_0D_0D_0$	101～124			
	対象電話機	先頭収容位置			
②	$D_1D_1D_1$	101～124			
	対象電話機	最終収容位置			
③	D_2	0	1	2	3
	自動録音	なし	着信応答時	発信時相手応答時	発着信双方

＊9102 通話録音登録先の設定

通話中にﾎﾞｯｸｽを指定せずに終話した場合、または外線手動転送の場合の録音内容登録先を設定します。

初期値：0:通話録音一時保存用ﾎﾞｯｸｽ

[D_0][D_0][D_0] [D_1][D_1][D_1] [D_2] [#]

① ② ③

①	$D_0D_0D_0$	101～124		
	対象電話機	先頭収容位置		
②	$D_1D_1D_1$	101～124		
	対象電話機	最終収容位置		
③	D_2	0	1	
	通話録音登録先	通話録音一時保存用ﾎﾞｯｸｽ	録音を開始した電話機の内線ﾎﾞｯｸｽ	

＊9103 通話録音ｺﾒﾝﾄ追加位置の設定

通話録音に追加する場合のｺﾒﾝﾄの位置を設定します。

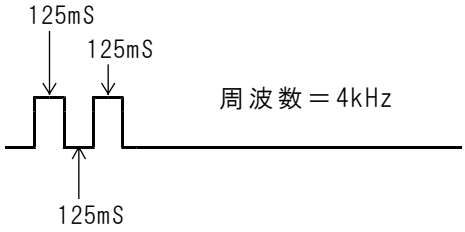
初期値：0:ﾒｯｾｰｼﾞの先頭

[D] [#]

①

①	D	0	1
	ｺﾒﾝﾄ追加位置	ﾒｯｾｰｼﾞの先頭	ﾒｯｾｰｼﾞの最後

ボイスメールに関するコマンド

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊9104	**他電話機で外線保留応答した場合の通話録音継続の有無の設定** 外線通話録音中に保留し、他の電話機で保留応答したときに通話録音を継続するか終了するかを設定します。 ※通話録音を開始する電話機の収容位置で設定します。	D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ # ①　②　③ ① D₀D₀D₀：対象電話機 101～124：先頭収容位置 ② D₁D₁D₁：対象電話機 101～124：最終収容位置 ③ D₂：保留応答時の録音 0：終了 1：継続	0:終了
＊9105	**転送電話の自動通話録音の設定** 転送電話(外線自動転送)機能で転送後の通話を自動録音するか否かを設定します。 ※転送電話の着信側外線(＊300で転送電話に設定した外線)を＊9100で通話録音ありに設定した場合に本機能は有効になります。	D # ① ① D：自動通話録音 0：なし 1：あり ※録音先は下表の様に外線ﾃﾅﾝﾄ番号対応の留守番代行ﾎﾞｯｸｽとなります。 外線ﾃﾅﾝﾄ番号：0 1 2 ･･･ 15 ﾎﾞｯｸｽ番号：800 801 802 ･･･ 815	0:なし
＊9106	**CFU利用のISDN回線/OD専用線通話録音の設定** ISDN回線/OD専用線の外線通話録音の可否を設定します。 ※1. ISDN回線/OD専用線の通話録音はET-CFU-Giが別途必要です。 ※2.「なし」の場合、または「あり」でもCFU全回路使用中やCFU未実装の場合は受話のみの録音となります。 ※3. 受話のみ録音の場合、ﾎﾞﾀﾝ電話機(TELCLを除く)のみｱﾗｰﾑ音が録音開始時点で1周期送出されます。(右図参照)	D # ① ① D：CFU利用通話録音 0：なし 1：あり  ｱﾗｰﾑ音の仕様	0:なし
＊9108	**通話録音自動消去時間の設定** 通話録音一時保存用ﾎﾞｯｸｽにﾒｯｾｰｼﾞが登録されてから消去されるまでの時間を設定します。 ※ﾒｯｾｰｼﾞの消去時間はﾒｯｾｰｼﾞ登録時の設定消去時間に従います。	D # ① ① D：通話録音自動消去時間 1：10分 2：20分 ～ 9：90分	1:10分

ボイスメールに関するコマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9109</td><td>ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ表示方法の設定

ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟの表示方法(下表参照)を設定します。</td><td>D #
①
<table>
<tr><td>①</td><td>D
ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ
表示方法</td><td>1
表示方法
1</td><td>2
表示方法
2</td></tr>
</table>
</td><td>1:表示方法1</td></tr>
</table>

対応のﾎﾞｯｸｽの状態	表示方法1	表示方法2
ﾒｯｾｰｼﾞを登録した場合	ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ60INT(赤)	ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ点火(緑)
ﾒｯｾｰｼﾞを全て再生した場合	ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ点火(赤)	ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ点火(赤)
ﾒｯｾｰｼﾞを全て消去した場合	ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ滅火	ﾎﾞｯｸｽ ﾗﾝﾌﾟ滅火

＊9110 着信通知指定

初期値：0:着信通知なし

データ設定方法： D₀ D₀ D₀ ／ D₁ D₁ D₁ ／ D₂ ／ #

① ② ③

個人ﾎﾞｯｸｽまたは留守番代行ﾎﾞｯｸｽにﾒｯｾｰｼﾞが登録された場合に着信通知を行うか否かを設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。詳細は、下表に示します。

①	D₀D₀D₀	ﾎﾞｯｸｽ種類		設定ﾃﾞｰﾀ
	対象ﾎﾞｯｸｽ	先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ	内線ﾎﾞｯｸｽ	101～124
			一般ﾎﾞｯｸｽ	125～172
				201～272
				301～372
		先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ		800～815

②	D₁D₁D₁	ﾎﾞｯｸｽ種類		設定ﾃﾞｰﾀ
	対象ﾎﾞｯｸｽ	最終 個人ﾎﾞｯｸｽ	内線ﾎﾞｯｸｽ	101～124
			一般ﾎﾞｯｸｽ	125～172
				201～272
				301～372
		最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ		800～815

③	D₂	0	1
	着信通知の有無	着信通知なし	着信通知あり

[個人ﾎﾞｯｸｽについて]

ﾎﾞｯｸｽ種類	ﾎﾞｯｸｽ番号	対象ﾎﾞｯｸｽ設定ﾃﾞｰﾀ(①,②)		備考
個人ﾎﾞｯｸｽ(内線ﾎﾞｯｸｽ)	電話機の内線番号と同じ(最大4桁)[初期値：10～33]	101～124	電話機の収容位置と同じ	内線電話機に1対1で対応する個人ﾎﾞｯｸｽ(基本設定、下記★参照)
個人ﾎﾞｯｸｽ(一般ﾎﾞｯｸｽ)	VMUの内線番号と同じ(最大4桁)[初期値：34～37]	125～128	4VMUの収容位置と同じ	内線電話機に対応しない個人ﾎﾞｯｸｽ(基本設定)
	＊082で仮想収容位置に設定(最大4桁)[初期値：なし]	129～172 201～272 301～372	＊082で番号を設定した仮想収容位置と同じ	内線電話機に対応しない個人ﾎﾞｯｸｽ(基本設定なし)

★電話機が接続されていない収容位置(ET-4DCI-Gi等の内線ﾕﾆｯﾄがなくても可)は、内線ﾎﾞｯｸｽを一般ﾎﾞｯｸｽとしても利用できます。

＊9111 着信通知種別の設定

初期値：0:電話機

データ設定方法： D₀ D₀ D₀ ／ D₁ D₁ D₁ ／ D₂ ／ #

① ② ③

着信通知の通知先を電話機にするかﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙにするかを設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。(＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]参照)
※3. 着信通知先は、内線/外線の電話機及びﾎﾞｹｯﾄｯﾍﾞﾙが設定できます。
※4. 着信先の番号は＊9112で設定します。

①	D₀D₀D₀	ﾎﾞｯｸｽ種類		設定ﾃﾞｰﾀ
	対象ﾎﾞｯｸｽ	先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ	内線ﾎﾞｯｸｽ	101～124
			一般ﾎﾞｯｸｽ	125～172
				201～272
				301～372
		先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ		800～815

②	D₁D₁D₁	ﾎﾞｯｸｽ種類		設定ﾃﾞｰﾀ
	対象ﾎﾞｯｸｽ	最終 個人ﾎﾞｯｸｽ	内線ﾎﾞｯｸｽ	101～124
			一般ﾎﾞｯｸｽ	125～172
				201～272
				301～372
		最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ		800～815

③	D₂	0	1
	着信通知種別	電話機	ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊9112)</td><td>着信通知呼出先の設定

着信通知の呼出先を外線(短縮発信)にするか内線電話機にするかを設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。
(＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]参照)
※3. 呼出先は、電話機の場合は２ヶ所まで、ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙの場合は１ヶ所設定できます。
※4. ＊9111で呼出先をﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙに設定した場合、ﾒｯｾｰｼﾞ番号を送ることができます。
ﾒｯｾｰｼﾞ番号を短縮番号に登録する場合は、ﾒｯｾｰｼﾞ部分以外のﾎﾞﾀﾝ操作も入力します。</td><td>[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁] [D₂] [D₃]
①　②　③　④
[D₄]‥[D₄] [#]
⑤

① D₀D₀D₀ ﾎﾞｯｸｽ種類 / 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ：先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124 / 一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172, 201～272, 301～372
先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

② D₁D₁D₁ ﾎﾞｯｸｽ種類 / 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ：最終 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124 / 一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172, 201～272, 301～372
最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

③ D₂：1 呼出先1 / 2 呼出先2 (ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙの場合はﾒｯｾｰｼﾞ)

④ D₃：0 内線 / 1 外線

⑤ D₄･･･D₄：④で内線を設定 内線番号(1～4桁) / ④で外線を設定 ｼｽﾃﾑ短縮番号(2～3桁)

※1. 個別にｸﾘｱする場合は④に1を、⑤に0を入力します。
※2. 全てｸﾘｱする場合は 000 # 0 0 0 # と入力します。</td><td>設定なし</td></tr>
<tr><td>＊9113</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ番号送出ﾀｲﾏｰの設定

ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙにﾒｯｾｰｼﾞ番号を送出するまでの時間を設定します。</td><td>[D] [D] [#]
①

① DD：00 なし / 01 1秒 / 02 2秒 / ～ / 29 29秒 / 30 30秒</td><td>09:9秒</td></tr>
<tr><td>＊9114</td><td>着信通知ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ対応ﾘﾄﾗｲ機能及び時間の設定

ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙへの着信通知で、一定時間対応のﾎﾞｯｸｽのｱｸｾｽ(ﾎﾞｲｽﾒﾓ自動応答後、対応ﾎﾞｯｸｽの音声ﾒｰﾙｻｰﾋﾞｽを受ける)がなかったときの、ﾘﾄﾗｲ機能及びﾘﾄﾗｲまでの時間を設定します。</td><td>[D] [#]
①

① D：0 ﾘﾄﾗｲなし / 1 10分 / 2 20分 / ～ / 6 60分</td><td>0:ﾘﾄﾗｲなし</td></tr>
</table>

ボイスメールに関するコマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9115</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ自動再生の設定

個人ﾎﾞｯｸｽを呼び出したときにﾒｯｾｰｼﾞを自動的に再生するか否かを設定します。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>自動再生</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊9116</td><td>ﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ自動再生の設定

ﾒｯｾｰｼﾞ再生時のﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ（ﾒｯｾｰｼﾞ受付時間）の再生方法を設定します。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>ﾀｲﾑｽﾀﾝﾌﾟ
自動再生</td><td>なし</td><td>あり
（ﾒｯｾｰｼﾞの前）</td><td>あり
（ﾒｯｾｰｼﾞの後）</td></tr></table></td><td>2:あり
（ﾒｯｾｰｼﾞの後）</td></tr>
<tr><td>＊9117</td><td>早送り／巻戻し時間の設定

ﾒｯｾｰｼﾞ再生中に早送り／巻戻し操作を行った場合の早送り／巻戻し時間を設定します。</td><td>D D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D D</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>～</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td></td><td>早送り／
巻戻し時間</td><td>5
秒</td><td>10
秒</td><td>15
秒</td><td>～</td><td>55
秒</td><td>60
秒</td></tr></table></td><td>02:10秒</td></tr>
<tr><td>＊9118</td><td>応答ﾒｯｾｰｼﾞの種類の設定

着信時に再生する応答ﾒｯｾｰｼﾞの種類を設定します。

※応答ﾒｯｾｰｼﾞ1～3はﾎﾞｲｽﾒｰﾙのﾕｰｻﾞ設定ﾓｰﾄﾞで録音するﾒｯｾｰｼﾞです。</td><td>D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>応答
ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>初期
ﾒｯｾｰｼﾞ</td><td>応答
ﾒｯｾｰｼﾞ1</td><td>応答
ﾒｯｾｰｼﾞ2</td><td>応答
ﾒｯｾｰｼﾞ3</td></tr></table></td><td>0:初期ﾒｯｾｰｼﾞ</td></tr>
<tr><td>＊9119</td><td>自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ呼出時間の設定

自動ｵﾍﾟﾚｰﾀでの内線呼出時間を設定します。

※応答時間を経過しても応答がなかった場合は＊9120の設定によって以下の処理をします。
・なしの場合：呼出先電話機に対応する個人ﾎﾞｯｸｽにﾒｯｾｰｼﾞを録音します。
・1～9の場合：再度呼出ができます。尚、再度呼出操作を行わなかった場合は、最後の呼出先電話機に対応する個人ﾎﾞｯｸｽにﾒｯｾｰｼﾞを録音します。</td><td>D D ＃
①
<table><tr><td>①</td><td>D D</td><td>01</td><td>02</td><td>03</td><td>～</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td></td><td>自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ
内線呼出時間</td><td>5
秒</td><td>10
秒</td><td>15
秒</td><td>～</td><td>55
秒</td><td>60
秒</td></tr></table></td><td>03:15秒</td></tr>
</table>

ボイスメールに関するコマンド

＊9120 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの話中／不応答後の無操作時の音声案内回数の設定

自動ｵﾍﾟﾚｰﾀで話中、不応答後に無操作の場合の音声案内回数を設定します。

D # ①

初期値：0:なし

①	D	0	1	2	～	8	9
	話中/不応答後の無操作時の音声案内回数	なし	1回	2回	～	8回	9回

＊9121 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの無操作時の音声案内回数の設定

自動ｵﾍﾟﾚｰﾀでﾎﾞｲｽﾒｰﾙ応答後、無操作の場合の音声案内回数を設定します。

D # ①

初期値：0:なし

①	D	0	1	2	～	8	9
	無操作時の音声案内回数	なし	1回	2回	～	8回	9回

＊9122 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの無操作時の動作

無操作時の動作(回線切断/特定内線呼出/代行録音)を設定します。

※1. 特定内線呼出の電話機収容位置は＊9123で設定します。
※2. 代行録音の場合、ﾒｯｾｰｼﾞは留守番代行ﾎﾞｯｸｽ(ﾎﾞｯｸｽ番号800)に録音されます。(＊9134参照)

D # ①

初期値：0:回線切断

①	D	0	1	2
	内線呼出/代行録音の設定	回線切断	特定内線呼出	代行録音

＊9123 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの無操作時の呼出先の設定

無操作時に呼び出す内線電話機の収容位置を設定します。

D D D # ①

初期値：000:設定なし

①	DDD	000	101～124
	呼出電話機	設定なし	収容位置

＊9124 不在ﾒｯｾｰｼﾞの設定

自動ｵﾍﾟﾚｰﾀでの話中代行や不在代行時に送出するﾒｯｾｰｼﾞの種類をﾎﾞｯｸｽ毎に設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。(＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]参照)

D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 # ①(②) ②(③) ③

初期値：0:初期ﾒｯｾｰｼﾞ

①	$D_0D_0D_0$	ﾎﾞｯｸｽ種類		設定ﾃﾞｰﾀ
	対象ﾎﾞｯｸｽ	先頭個人ﾎﾞｯｸｽ	内線ﾎﾞｯｸｽ	101～124
			一般ﾎﾞｯｸｽ	125～172
				201～272
				301～372
		先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ		800～815

②	$D_1D_1D_1$	ﾎﾞｯｸｽ種類		設定ﾃﾞｰﾀ
	対象ﾎﾞｯｸｽ	最終個人ﾎﾞｯｸｽ	内線ﾎﾞｯｸｽ	101～124
			一般ﾎﾞｯｸｽ	125～172
				201～272
				301～372
		最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ		800～815

③	D_2	0	1
	不在ﾒｯｾｰｼﾞ	初期ﾒｯｾｰｼﾞ	録音ﾒｯｾｰｼﾞ

ボイスメールに関するコマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9125</td><td>ﾒｰﾙ用途の設定

ﾒｰﾙの用途を設定します。

※ﾒｰﾙの用途を「自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ」に設定すると自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ専用回線となります。自動ｵﾍﾟﾚｰﾀを行う場合は、＊300で外線の着信をDILとし、＊323でDIL対象電話機をET-4VMU-Giの収容位置としてください。（設定が「通常」でも自動ｵﾍﾟﾚｰﾀは使用可）</td><td>D₀ D₀ D₁ #
① ②

① D₀D₀ | 00 | 01 ～ 04 | 接続No. | 全回線 | 1回線目～4回線目

② D₁ | 0 | 1 | ﾒｰﾙの用途 | 通常 | 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ

※ﾃﾞｰﾀの確認にて、①に00を入力した場合はﾓﾆﾀできません。</td><td>0:通常</td></tr>
<tr><td>＊9126</td><td>最大録音時間の設定

1ﾒｯｾｰｼﾞあたりの最大録音時間を10秒単位で設定します。</td><td>D D D #
①

① DDD | 001 | 002 | ～ | 179 | 180 | 最大録音時間 | 10秒 | 20秒 | ～ | 1790秒 | 1800秒</td><td>036:360秒</td></tr>
<tr><td>＊9127</td><td>ﾎﾞｯｸｽ毎の最大ﾒｰﾙ数の設定

1ﾎﾞｯｸｽあたりの最大ﾒｰﾙ数を設定します。</td><td>D D D #
①

① DDD | 000 | 001 | 002 | ～ | 254 | 255 | 最大ﾒｰﾙ数 | 制限なし | 1件 | 2件 | ～ | 254件 | 255件</td><td>028:28件</td></tr>
<tr><td>＊9128</td><td>ﾒｯｾｰｼﾞ自動消去日数の設定

ﾒｯｾｰｼﾞを登録してから消去するまでの日数を設定します。設定日数を超えるとﾒｯｾｰｼﾞは自動的に消去されます。</td><td>D D #
①

① DD | 00 | 01 | 02 | ～ | 29 | 30 | ﾒｯｾｰｼﾞ自動消去日数 | 自動消去なし | 1日 | 2日 | ～ | 29日 | 30日</td><td>00:自動消去なし</td></tr>
<tr><td>＊9129</td><td>ﾎﾞｯｸｽ毎の自動消去の設定

留守番代行ﾎﾞｯｸｽまたは個人ﾎﾞｯｸｽ毎に自動消去の有無を設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。（＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]参照）</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ | ﾎﾞｯｸｽ種類 | 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ | 先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ | 内線ﾎﾞｯｸｽ | 101～124
一般ﾎﾞｯｸｽ | 125～172
201～272
301～372
先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ | 800～815

② D₁D₁D₁ | ﾎﾞｯｸｽ種類 | 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ | 最終 個人ﾎﾞｯｸｽ | 内線ﾎﾞｯｸｽ | 101～124
一般ﾎﾞｯｸｽ | 125～172
201～272
301～372
最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ | 800～815

③ D₂ | 0 | 1
自動消去有無 | なし | あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊9131)</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟの登録の設定

同報ﾒｰﾙで使用する同報ｸﾞﾙｰﾌﾟに登録するかどうかを個人ﾎﾞｯｸｽ毎に設定します。

※①,②で入力する個人ﾎﾞｯｸｽのﾃﾞｰﾀはﾎﾞｯｸｽ番号ではなく、収容位置となります。
(＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]参照)</td><td>[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁] [D₂][D₂]
①　②　③
[D₃] [#]
④

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td colspan="2">ﾎﾞｯｸｽ種類</td><td>設定ﾃﾞｰﾀ</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">対象ﾎﾞｯｸｽ</td><td rowspan="3">先頭
個人ﾎﾞｯｸｽ</td><td>内線ﾎﾞｯｸｽ</td><td>101～124</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一般ﾎﾞｯｸｽ</td><td>125～172</td></tr>
<tr><td>201～272
301～372</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td colspan="2">ﾎﾞｯｸｽ種類</td><td>設定ﾃﾞｰﾀ</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">対象ﾎﾞｯｸｽ</td><td rowspan="3">最終
個人ﾎﾞｯｸｽ</td><td>内線ﾎﾞｯｸｽ</td><td>101～124</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一般ﾎﾞｯｸｽ</td><td>125～172</td></tr>
<tr><td>201～272
301～372</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>ﾎﾞｲｽﾒｰﾙの同報ｸﾞﾙｰﾌﾟNo.</td></tr>
<tr><td></td><td>00</td><td>全同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ</td></tr>
<tr><td></td><td>01</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ1</td></tr>
<tr><td></td><td>02</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ2</td></tr>
<tr><td></td><td>～</td><td>～</td></tr>
<tr><td></td><td>15</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ15</td></tr>
<tr><td></td><td>16</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ16</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>④</td><td>D₃</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ｸﾞﾙｰﾌﾟ登録</td><td>登録なし</td><td>登録あり</td></tr>
</table>

※ﾃﾞｰﾀの確認にて、③に00を入力した場合はﾓﾆﾀできません。</td><td>0:設定なし</td></tr>
<tr><td>[＊9132]</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号登録の設定

同報ｸﾞﾙｰﾌﾟNo.毎に同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号(ﾎﾞｯｸｽ番号)を設定します。

※1. ＊080の特番の桁数設定に従います。(第1数字0,8,9は不可)
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽ番号と重複した場合は個人ﾎﾞｯｸｽ番号が優先され、同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号は登録できません。</td><td>[D₀][D₀] [D₁]([D₁][D₁][D₁]) [#]
①　②

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟNo.</td></tr>
<tr><td></td><td>01</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ1</td></tr>
<tr><td></td><td>02</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ2</td></tr>
<tr><td></td><td>～</td><td>～</td></tr>
<tr><td></td><td>15</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ15</td></tr>
<tr><td></td><td>16</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ16</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁(D₁D₁D₁)</td><td>同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号</td></tr>
<tr><td></td><td>1桁の場合</td><td>1～7</td></tr>
<tr><td></td><td>2桁の場合</td><td>10～79</td></tr>
<tr><td></td><td>3桁の場合</td><td>100～799</td></tr>
<tr><td></td><td>4桁の場合</td><td>1000～7999</td></tr>
</table>

※全ての同報ｸﾞﾙｰﾌﾟのﾃﾞｰﾀをｸﾘｱする場合は①で00②で0を入力します。</td><td>設定なし</td></tr>
</table>

ボイスメールに関するコマンド

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9133</td><td>

無音検出処理方法の設定

録音、再生時の無音検出部分の処理方式を設定します。

※各処理方法の相違点は下表の通りです。

<table>
<tr><td>[D]</td><td>[#]</td></tr>
<tr><td>①</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>処理方法</td><td>通常</td><td>無音部
ｺｰﾄﾞ変換</td><td>無音部
圧縮</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>通常</th><th>無音部ｺｰﾄﾞ変換</th><th>無音部圧縮</th></tr>
<tr><td>録音時</td><td>そのまま録音される。</td><td colspan="2">無音部を検出して無音部は録音を行わず、無音をﾃﾞｰﾀとして保存する 。</td></tr>
<tr><td>再生時</td><td>そのまま再生される。</td><td>無音のﾃﾞｰﾀを参照し、無音部が付加されて再生される。</td><td>無音部分をとばして再生される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特徴</td><td rowspan="2">録音された状状態で再生される。</td><td colspan="2">ｼｽﾃﾑ全体の録音時間を節約できる。(実質的に録音時間を増やせる。) 但し、極端にﾚﾍﾞﾙの小さい音が無音と検出される恐れがある。</td></tr>
<tr><td>録音された長さのまま再生される。無音として検出した部分は完全な無音で再生される。</td><td>無音部分がとばされるので、ﾒｯｾｰｼﾞ部分のみ再生できる。</td></tr>
</table>

</td><td>0:通常</td></tr>
<tr><td>＊9134</td><td>

留守番代行ﾎﾞｯｸｽの設定

外線のﾃﾅﾝﾄｸﾞﾙｰﾌﾟの夜状態の各ﾓｰﾄﾞについてそれぞれ留守番代行ﾎﾞｯｸｽの番号を設定します。

※1. 以下の機能で、切断ﾒｯｾｰｼﾞの代わりに留守番代行ﾎﾞｯｸｽを使用する場合は、留守番代行ﾎﾞｯｸｽ番号は初期値のまま固定です。
- 外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ機能
  (＊383で切断ﾒｯｾｰｼﾞを設定)
- 転送電話
  (＊605で切断ﾒｯｾｰｼﾞを設定)

※2. 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀの無操作時に留守番代行ﾎﾞｯｸｽに代行録音する場合(＊9122で設定)は、留守番代行ﾎﾞｯｸｽ番号は800で固定です。

<table>
<tr><td>[D₀]</td><td>[D₀]</td><td>[D₁]</td><td>[D₂]</td><td>[D₂]</td><td>[#]</td></tr>
<tr><td colspan="2">①</td><td>②</td><td colspan="2">③</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀</td><td>00～15</td></tr>
<tr><td></td><td>外線ﾃﾅﾝﾄ番号</td><td>0～15</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>②</td><td>D₁</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾓｰﾄﾞ</td><td>夜間</td><td>外出</td><td>休日</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>③</td><td>D₂D₂</td><td>00～15</td></tr>
<tr><td></td><td>留守番代行ﾎﾞｯｸｽ番号</td><td>800～815</td></tr>
</table>

</td><td>各ﾓｰﾄﾞ全て
ﾃﾅﾝﾄ　ﾎﾞｯｸｽ番号
00 ― 00:800
～　　～
15 ― 15:815</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊9135</td>
<td>ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ対応ﾘﾄﾗｲ中の
新規ﾒｯｾｰｼﾞ着信通知方法の設定

ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙへの着信通知中に新規ﾒｯｾｰｼﾞが登録されたときに、これまでの着信通知のﾘﾄﾗｲをそのまま継続するか、新規ﾒｯｾｰｼﾞ登録時点でこれまでの着信通知を中止して新たな着信通知を開始するかを設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。詳細は、＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]を参照願います。
※3.「新たな着信通知を開始」の設定の場合に新たな着信通知が開始されるのは、着信通知ﾘﾄﾗｲ待ちのときに新規ﾒｯｾｰｼﾞが登録された場合のみで、ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙの呼出最中に新規ﾒｯｾｰｼﾞが登録された場合は、これまでの着信通知を継続し、新たな着信通知は開始しません。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ ﾎﾞｯｸｽ種類 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ 先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124
一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172 201～272 301～372
先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

② D₁D₁D₁ ﾎﾞｯｸｽ種類 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ 最終 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124
一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172 201～272 301～372
最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

③ D₂ 0 1
着信通知方法 これまでの着信通知を継続 新たな着信通知を開始</td>
<td>0:これまでの着信通知を継続</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9136</td>
<td>ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ対応
着信通知呼出先2の有無

ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙへの着信通知にて、最後のﾘﾄﾗｲ完了後一定時間(＊9114で設定)対応のﾎﾞｯｸｽのｱｸｾｽがなかったときに、別の呼出先(呼出先2)に着信通知を行うか否かを設定します。

※1. 留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2. 個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。詳細は、＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]を参照願います。
※3. 本ｺﾏﾝﾄﾞは＊9111を「ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ」に設定したときのみ有効です。
※4. 呼出先2の呼出も、ﾘﾄﾗｲを含めて3回です。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀D₀ ﾎﾞｯｸｽ種類 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ 先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124
一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172 201～272 301～372
先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

② D₁D₁D₁ ﾎﾞｯｸｽ種類 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ 最終 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124
一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172 201～272 301～372
最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

③ D₂ 0 1
呼出先2の有無 なし あり</td>
<td>0:なし</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>(＊9137)</td><td>ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ対応
着信通知呼出先2の設定

ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ対応着信通知で、呼出先2の番号を設定します。

※1.留守番代行ﾎﾞｯｸｽの場合は、ﾎﾞｯｸｽ番号は800～815で①,②で設定するﾃﾞｰﾀも800～815となります。
※2.個人ﾎﾞｯｸｽの場合は、①,②で入力するﾃﾞｰﾀは、ﾎﾞｯｸｽ番号ではなく収容位置となります。詳細は、＊9110の表[個人ﾎﾞｯｸｽについて]を参照願います。
※3.本設定は＊9136を「あり」にしたときに有効です。
※4.呼出先は、ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙのみ可能です。
※5.ﾒｯｾｰｼﾞ番号を短縮番号に登録する場合は、ﾒｯｾｰｼﾞ部分以外のﾎﾞﾀﾝ操作も入力します。
※6.④の呼出先区分は「内線」も設定できますが、必ず「外線」を設定してください。また、⑤はｼｽﾃﾑ短縮番号を設定してください。</td><td>[D₀][D₀][D₀] [D₁][D₁][D₁] [D₂] [D₃]
①　②　③　④
[D₄]‥[D₄] [#]
⑤

① D₀D₀D₀ ﾎﾞｯｸｽ種類 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ：先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124
対象ﾎﾞｯｸｽ：先頭 個人ﾎﾞｯｸｽ 一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172 / 201～272 / 301～372
対象ﾎﾞｯｸｽ：先頭留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

② D₁D₁D₁ ﾎﾞｯｸｽ種類 設定ﾃﾞｰﾀ
対象ﾎﾞｯｸｽ：最終 個人ﾎﾞｯｸｽ 内線ﾎﾞｯｸｽ 101～124
対象ﾎﾞｯｸｽ：最終 個人ﾎﾞｯｸｽ 一般ﾎﾞｯｸｽ 125～172 / 201～272 / 301～372
対象ﾎﾞｯｸｽ：最終留守番代行ﾎﾞｯｸｽ 800～815

③ D₂ / 1 / 2
呼出先 / 呼出先2 / ﾎﾟｹｯﾄﾍﾞﾙ用ﾒｯｾｰｼﾞ

④ D₃ / 0 / 1
呼出先区分 / 内線 / 外線

⑤ D₄･･･D₄ / 0～9999
④で内線を設定 / 内線番号(1～4桁)
④で外線を設定 / ｼｽﾃﾑ短縮番号(2～3桁)

※1.個別にｸﾘｱする場合は④に1を、⑤に0を入力します。
※2.全てｸﾘｱする場合は 000 # 0 0 0 # と入力します。</td><td>設定なし</td></tr>
<tr><td>＊9138</td><td>ＶＣＵＦの録音モード

ET-VCU(F)-GiまたはET-VCU(F)-Gi(12)を使用するとき、録音ﾓｰﾄﾞを変更することができます。

※1.「音質優先ﾓｰﾄﾞ」にすると、全体の録音時間が標準の1/2になります。
※2.設定変更は新たな録音から適用されます。
ﾓｰﾄﾞを変更すると、これまでの録音内容は正常に再生できません。(ﾓｰﾄﾞを元に戻すと正常に再生できます。)
できるだけ、設置時にお客様と相談のうえ、ﾓｰﾄﾞを決定するようにしてください。
また、設置後にﾓｰﾄﾞ変更し、ﾓｰﾄﾞ変更前の録音内容を消去してもよい場合は、下記操作によりVCU(F)基板のﾒﾓﾘをｸﾘｱしてください。(ｸﾘｱできなかった場合は、電池を外す時間を延ばしてください。)
①主装置の電源を切り、VCU(F)基板を抜く
②VCU(F)基板の電池を外し、1分程度放置する
③VCU(F)基板の電池を再度取り付ける
④主装置の電源を入れる
※3.本ｺﾏﾝﾄﾞは下記のROM版数から有効です。
・COMU:9-1　・VCU(F)-Gi:1-15　・VCU(F)-Gi(12):2-4</td><td>[D] [#]
①

① D / 0 / 1
ﾓｰﾄﾞ / 時間優先ﾓｰﾄﾞ(標準) / 音質優先ﾓｰﾄﾞ</td><td>0:時間優先ﾓｰﾄﾞ</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(ドアホン)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9200</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動電話機の設定(昼)

ﾄﾞｱﾎﾝA,B,C,Dについて各々8台まで鳴動電話機を設定します。</td><td>D₀ D₁ D₂ D₂ D₂ #
① ② ③

① D₀ / ﾄﾞｱﾎﾝ：1 2 3 4 / A B C D

② D₁ / 項番：1 ～ 8 / 1 ～ 8

③ D₂D₂D₂ / 鳴動電話機：101～128 / 収容位置</td><td rowspan="2">000:鳴動電話機なし</td></tr>
<tr><td>＊9201</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動電話機の設定(夜)

ﾄﾞｱﾎﾝA,B,C,Dについて各々８台まで夜間切替後の鳴動電話機を設定します。

※夜間切替の操作電話機は＊084で設定します。（外付ｽｲｯﾁまたはﾀｲﾏで切替も可能）</td><td>※1.ﾄﾞｱﾎﾝ毎のﾃﾞｰﾀ全ｸﾘｱは②に0、③に000を入力します。
※2.項番毎のﾃﾞｰﾀｸﾘｱは③に000を入力します。
※3.各ﾄﾞｱﾎﾝ毎の鳴動電話機にTELCLが含まれる場合は、TELCLは最大2台までとし、制御ﾁｬﾈﾙ及び優先通話ﾁｬﾈﾙ(工事ﾏﾆｭｱﾙ編参照)が異なる組み合わせとしてください。</td></tr>
<tr><td>＊9202</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信音の設定

ﾄﾞｱﾎﾝ毎に着信音を変更できます。

※着信音ﾊﾟﾀｰﾝは以下の通りです。
A：ﾋﾟ ― ﾝ ﾎﾟ ― ﾝ
B：ﾋﾟ ﾝ ﾎﾟﾝ ﾋﾟ ﾝ ﾎﾟ ﾝ
C：ﾋﾟﾝﾎﾟﾝﾋﾟﾝﾎﾟﾝ ﾋﾟﾝﾎﾟﾝﾋﾟﾝﾎﾟﾝ
D：ﾋﾟ ﾋﾟ ﾋﾟ ﾋﾟ</td><td>D₀ D₁ #
① ②

① D₀ / ﾄﾞｱﾎﾝ：1 2 3 4 / A B C D

② D₁ / 着信音ﾊﾟﾀｰﾝ：0 1 2 3 / A B C D</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ ﾊﾟﾀｰﾝ
1:A ― 0:A
2:B ― 1:B
3:C ― 2:C
4:D ― 3:D</td></tr>
<tr><td>＊9203</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動時間の設定

ﾄﾞｱﾎﾝ着信の鳴動時間を子機毎に設定します。</td><td>D₀ D₁ #
① ②

① D₀ / ﾄﾞｱﾎﾝ：1 2 3 4 / A B C D

② D₁ / 鳴動時間：1 2 3 ～ 9 / 2秒 3秒 4秒 ～ 10秒</td><td>6:7秒</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(ドアホン)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9204</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信応答可能時間の設定

ﾄﾞｱﾎﾝ着信に応答可能な時間を設定します。

※DHUB(ﾃﾚﾋﾞﾄﾞｱﾎﾝ)を使用する場合は、応答可能時間は40秒以下(D₁を7以下)に設定してください。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>D₀</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td></td><td>ドアホン</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td></td><td>応答可能時間(秒)</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td><td>50</td></tr></table></td><td>3:20秒</td></tr>
<tr><td>＊9205</td><td>ｵﾌﾌｯｸ中のﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動の設定

送受器を上げているときにもﾄﾞｱﾎﾝ着信鳴動をさせる機能の設定です。

※1.内線捕捉中は鳴動しません。
※2.外線捕捉中は＊709の設定によります。
※3.単独電話機は本設定は無効です。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>着信鳴動</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9206</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ冒頭音の送出時間の設定

電話機からﾄﾞｱﾎﾝを呼出したときの冒頭音送出時間を設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>時間</td><td>機能なし</td><td>2秒</td><td>4秒</td><td>6秒</td></tr></table></td><td>2:4秒</td></tr>
<tr><td>＊9207</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信の内線着信音による鳴動設定

ﾄﾞｱﾎﾝ着信時に着信TELの着信音をﾄﾞｱﾎﾝ着信音にするか、内線着信音にするかを設定します。

※1.TELCLの場合は、内線着信音としてください。
※2.単独電話機の着信音は＊842によります。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>101～106,109～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>先頭収容位置</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁</td><td>101～106,109～128</td></tr><tr><td></td><td>対象電話機</td><td>最終収容位置</td></tr></table><table><tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信音種類</td><td>ﾄﾞｱﾎﾝ着信音</td><td>内線着信音</td></tr></table></td><td>0:ﾄﾞｱﾎﾝ着信音</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(PGU)

＊9220 BGM外部ｽﾋﾟｰｶ出力の設定

外部音源をBGMとして外部ｽﾋﾟｰｶへ出力するか否かを設定します。

D ＃ 0:出力なし

①

①	D	0	1
	BGM出力	出力なし	出力あり

＊9221 外部ｽﾋﾟｰｶ呼出の冒頭音送出の設定

外部ｽﾋﾟｰｶに冒頭音を送出するか否かを設定します。
更に、冒頭音送出ありの場合は冒頭音送出までの時間も設定します。

※冒頭音が途切れる場合は、送出までの時間を長くしてください。

D ＃ 1:1秒

①

①	D	0	1	2	3	4	5	6	7
	冒頭音送出の有無と送出までの時間	冒頭音送出なし	1秒	2秒	3秒	4秒	5秒	6秒	7秒
			冒頭音送出あり						

＊9222 外部ｽﾋﾟｰｶ、高音量ﾍﾞﾙの鳴動電話機収容位置の設定

外部ｽﾋﾟｰｶ、高音量ﾍﾞﾙの鳴動をどの電話機の鳴動に連動させるかを設定します。

※高音量ﾍﾞﾙはPGUのﾘﾓｺﾝ端子に接続します。高音量ﾍﾞﾙに接続する場合は、＊9230で接続するﾘﾓｺﾝ番号を「高音量ﾍﾞﾙ」に設定します。

D_0 D_1 D_1 D_1 ＃ 000:設定なし

① ②

①	D_0	0	1	2	3	4
	鳴動機器	外部ｽﾋﾟｰｶ	高音量ﾍﾞﾙ1	高音量ﾍﾞﾙ2	高音量ﾍﾞﾙ3	高音量ﾍﾞﾙ4

②	$D_1D_1D_1$	000	101～128
	対象電話機	設定なし	収容位置

＊9223 外部ｽﾋﾟｰｶ、高音量ﾍﾞﾙの鳴動範囲の設定

外部ｽﾋﾟｰｶ、高音量ﾍﾞﾙの鳴動範囲を外線着信のみとするか内線＋外線着信とするかを設定します。

※1. 電話機との対応は＊9222で設定します。
※2. 外線系/内線系の着信周期は以下通りです。

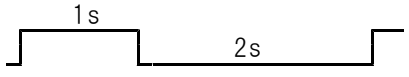
D_0 D_1 ＃ 0:外線

① ②

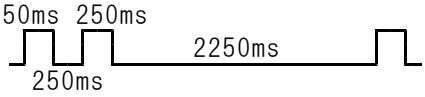
①	D_0	0	1	2	3	4
	鳴動機種	外部ｽﾋﾟｰｶ	高音量ﾍﾞﾙ1	高音量ﾍﾞﾙ2	高音量ﾍﾞﾙ3	高音量ﾍﾞﾙ4

②	D_1	0	1
	鳴動範囲	外線	内線+外線

[外線系]



[内線系]



＊9224 外部ｽﾋﾟｰｶの鳴動音の設定

外線着信時の外部ｽﾋﾟｰｶの鳴動音を設定します。

※Aは880Hz/30Hz変調音、Bは850/16Hz変調音です。内線着信の場合は1280Hz/20Hz変調で固定です。

D ＃ 0:A

①

①	D	0	1	2	3
	外部ｽﾋﾟｰｶ鳴動音	A	B	内部保留音	外部音源(EMU)

オプションに関するコマンド(PGU)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9230</td><td>リモコン出力種別の設定

リモコン出力(リモコン1～リモコン4)をどの様にするかを設定します。

※出力種別の意味
・コントロール出力…プログラマブルキーのリモコンボタンまたは外線からの操作(DID機能または留守モードド機能)で外部機器をコントロールする場合
・グループ呼出…外部スピーカ呼出をグループ分けするために、スピーカ切替ユニットを接続して切り替える場合
・高音量ベル…高音量ベルを接続する場合</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀ 1～4
対象リモコン出力 リモコン番号
② D₁ 0 1 2
出力種別 コントロール出力 グループ呼出 高音量ベル
※1. 高音量ベルが鳴動しているときにデータ変更すると鳴動が止まらなくなりますので、ご注意ください。
※2. ②を0に設定した場合のみ＊9231～＊9233は有効となります。</td><td>0:コントロール出力</td></tr>
<tr><td>＊9231</td><td>外線からのリモコン操作の設定

DID機能を使用して外線からリモコン出力(リモコン1～リモコン4)のコントロールを可能にするか否かを設定します。

※＊9230でリモコン出力の種別を「コントロール出力」としたリモコン番号以外は、「可」に設定しないでください。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀ 1～4
対象リモコン出力 リモコン番号
② D₁ 0 1
外線からのコントロール 不可 可</td><td>0:不可</td></tr>
<tr><td>＊9232</td><td>リモコンとドアホンの連動設定

リモコン出力(リモコン1～リモコン4)をドアホンと連動させるか否かを設定します。

※1. ドアホン連動の場合、ドアホン着信中及び通話中は対応のリモコンは動作を継続します。通常のドアホンと外付けカメラ等を連動するに設定します。
※2. ＊9230でリモコン出力の種別を「コントロール出力」としたリモコン番号以外は、設定しないでください。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀ 1～4
対象リモコン出力 リモコン番号
② D₁ 0 1 2 3 4 5
ドアホン連動 なし ドアホンA ドアホンB ドアホンC ドアホンD 全ドアホン</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9233</td><td>リモコンの自動戻り(ON→OFF)の設定

リモコン出力(リモコン1～リモコン4)をONにした場合、一定時間後(約2秒)にOFFさせるか否かを設定します。

※＊9230でリモコン出力の種別を「コントロール出力」としたリモコン番号以外は、「あり」に設定しないでください。</td><td>D₀ D₁ #
① ②
① D₀ 1～4
対象リモコン出力 リモコン番号
② D₁ 0 1
自動戻り なし あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(EMU)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9240</td><td>ｾﾝｻ入力種別の設定

ｾﾝｻ入力(ｾﾝｻ1～ｾﾝｻ4)をどの様に使用するかを設定します。

※1.入力種別の意味
外部の接点情報を検出して下記のように動作します。
・ｾﾝｻ ……一定時間(＊9241で設定)内線電話機を呼び出し、応答するとﾒｯｾｰｼﾞを送出します。
・夜間切替…夜間切替,直通切替,ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ切替ｽｲｯﾁ用です。
・ｾﾝｻﾘｾｯﾄ …入力種別をｾﾝｻにして、電話機呼出中にｾﾝｻﾘｾｯﾄを検出すると呼出が停止します。
※2.夜間切替用に使用できるのは、ｾﾝｻ1のみです。他は設定しても機能しません。</td><td>Do D1 #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>Do</td><td>1～4</td></tr><tr><td></td><td>対象ｾﾝｻ入力</td><td>ｾﾝｻ番号</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>入力種別</td><td>ｾﾝｻ</td><td>夜間切替</td><td>ｾﾝｻﾘｾｯﾄ</td></tr></table>
※②は3も入力できますが、設定しないでください。</td><td>[ｾﾝｻ1]
1:夜間切替

[ｾﾝｻ2～4]
0:ｾﾝｻ</td></tr>
<tr><td>＊9241</td><td>ｾﾝｻ入力時の電話機呼出時間の設定

＊9240でｾﾝｻの入力種別を「ｾﾝｻ」に設定した場合の、内線電話機呼出時間を設定します。

※ｾﾝｻの呼出電話機は＊9244、応答ﾒｯｾｰｼﾞは＊9245で設定します。</td><td>Do D1 #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>Do</td><td>1～4</td></tr><tr><td></td><td>対象ｾﾝｻ入力</td><td>ｾﾝｻ番号</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D1</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>電話機呼出時間</td><td>呼出なし</td><td>15秒</td><td>60秒</td><td>無限</td></tr></table></td><td>0:呼出なし</td></tr>
<tr><td>＊9242</td><td>ｾﾝｻとﾘﾓｺﾝの連動設定

＊9240でｾﾝｻの入力種別を「ｾﾝｻ」に設定した場合に、ﾘﾓｺﾝ出力と連動させるか否かを設定します。

※ｾﾝｻ検出があった場合に、ｾﾝｻ番号と同一番号のﾘﾓｺﾝ出力をONにします。</td><td>Do D1 #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>Do</td><td>1～4</td></tr><tr><td></td><td>対象ｾﾝｻ入力</td><td>ｾﾝｻ番号</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>ﾘﾓｺﾝ連動</td><td>なし</td><td>あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9243</td><td>ｾﾝｻの起動条件の設定

ｾﾝｻ入力(ｾﾝｻ1～ｾﾝｻ4)の起動条件を設定します。

※＊9240を「夜間切替」または「ｾﾝｻﾘｾｯﾄ」に設定した場合は、起動条件は自動的に「ｼｮｰﾄ」になります。</td><td>Do D1 #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>Do</td><td>1～4</td></tr><tr><td></td><td>対象ｾﾝｻ入力</td><td>ｾﾝｻ番号</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>起動条件</td><td>ｵｰﾌﾟﾝ</td><td>ｼｮｰﾄ</td></tr></table></td><td>1:ｼｮｰﾄ</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9244</td><td>ｾﾝｻ検出時の鳴動電話機の設定

＊9240でｾﾝｻの入力種別を「ｾﾝｻ」に設定した場合に、ｾﾝｻ毎に鳴動させる電話機を設定します。

※1ｾﾝｻ当たり最大3台まで鳴動設定できます。</td><td>Do Do D1 D2 D2 D2 #
① ② ③
① Do 1～4 / 対象ｾﾝｻ入力 ｾﾝｻ番号
② D1 1～3 / 鳴動電話機No. 1～3
③ D2D2D2 101～128 / 鳴動電話機 収容位置
※1.ｾﾝｻ毎にﾃﾞｰﾀを全てｸﾘｱする場合は②に0,③に000を入力します。
※2.鳴動電話機を無しとする場合は③に000を入力します。
※3.同時に鳴動する電話機にTELCLが含まれる場合は、TELCLは最大2台までとし、制御ﾁｬﾈﾙ及び優先通話ﾁｬﾈﾙ(工事ﾏﾆｭｱﾙ編参照)が異なる組み合わせとしてください。</td><td>000:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊9245</td><td>ｾﾝｻ着信のﾒｯｾｰｼﾞの種類の設定

＊9240でｾﾝｻの入力種別を「ｾﾝｻ」に設定した場合に、呼び出された電話機が応答したときのﾒｯｾｰｼﾞをｾﾝｻ毎に設定します。

※VRU音源のﾒｯｾｰｼﾞ数は＊9270で設定します。
(基板1枚当たり最大4件)</td><td>Do D1 #
① ②
① Do 1～4 / 対象ｾﾝｻ入力 ｾﾝｻ番号
② D1 ﾒｯｾｰｼﾞ種別
0 ｳｪｲﾃｨﾝｸﾞﾄｰﾝ
1 VRU1-1
2 VRU1-2
3 VRU1-3
4 VRU1-4
5 VRU2-1
6 VRU2-2
7 VRU2-3
8 VRU2-4
9 外部音源(EMU)</td><td>0:ｳｪｲﾃｨﾝｸﾞﾄｰﾝ</td></tr>
<tr><td>＊9250</td><td>MCA無線接続の有無

MCA無線を接続するか否かを設定します。

※1.MCA無線接続をありに設定した場合は2外線ｱｯﾄﾞｵﾝ機能は動作しなくなります。
※2.MCA無線接続をする場合、以下のｺﾏﾝﾄﾞ設定も必要です。
(外線ﾀﾞｲﾔﾙ種別=PB(＊100), 外線種別=PBX(＊101),
BGM機能=あり(＊9251), ﾀｲﾐﾝｸﾞﾘﾊﾞｰｽ=2秒(＊9308),
単独電話機のﾀﾞｲﾔﾙ種別=PB(＊840)…単独電話機で操作の場合)</td><td>D #
①
① D / MCA無線接続 0:なし 1:あり</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9251</td><td>BGM機能の有無

ﾎﾞﾀﾝ電話機のｽﾋﾟｰｶからBGMを流すかどうかを設定します。

※外部ｽﾋﾟｰｶのBGM機能については、＊9220で設定します。</td><td>D #
①
① D / BGM機能 0:なし 1:あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(専用線)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9260</td><td>専用線の番号方式の設定

専用線発信時の番号方式を設定します。

※1.番号方式は、外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟの特番毎(＊081で設定)に設定します。また、外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟでの捕捉外線は、＊110で設定します。
※2.各番号方式の説明：
・付加番号方式‥‥外線自動発信特番をﾀﾞｲﾔﾙして対応の専用線を捕捉後、相手の内線番号をﾀﾞｲﾔﾙする方式。
・統一番号方式‥‥相手の内線番号をﾀﾞｲﾔﾙするだけで、専用線を捕捉して相手を呼び出す方式。ただし、外線自動発信特番と相手の内線番号の1桁目を同じにする必要があります。</td><td>Do D1 #
① ②

① Do 1 2 3 4 5 6
外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1 2 3 4 5 6

② D1 0 1
番号方式 付加番号方式 統一番号方式</td><td>0:付加番号方式</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(VRU，FXU)

＊9270 VRUの録音時間の設定

初期値：1:16秒

データ設定方法： Do D1 #

①　②

①	Do	1	2
	VRU基板No	1	2

②	D1	0	1	2
	VRUの録音時間	8秒（ﾒｯｾｰｼﾞ数4）	16秒（ﾒｯｾｰｼﾞ数2）	32秒（ﾒｯｾｰｼﾞ数1）

VRUのﾒｯｾｰｼﾞ1件当たりの録音時間を設定します。

※録音時間によって、基板1枚当たりの録音件数も変動します。
尚、VRUの録音時間による使用可能ﾁｬﾝﾈﾙNo.との関係は、下表の通りです。下表に示すVRUのﾁｬﾝﾈﾙを指定するｺﾏﾝﾄﾞを設定する場合、注意してください。

VRUのﾁｬﾝﾈﾙ		録音時間による使用可否			VRUのﾁｬﾝﾈﾙを指定するｺﾏﾝﾄﾞ
1枚目	2枚目	8秒	16秒	32秒	
VRU1-1	VRU2-1	○	○	○	＊340，＊381，＊383，＊390，＊504，＊603，＊605，＊722，＊724，＊9245
VRU1-2	VRU2-2	○	○	×	
VRU1-3	VRU2-3	○	×	×	
VRU1-4	VRU2-4	○	×	×	

○：使用可能　×：使用不可

＊9271 複数外線のﾒｯｾｰｼﾞ送出ﾀｲﾐﾝｸﾞ

初期値：0:同時

データ設定方法： D #

①

①	D	0	1
	ﾒｯｾｰｼﾞ送出ﾀｲﾐﾝｸﾞ	同時	順次

VRUに録音した同一ﾒｯｾｰｼﾞを複数外線に送出する場合に、同時に送出するか順次送出するかを設定します。

※複数外線に同一ﾒｯｾｰｼﾞを送出する場合は、設定により下表の様になります。

		着信時の応答ﾒｯｾｰｼﾞ	切断ﾒｯｾｰｼﾞ
適用		外線自動応答ﾒｯｾｰｼﾞ、外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ、転送電話の転送ﾒｯｾｰｼﾞ、DIDの一次応答ﾒｯｾｰｼﾞなど	外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ、転送電話、不在転送などの機能における切断ﾒｯｾｰｼﾞ
設定	同時	着信に応答し、2外線目以降のﾒｯｾｰｼﾞは途中から送出される。	切断処理を開始し、2外線目以降のﾒｯｾｰｼﾞは途中から送出される。
	順次	他の外線にﾒｯｾｰｼﾞ送出中は着信に自動応答せず、ﾒｯｾｰｼﾞの送出が完了したら自動応答してﾒｯｾｰｼﾞの頭から送出する。	他の外線にﾒｯｾｰｼﾞ送出中は切断処理を待ち、ﾒｯｾｰｼﾞの送出が完了したら切断処理を開始し、ﾒｯｾｰｼﾞを送出した後で外線を切断する。

＊9275 FAX使用中表示外線の設定

初期値：00:設定なし

データ設定方法： D D #

①

①	DD	00	01～16
	FAX接続外線	設定なし	外線番号

外線側にﾌｧｯｸｽを接続してET-FXU-Giでﾌｧｯｸｽの使用中表示を行う場合にﾌｧｯｸｽを接続した外線番号を設定します。

※1.ﾌｧｯｸｽ及びFXUの接続は「工事ﾏﾆｭｱﾙ編」を参照ください。
※2.ﾌｧｯｸｽ接続外線は1本のみ設定できます。

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9280</td><td>ISDN(INSﾈｯﾄ64)の発番号送出の有無

ISDN外線から発信する場合に、発番号を通知するか否かを設定します。
※1.発番号は発信外線の電話番号です。1つの外線で複数の番号を持つ場合は、＊9284で設定した番号が送出されます。＊9284が設定されていない場合は、網の付加する番号になります。
※2.網の契約(通常通知/通常非通知)よりも本設定が優先されます。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
発番号送出</td><td>0
なし</td><td>1
あり</td></tr></table></td><td>1:送出あり</td></tr>
<tr><td>＊9281</td><td>ISDN(INSﾈｯﾄ64)の発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ送出の有無

ISDN外線から発信する場合に、発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽを通知するか否かを設定します。
※発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽは、発信電話機の内線番号です。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ送出</td><td>0
なし</td><td>1
あり</td></tr></table></td><td>1:送出あり</td></tr>
<tr><td>＊9282</td><td>ISDN(INSﾈｯﾄ64)着番号ﾁｪｯｸの有無

他のISDN機器とﾏﾙﾁ接続した場合にどちらへの着信かを区別するか否かを設定します。(NTTとﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ契約を行った場合)
※1.着番号を「ﾁｪｯｸあり」に設定した場合は、＊9284で設定した番号とISDN網から送られてくる着番号が一致していないときは、着信を受け付けません。「ﾁｪｯｸあり」にした場合は、必ず＊9284の設定を行ってください。
※2.着番号を「ﾁｪｯｸあり」に設定した場合でも、NTTとのｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信の契約をする契約者回線番号で着信した場合は着信を受け付けます。(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信についてはNTTにご確認ください。)
※3.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」の場合、「着番号識別」は機能しません。(詳細＊356参照)</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
着番号ﾁｪｯｸ</td><td>0
なし</td><td>1
あり</td></tr></table></td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9283</td><td>ISDN(INSﾈｯﾄ64)着ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ﾁｪｯｸの有無

ISDN外線に着信した場合に、ISDN網から受信した着ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽをﾁｪｯｸするか否かを設定します。
※1.着ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽを「ﾁｪｯｸあり」に設定した場合は、受信した着ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽを内線番号として、対応の電話機に直接着信します。
※2.「ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ」や「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」で特定の電話機に着信させる場合は、ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽﾀﾞｲﾔﾙｲﾝは機能しません。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D
着ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ﾁｪｯｸ</td><td>0
なし</td><td>1
あり</td></tr></table></td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊9284</td><td>ISDN(INSﾈｯﾄ64)の
発番号/着番号の設定

ISDNの外線毎に電話番号を1個設定できます。
※1.外線発信時には、発番号として相手先に送出されます。
(＊9280を「あり」に設定の場合)
※2.外線着信時には、着番号と照合するﾁｪｯｸ番号となります。
(＊9282を「あり」に設定の場合)
※3.「ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ」や「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」回線の場合は契約者回線番号(親番号)を設定してください。
※4.「代表」回線で代表番号を通知する場合や、「着番号識別」機能で代表番号で着信させる場合は、代表を組んでいる外線は全て契約者回線番号(親番号)を設定してください。
※5.代表親番号を通知する契約の場合は、設定に関係なく親番号が通知されます。</td><td>D₀ D₀ D₁ ･･･ D₁ #
① ②
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀
対象外線</td><td>01,03,05,07
外線番号(奇数番号)</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁･･･D₁
発番号/着番号</td><td>0～9のﾀﾞｲﾔﾙ
電話番号(最大10桁)</td></tr></table>
※1.外線番号は必ず奇数番号を設定してください。
※2.外線毎にﾃﾞｰﾀをｸﾘｱする場合は②で00000(5桁)を入力します。
※3.発番号/着番号は「市外局番」+「加入者番号」を設定してください。</td><td>設定なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9285</td><td>ISDN外線短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信時
ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄﾀｲﾐﾝｸﾞ

ISDN外線から短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信する場合の、ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄのﾀｲﾐﾝｸﾞを設定します。</td><td>D ＃
①
① D | 0 | 1
ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄﾀｲﾐﾝｸﾞ | 操作後すぐにｽﾀｰﾄ | 一定時間後にｽﾀｰﾄ</td><td>0:操作後すぐにｽﾀｰﾄ</td></tr>
<tr><td>＊9286</td><td>ISDN桁間ﾀｲﾏの設定

ISDN桁間ﾀｲﾏの設定を行います。
※1.ﾀﾞｲﾔﾙ押下後、設定した時間が経過すると ＃ ﾎﾞﾀﾝ または ｽﾀｰﾄ ﾎﾞﾀﾝを押下しなくてもﾀﾞｲﾔﾙが自動的に送出されます。
※2.「INSﾎﾞｲｽﾜｰﾌﾟ」や「迷惑電話おことわりｻｰﾋﾞｽ」で ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ ﾎﾞﾀﾝを押した後のﾀﾞｲﾔﾙ操作も、この桁間ﾀｲﾏが有効となります。</td><td>D ＃
①
① D | 1 | ･･ | 9
桁間ﾀｲﾏ | 1秒 | ･･ | 9秒</td><td>4:4秒</td></tr>
<tr><td>＊9287</td><td>ISDN伝達能力の設定

ISDNの伝達能力の設定を行います。
※内線に電話機を収容する場合は、「音声」の設定をします。
G3FAXまたはﾓﾃﾞﾑ等を収容する場合は、「3.1kHzｵｰﾃﾞｨｵ」の設定をします。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ ＃
① ② ③
① D₀D₀D₀ | 101～128
対象電話機 | 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ | 101～128
対象電話機 | 最終収容位置
③ D₂ | 0 | 1
伝達能力 | 音声 | 3.1kHzｵｰﾃﾞｨｵ
※③は2も入力できますが入力しても機能しません。</td><td>0:音声</td></tr>
<tr><td>＊9288</td><td>＃ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄの設定

ISDN外線の発信でﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰの ｽﾀｰﾄ ﾎﾞﾀﾝの代わりに ＃ を押した場合もﾀﾞｲﾔﾙ送出されるか設定します。
※ﾎﾞﾀﾝ電話機の他、PB単独電話機でも可能です。</td><td>D ＃
①
① D | 0 | 1
＃ﾀﾞｲﾔﾙｽﾀｰﾄ | あり | なし</td><td>0:あり</td></tr>
<tr><td>＊9289</td><td>ISDNの着番号受信時の
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信の可否の設定

ISDN外線の着信で着番号がある場合に、外線の着信種別に関係なくﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ着信するか否かを設定します。
※1.本設定を「あり」にすると、外線の着信種別(＊300で設定)がDI以外でもﾀﾞｲﾔﾙｲﾝとなります。
※2.ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信を利用している場合に、夜間はｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信のみ転送電話に切り替え、着番号がある着信は昼と同様にﾀﾞｲﾔﾙｲﾝで運用したい場合などに「あり」に設定します。
※3.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」の場合は、ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝと着信の方式が異なりますので使用できません。</td><td>D ＃
①
① D | 0 | 1
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ動作 | なし | あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(ISDN)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9290</td><td>ISDNのｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信
受付可否の設定

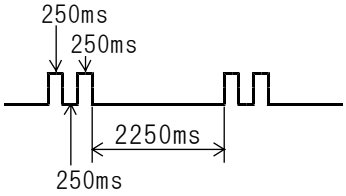
ISDN外線の着信でｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信等の着番号がない場合に、着信を受け付けるか否かを外線毎に設定します。

※1. ISDN外線の設定は、通常ﾍﾟｱとなる外線(例:外線1と外線2)は同一設定としますが、本設定は各外線番号毎に個別に設定します。
※2. ISDN外線をFAX回線用に使用しFAXが1台のみでも、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信の場合はISDN外線1本あたり2個の着信を受け付けてしまうため、2個目の着信を拒否したい場合は、ﾍﾟｱとなるISDN外線の一方の外線番号を「なし」に設定します。
※3.「i･ﾅﾝﾊﾞｰ」の場合、＊356に「99999(一般着信)」を設定すると、本機能は有効となります。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号
② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号
③ D₂ 0:ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ着信受付 あり 1:なし</td><td>0:あり</td></tr>
<tr><td>＊9291</td><td>発番号表示桁数の設定
(発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ表示の有無)

表示可能な発番号(電話番号)の桁数を10桁にするか16桁にするか設定します。

※発番号表示桁数が10桁の場合は、ISDN回線(INSﾈｯﾄ64)からの着信時に発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽの表示も可能です。</td><td>D #
①
① D 発番号表示桁数(発ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ表示) 0:10桁(あり) 1:16桁(なし)</td><td>1:16桁(なし)</td></tr>
<tr><td>＊9292</td><td>着信識別の有無の設定

ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能やISDN外線を使用している場合、ｼｽﾃﾑ短縮に相手名称登録した相手からの着信があったときに、着信音を変えるか変えないかを設定します。(発信者番号が通知されるときのみ機能します。)

※1. 着信識別「あり」の場合、着信音の周期は右図の通りです。
※2. 着信音が保留音の場合は着信識別できません。着信音A,B,Cを指定してください。(＊315～＊317参照)</td><td>D #
①
① D 着信識別 0:なし 1:あり
 

着信識別時の着信音周期</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9293</td><td>電話機毎の着信応答履歴の有無

ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能やISDN回線を使用している場合、発信者の番号を電話機毎に履歴として登録するか否かを設定します。

※1. 本機能を設定した場合、電話機毎の短縮ﾀﾞｲﾔﾙは使用できません。また、設定済の電話機毎の短縮ﾀﾞｲﾔﾙはｸﾘｱされますので、十分注意してください。
※2. 履歴は最後に終話した電話機に登録されます。
※3. ｼｽﾃﾑ短縮ﾀﾞｲﾔﾙが1000ﾒﾓﾘの場合は、本機能は使用できません。
※4. 履歴として登録されるのは、発信者の番号が通知されるときのみです。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～106,109～128 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～106,109～128 最終収容位置
③ D₂ 電話機毎履歴 0:なし 1:あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

オプションに関するコマンド(ISDN)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊9297	ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ時の ｶﾅ名称表示有無	D_0 D_0 D_0 D_1 D_1 D_1 D_2 #	0:あり

①　②　③

①	$D_0D_0D_0$	101～106,109～128
	対象電話機	先頭収容位置

②	$D_1D_1D_1$	101～106,109～128
	対象電話機	最終収容位置

③	D_2	0	1
	ｶﾅ名称表示	あり	なし

ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ機能やISDN回線を使用している場合、相手の番号に対してｶﾅ名称が登録してあると、着信時はｶﾅ名称で表示されますが、ｶﾅ名称ではなく発番号(電話番号)のまま表示させることができます。

※1. 本設定はﾎﾞﾀﾝ電話機のみ有効です。
※2. TELNDにﾊﾟｿｺﾝを接続してCTI機能を利用するときは、ｶﾅ名称表示を「なし」に設定します。
※3. ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺｰﾄﾞﾚｽ電話機に対しては、本設定に関係なく発番号表示が表示されます。

課金に関するコマンド(全般)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9300</td><td>設置局番号の設定

設置局番号を市外局番の先頭の0を除いたA,B,C,D,Eｺｰﾄﾞ5桁で設定します。
（例）03-3123-4567の番号の所に設置した場合は33123と設定します。</td><td>D D D D D #
①
① DDDDD 00000 10000～99999
設置局番号 設定なし 10000～99999
※課金したくない場合は、00000を入力します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>＊9301</td><td>課金ｸﾞﾙｰﾌﾟの設定

課金集計のためのｸﾞﾙｰﾌﾟを設定します。
※1.ID発信(公専公接続を含む)を行う場合は、ID番号を登録した仮想収容位置で課金ｸﾞﾙｰﾌﾟを設定することも可能で、この場合は対象収容位置は機種に関係なく101～172,201～272,301～372となります。
※2.課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ38に設定した電話機は、ID発信番号(＊081で設定)が設定された外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟの外線に対してはID発信のみ可能となり、外線自動発信(通称ｾﾞﾛ発信)は規制されます。
更に、ID発信番号が設定された外線自動発信ｸﾞﾙｰﾌﾟが１つでもあると、以下も規制されます。
・特番による短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信
・特番による外線指定捕捉
・＊ による短縮ﾀﾞｲﾔﾙ発信
・外線発信ｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 101～128
対象電話機 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 101～128
対象電話機 最終収容位置
③ D₂D₂ 00～15 31～38
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0～15(事務ｸﾞﾙｰﾌﾟ) ｸﾞﾙｰﾌﾟ31～38(客室ｸﾞﾙｰﾌﾟ)</td><td>00:ｸﾞﾙｰﾌﾟ0</td></tr>
<tr><td>＊9302</td><td>外線別料金管理の設定

外線ごとに料金管理の対象にするかどうかを設定します。
※1.「料金管理なし」と設定すると、その外線を使って発信した場合は、料金管理を行いません。
※2.ﾌﾟﾘﾍﾟｲﾄﾞｼｽﾃﾑを使用時、料金がない場合や1度数に満たない場合でも、「料金管理なし」に設定した外線発信は規制されません。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀ 01～08
対象外線 先頭外線番号
② D₁D₁ 01～08
対象外線 最終外線番号
③ D₂ 0 1
料金管理 なし あり</td><td>1:あり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊9303</td>
<td>国内の単位通話料金の設定
(事務ｸﾞﾙｰﾌﾟ)

課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ(＊9301)のｸﾞﾙｰﾌﾟ00～15に対する通話料金管理の単位通話料金を設定します。

※1.単位通話料金とは、単位時間(市内の場合は3分)当たりの通話料金です。
※2.初期登入料金とは、発信時に最初に加算される料金です。
※3.加算料金とは、単位時間経過毎に加算される料金です。
※4.課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ31～38(客室ｸﾞﾙｰﾌﾟ)の料金は＊9304で設定します。</td>
<td>[D₀] [D₁ D₁] [D₂ D₂] [#]
① ② ③

① D₀ / 外線種別 / 0 / NTT

② D₁D₁ / 初期登算料金 / 00 / なし / 01～99 / 対応の料金(1～99円)

③ D₂D₂ / 加算料金 / 00 / なし / 01～99 / 対応の料金(1～99円)</td>
<td>[初期登算]
10:１０円

[加算料金]
10:１０円</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9304</td>
<td>国内の単位通話料金の設定
(客室ｸﾞﾙｰﾌﾟ)

課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ(＊9301)のｸﾞﾙｰﾌﾟ31～38に対する通話料金管理の単位通話料金を設定します。

※1.内容は、＊9303と共通です。
※2.課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ1～15(事務ｸﾞﾙｰﾌﾟ)の料金は＊9303で設定します。</td>
<td>[D₀] [D₁ D₁] [D₂ D₂] [#]
① ② ③

① D₀ / 外線種別 / 0 / NTT

② D₁D₁ / 初期登算料金 / 00 / なし / 01～99 / 対応の料金(1～99円)

③ D₂D₂ / 加算料金 / 00 / なし / 01～99 / 対応の料金(1～99円)</td>
<td>[初期登算]
10:１０円

[加算料金]
10:１０円</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9305</td>
<td>外線転送時の料金加算方式の設定

外線発信通話中に他の電話機に転送した場合、転送後の料金加算方式を設定します。

※1.加算方式1は、転送先が通話を開始した後に料金ｱｯﾌﾟのﾎﾟｲﾝﾄとなった時点からは転送先に料金加算され、それまでは転送元の電話機に加算されます。
※2.加算方式2は、転送先が通話を開始した時点を新たな発信と見なして、初期登算を含めて料金加算します。</td>
<td>[D] [#]
①

① D / 料金加算方式 / 1 / 加算方式1 / 2 / 加算方式2</td>
<td>1:加算方式1</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9306</td>
<td>課金から削除するﾌﾟﾚﾀﾞｲﾔﾙ設定

課金の対象としないﾀﾞｲﾔﾙ(第1～4ﾀﾞｲﾔﾙ)を設定します。LCR、ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽに関しても、本ﾀﾞｲﾔﾙは対象外となります。

※「ﾅﾝﾊﾞｰ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」機能未対応の既設品のROMを交換して本機能を対応するときは、初期値は自動的に設定されませんので、設定を行ってください。(設定済の全ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱする場合は除く)</td>
<td>[D₀] [D₁ (D₁ D₁ D₁)] [#]
① ②

① D₀ / 項番 / 1～8 / 1～8

② D₁(D₁D₁D₁) / 削除するﾌﾟﾚﾀﾞｲﾔﾙ / 0～9999 / 1～4桁

※②で00000(5桁)を入力すると項番毎のｸﾘｱとなります。</td>
<td>項番1：184
項番2：186</td>
</tr>
</table>

課金に関するコマンド(全般)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊9307	**ﾀｲﾐﾝｸﾞﾘﾊﾞｰｽ対象外線種別の設定** ﾀｲﾐﾝｸﾞﾘﾊﾞｰｽ対象となる外線の種別を設定します。	D　# ① ① D 0 1 外線種別 PBX 一般PBX CES	0:PBX
＊9308	**ﾀｲﾐﾝｸﾞﾘﾊﾞｰｽ開始までの時間の設定** 外線を捕捉後ﾀﾞｲﾔﾙを送出してから極性反転とみなすまでの時間を設定します。 ※ISDN外線の場合は時間を設定しても機能しません。	D　D　# ① ① DD 00 01 02 … 15 時間 機能なし 2秒 4秒 … 30秒	00:機能なし
＊9309	**割引料金適用日の設定** 通話料金が割引になる日(祝祭日等)を設定します。 ※1.下記の祝祭日は基本ﾃﾞｰﾀで入力されていますので、その他の日を設定してください。 ・祝祭日：1/1, 2/11, 4/29, 5/3, 5/4, 5/5, 7/20, 9/15, 11/3, 11/23, 12/23 ・平　日：1/2, 1/3 ※2.本設定は、i+9 1 のﾕｰｻﾞｰ設定と共通です。 ※3.本設定は、春分の日、秋分の日、体育の日、成人の日などのように年によって日が変わる祝祭日を設定するので、i+9 1 のﾕｰｻﾞｰ設定をお客様に説明し、極力お客様に毎年設定していただくよう依頼してください。	D_0　D_1 D_1　D_2 D_2　D_3　# ①　②　③　④ ① D_0 1～8 項番 1～8 ② D_1D_1 01～12 月 1月～12月 ③ D_2D_2 01～31 日 1日～31日 ④ D_3 0 1 祝日/平日 祝日 平日 ※1.④の祝日/平日の説明： ・祝日…設定した日が日曜日と重なった場合、翌日の月曜日が振替休日となり割引適用日となります。 ・平日…設定した日が日曜日と重なった場合、翌日の月曜日が振替休日となりません。 ※2.②で００#とすると項番毎にｸﾘｱできます。	項番1～8全て 00,00,0 (設定なし)

課金に関するコマンド(全般)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9310</td><td>定額課金の設定

外線発信時に通話時間に関係なく一定料金で料金管理するための設定です。

※発信先ﾀﾞｲﾔﾙ毎に料金を設定します。
発信先ﾀﾞｲﾔﾙは最大10桁で8個まで設定できます。</td><td>Do D1 D1 D1 D2 D2 ･･ D2 #
① ② ③
① Do 1～8 / 項番 1～8
② D1D1D1 000 001～255 / 料金 なし 1円～255円
③ D2D2･･D2 0～9999999999 / 相手先ﾀﾞｲﾔﾙ 対応ﾀﾞｲﾔﾙ(最大10桁)
※ﾃﾞｰﾀｸﾘｱを行う場合は、項番毎に②で000#を入力します。</td><td>項番1:000,
0120
項番2～8:
000
(設定なし)</td></tr>
<tr><td>＊9311</td><td>通話料金自動集計日時の設定

外部ﾌﾟﾘﾝﾀへ毎月、1ヶ月の課金集計記録を出力する日時を設定します。

※1.ﾌﾟﾘﾝﾀ出力後、課金ﾃﾞｰﾀはｵｰﾙｸﾘｱされ、累計金額は0円より再ｽﾀｰﾄします。
※2.ﾌﾟﾘﾝﾀの接続がなくても、設定があるとﾃﾞｰﾀは出力されます。</td><td>Do Do D1 D1 D2 D2 #
① ② ③
① DoDo 01～28 / 日 1日～28日
② D1D1 00～23 / 時 0時～23時
③ D2D2 00～59 / 分 0分～59分
※機能なしにする場合は、①で00を入力し、②及び③を省略します。</td><td>00:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊9312</td><td>予算ｵｰﾊﾞｰ時
発信規制ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽの設定

予算をｵｰﾊﾞｰしたときの規制条件を設定します。

※1.「電話機毎」に設定した場合は、＊140で指定した切替後(夜)のｻｰﾋﾞｽｸﾗｽになります。
※2.本ｺﾏﾝﾄﾞで設定したｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ以上のｸﾗｽが予算ｵｰﾊﾞｰした場合に本ｺﾏﾝﾄﾞで設定したｻｰﾋﾞｽｸﾗｽに切替ります。</td><td>D #
①
① D / 予算ｵｰﾊﾞｰ後のｻｰﾋﾞｽｸﾗｽ | 0 機能なし | 1 B | 2 C | 3 D | 4 E | 5 F | 6 G | 7 電話機毎
一括切替</td><td>0:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊9313</td><td>予算使用率表示機能の設定

予算使用率表示機能の有無を設定します。

※予算使用率表示ありにした場合は内線番号及び内線名称は表示しません。</td><td>D #
①
① D / 表示 | 0 なし | 1 あり</td><td>0:なし</td></tr>
</table>

課金に関するコマンド(全般)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9314</td><td>超過料金ｱﾗｰﾑの設定

超過料金ｱﾗｰﾑ送出(1通話)の料金を設定します。</td><td>D D D D #
①
<table><tr><td>①</td><td>ＤＤＤＤ
超過料金</td><td>0000
機能なし</td><td>0001～9999
1～9999円</td></tr></table></td><td>0000:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊9315</td><td>課金の基本秒数ﾃｰﾌﾞﾙの設定

課金の基本秒数を設定します。

ご注意
NTTの通話料金変更等の際に対応するためのﾃﾞｰﾀですので通常は変更しないでください。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₂ D₂ D₂ #
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀
MBI</td><td>01～14
01～14</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td></td><td>時間帯</td><td>昼</td><td>夜</td><td>深夜</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D₂D₂D₂</td><td>000</td><td>001</td><td>002</td><td>‥</td><td>998</td><td>999</td></tr><tr><td></td><td>基本秒数</td><td>設定なし</td><td>0.5秒</td><td>1秒</td><td>‥</td><td>499秒</td><td>499.5秒</td></tr></table>
※1.①のMBIと距離の対応は[ｼｽﾃﾑﾃﾞｰﾀｼｰﾄ]に記載してあります。
※2.③は実際の秒数の2倍を入力してください。</td><td>NTTに準ずる</td></tr>
<tr><td>＊9316</td><td>簡易ﾄﾗﾝｽﾚｰﾀのﾀﾞｲﾔﾙと料金の設定

簡易ﾄﾗﾝｽﾚｰﾀでの1通話における使用料金とﾀﾞｲﾔﾙを設定できます。

※特殊な料金形態(携帯電話や自動車電話等)の場合の1通話当たりの使用料金を通話終了時に加算する場合に、ﾀﾞｲﾔﾙ(必要桁数を設定)毎に設定します。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₁
① ②
D₂ (D₂ D₂ D₂ D₂ D₂) #
③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀
項番</td><td>01～64
01～64</td></tr></table>
<table><tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁
1通話における使用料金</td><td>000～255
0円～255円</td></tr></table>
<table><tr><td>③</td><td>D₂(D₂D₂D₂D₂D₂)
ﾀﾞｲﾔﾙ</td><td>0～999999
対応ﾀﾞｲﾔﾙ(最大6桁)</td></tr></table>
※1.②で000#とすると項番毎にｸﾘｱされます。
※2.①で00、②で000#とすると全項番がｸﾘｱされます。</td><td>[料金]
000:0円
[ﾀﾞｲﾔﾙ]
設定なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9317</td><td>簡易ﾄﾗﾝｽﾚｰﾀの基本通話秒数の設定

簡易ﾄﾗﾝｽﾚｰﾀの基本通話秒数を設定します。

※1.特殊な料金携帯(携帯電話や自動車電話等)の場合の課金の基本秒数を＊9316で設定した項番に対応するﾀﾞｲﾔﾙ毎に設定します。①の項番は＊9316で設定した項番と対応させてください。
※2.基本秒数当たりの通話料金は、＊9303で設定します。
※3.昼/夜/深夜の切替時刻は＊9318のNTTの昼夜切替時刻と共通です。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₂ D₂ D₂ #
① ② ③

① D₀D₀ 01～64 / 項番 01～64

② D₁ 1 2 3 / 時間帯 昼 夜 深夜

③ D₂D₂D₂ 000 002 003 ‥ 997 998 / 通話秒数 設定なし 1秒 1.5秒 ‥ 498.5秒 499秒

※1.③は実際の秒数の2倍を入力してください。(1秒～499秒まで0.5秒単位で設定)
※2.③で000#とすると項番毎の各時間帯の設定がｸﾘｱされます。
※3.①で00、③で000#とすると時間帯毎に全項番がｸﾘｱされます。</td><td>000:設定なし</td></tr>
<tr><td>＊9318</td><td>NTT,NCC昼夜切替時間帯の設定

NTTの課金及びNCCのﾙｰﾄ選択(LCR)の昼夜切替時刻を設定します。

※1.設定は30分毎の、昼・夜・深夜の状態を入力します。
※2.設定時刻は、状態の開始時刻を入力しますが、同じ状態が継続する場合でも、30分毎に状態を設定する必要があります。
(例：18:00～20:00を夜に設定する場合は、18:00,18:30,19:00,19:30を夜に設定します。)</td><td>D₀ D₁ D₁ D₂ D₃ #
① ② ③ ④

① D₀ 0 1 2 / 種別 平日 土曜 休日

② D₁D₁ 00～23 / 時間帯 0時～23時

③ D₂ 0 1 / 分設定 00分 30分

④ D₃ 1 2 3 / 昼夜切替 昼 夜 深夜</td><td>＜平日＞
＜土曜＞ } 共
＜休日＞
NTTの切替時刻と同じ</td></tr>
</table>

通話料金に関するコマンド(国際通話)

ｺﾏﾝﾄﾞ	タイトル	データ設定方法	初期値
＊9320	**ＫＤＤＩ通話料金パターンの設定** ＫＤＤＩを使用した国際発信通話の料金ﾊﾟﾀｰﾝを設定できます。 ※1. 料金ﾊﾟﾀｰﾝは最大15ﾊﾟﾀｰﾝまで設定できます。 ※2. 昼/夜/深夜の切替時刻は＊9318のNTTの昼夜切替時刻と共通です。 ※3. 本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した料金ﾊﾟﾀｰﾝを＊9323にて国毎に設定します。 ※4. 単位料金は6秒毎の料金です。 ※5. ＊9326を変更することにより、本通話料金ﾊﾟﾀｰﾝをKDDI以外の事業者に適用させることができます。(ROM版数9-1より)	D₀ D₀ D₁ D₂ D₂ D₂ ① ② ③ D₃ D₃ D₃ # ④ ① D₀D₀ / ﾊﾟﾀｰﾝ番号 / 01～15 / 1～15 ② D₁ / 時間帯 / 1:昼 / 2:夜 / 3:深夜 ③ D₂D₂D₂ / 1分までの単位料金 / 001～255 / 1円～255円 ④ D₃D₃D₃ / 1分以降の単位料金 / 001～255 / 1円～255円 ※ｸﾘｱする場合は③,④にそれぞれ000を入力し#を押します。 (ﾊﾟﾀｰﾝ番号毎、時間帯毎にｸﾘｱ)	[1分まで] 000:設定なし [1分以降] 000:設定なし
＊9321	**ＪＴ通話料金パターンの設定** ＪＴを使用した国際発信通話の料金ﾊﾟﾀｰﾝを設定できます。 ※1. 料金ﾊﾟﾀｰﾝは最大15ﾊﾟﾀｰﾝまで設定できます。 ※2. 昼/夜/深夜の切替時刻は＊9318のNTTの昼夜切替時刻と共通です。 ※3. 本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した料金ﾊﾟﾀｰﾝを＊9323にて国毎に設定します。 ※4. 単位料金は6秒毎の料金です。 ※5. ＊9326を変更することにより、本通話料金ﾊﾟﾀｰﾝをJT以外の事業者に適用させることができます。(ROM版数9-1より)	D₀ D₀ D₁ D₂ D₂ D₂ ① ② ③ D₃ D₃ D₃ # ④ ① D₀D₀ / ﾊﾟﾀｰﾝ番号 / 01～15 / 1～15 ② D₁ / 時間帯 / 1:昼 / 2:夜 / 3:深夜 ③ D₂D₂D₂ / 1分までの単位料金 / 001～255 / 1円～255円 ④ D₃D₃D₃ / 1分以降の単位料金 / 001～255 / 1円～255円 ※ｸﾘｱする場合は③,④にそれぞれ000を入力し#を押します。 (ﾊﾟﾀｰﾝ番号毎、時間帯毎にｸﾘｱ)	[1分まで] 000:設定なし [1分以降] 000:設定なし
＊9322	**ＩＤＣ、ＮＴＴ－Ｃ 通話料金パターンの設定** ＩＤＣまたはＮＴＴ－Ｃを使用した国際発信通話の料金ﾊﾟﾀｰﾝを設定できます。 ※1. 料金ﾊﾟﾀｰﾝは最大15ﾊﾟﾀｰﾝまで設定できます。 ※2. 昼/夜/深夜の切替時刻は＊9318のNTTの昼夜切替時刻と共通です。 ※3. 本ｺﾏﾝﾄﾞで設定した料金ﾊﾟﾀｰﾝを＊9325にて国毎に設定します。 ※4. 単位料金は6秒毎の料金です。 ※5. ＊9326を変更することにより、本通話料金ﾊﾟﾀｰﾝをIDCやNTT-C以外の事業者に適用させることができます。(ROM版数9-1より)	D₀ D₀ D₁ D₂ D₂ D₂ ① ② ③ D₃ D₃ D₃ # ④ ① D₀D₀ / ﾊﾟﾀｰﾝ番号 / 01～15 / 1～15 ② D₁ / 時間帯 / 1:昼 / 2:夜 / 3:深夜 ③ D₂D₂D₂ / 1分までの単位料金 / 001～255 / 1円～255円 ④ D₃D₃D₃ / 1分以降の単位料金 / 001～255 / 1円～255円 ※ｸﾘｱする場合は③,④にそれぞれ000を入力し#を押します。 (ﾊﾟﾀｰﾝ番号毎、時間帯毎にｸﾘｱ)	[1分まで] 000:設定なし [1分以降] 000:設定なし

通話料金に関するコマンド(国際通話)

＊9323 ＫＤＤＩの国番号及び対応料金ﾊﾟﾀｰﾝ番号の設定

データ設定方法

[D₀ D₀] [D₁ D₁] [D₂ (D₂ ･･･ D₂)] [#]

① ② ③(1～6桁)

①	D_0D_0	01～96	
	登録番号	対応の番号	
②	D_1D_1	00	01～15
	料金ﾊﾟﾀｰﾝ	設定なし	ﾊﾟﾀｰﾝ番号
③	$D_2(D_2D_2D_2D_2D_2)$	0 ～ 999999	
	国番号	対応の国番号(6桁以内)	

※国番号をｸﾘｱする場合は、②で00#を入力します。

初期値

[料金ﾊﾟﾀｰﾝ]
00:設定なし
[国番号]
設定なし

ＫＤＤＩの国際発信通話の料金管理用に、相手国番号毎に料金ﾊﾟﾀｰﾝを設定します。

※1. KDDIの料金ﾊﾟﾀｰﾝは＊9320で設定します。
※2. ＊9326を変更することにより、KDDI以外の事業者に適用させることができます。(ROM版数9-1より)
※3. 国番号は6桁以内で96カ国まで設定できます。
国番号だけでは識別できない地域の場合は、国番号の次の番号まで含めて設定してください。
※4. 料金ﾊﾟﾀｰﾝに料金が設定されていない場合は、料金ﾊﾟﾀｰﾝ1で課金されます。更に料金ﾊﾟﾀｰﾝ1にも料金が設定されていない場合は、単位料金は右記の[料金ﾊﾟﾀｰﾝ1未登録時の単位料金表]で管理されます。
また、本ｺﾏﾝﾄﾞで登録していない国への発信の場合も同様の管理となります。

[料金ﾊﾟﾀｰﾝ1未登録時の単位料金表]

昼		夜		深夜	
1分まで	1分から	1分まで	1分から	1分まで	1分から
37円	31円	33円	25円	29円	24円

(＊9323～＊9325共通)

＊9324 ＪＴの国番号及び対応料金ﾊﾟﾀｰﾝ番号の設定

データ設定方法

[D₀ D₀] [D₁ D₁] [D₂ (D₂ ･･･ D₂)] [#]

① ② ③(1～6桁)

①	D_0D_0	01～96	
	登録番号	対応の番号	
②	D_1D_1	00	01～15
	料金ﾊﾟﾀｰﾝ	設定なし	ﾊﾟﾀｰﾝ番号
③	$D_2(D_2D_2D_2D_2D_2)$	0 ～ 999999	
	国番号	対応の国番号(6桁以内)	

※国番号をｸﾘｱする場合は、②で00#を入力します。

初期値

[料金ﾊﾟﾀｰﾝ]
00:設定なし
[国番号]
設定なし

ＪＴの国際発信通話の料金管理用に、相手国番号毎に料金ﾊﾟﾀｰﾝを設定します。

※1. JTの料金ﾊﾟﾀｰﾝは＊9321で設定します。
※2. ＊9326を変更することにより、JT以外の事業者に適用させることができます。(ROM版数9-1より)
※3. 国番号は6桁以内で96カ国まで設定できます。
国番号だけでは識別できない地域の場合は、国番号の次の番号まで含めて設定してください。
※4. 料金ﾊﾟﾀｰﾝに料金が設定されていない場合は、料金ﾊﾟﾀｰﾝ1で課金されます。更に料金ﾊﾟﾀｰﾝ1にも料金が設定されていない場合は、単位料金は＊9323に示す[料金ﾊﾟﾀｰﾝ1未登録時の単位料金表]で管理します。
また、本ｺﾏﾝﾄﾞで登録していない国への発信の場合も同様の管理となります。

通話料金に関するコマンド(国際通話)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊9325</td>
<td>ＩＤＣ、ＮＴＴ－Ｃの国番号
及び 対応料金ﾊﾟﾀｰﾝ番号の設定

ＩＤＣ、ＮＴＴ－Ｃの国際発信通話の料金管理用に、相手国番号毎に料金ﾊﾟﾀｰﾝを設定します。
※1. IDC、NTT-Cの料金ﾊﾟﾀｰﾝは＊9322で設定します。
※2. ＊9326を変更することにより、IDC、NTT-CT以外の事業者に適用させることができます。(ROM版数9-1より)
※3. 国番号は6桁以内で96カ国まで設定できます。
国番号だけでは識別できない地域の場合は、国番号の次の番号まで含めて設定してください。
※4. 料金ﾊﾟﾀｰﾝに料金が設定されていない場合は、料金ﾊﾟﾀｰﾝ1で課金されます。更に料金ﾊﾟﾀｰﾝ1にも料金が設定されていない場合は、単位料金は＊9323に示す[料金ﾊﾟﾀｰﾝ1未登録時の単位料金表]で管理します。
また、本ｺﾏﾝﾄﾞで登録していない国への発信の場合も同様の管理となります。</td>
<td>[Do][Do] [D1][D1] [D2]([D2]･･･[D2]) [#]
①　②　③(1～6桁)

① DoDo / 登録番号 : 01～96 / 対応の番号

② D1D1 / 料金ﾊﾟﾀｰﾝ : 00 / 設定なし : 01～15 / ﾊﾟﾀｰﾝ番号

③ D2(D2D2D2D2D2D2) / 国番号 : 0 ～ 999999 / 対応の国番号(6桁以内)

※国番号をｸﾘｱする場合は、②で00#を入力します。</td>
<td>[料金ﾊﾟﾀｰﾝ]
00:設定なし
[国番号]
設定なし</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9326</td>
<td>国際発信番号の設定

国際発信で通話料金を管理する場合に、使用する事業者の国際発信ｱｸｾｽ番号を設定します。(ROM版数9-1より適用)
※1. 最大で8種類のｱｸｾｽ番号を登録できます。
※2. 項番毎に使用する料金ﾃｰﾌﾞﾙを選択し、使用する事業者のｱｸｾｽ番号を登録します。
※3. 使用する料金ﾃｰﾌﾞﾙ毎に、下記のﾃﾞｰﾀ設定が適用されます。
<table><tr><th>料金ﾃｰﾌﾞﾙ</th><th>通話料金ﾊﾟﾀｰﾝ</th><th>国番号と対応料金ﾊﾟﾀｰﾝ番号</th></tr><tr><td>KDDI用</td><td>＊9320</td><td>＊9323</td></tr><tr><td>JT用</td><td>＊9321</td><td>＊9324</td></tr><tr><td>IDC、NTT-C用</td><td>＊9322</td><td>＊9325</td></tr></table>※4. 料金ﾃｰﾌﾞﾙは3個までですので、使用するｱｸｾｽ番号が4種類以上の場合は、料金ﾃｰﾌﾞﾙを兼用するｱｸｾｽ番号が発生します。
※5. 本ｺﾏﾝﾄﾞでｱｸｾｽ番号を設定しても、ｻｰﾋﾞｽｸﾗｽで規制される国際発信は、ｱｸｾｽ番号(3桁または4桁)の先頭3桁が000～006および010のみです。</td>
<td>[Do] [D1] [D2][D2][D2]([D2]) [#]
①　②　③

① Do / 項番 : 1～8

② D1 / 料金ﾃｰﾌﾞﾙ : 1 : KDDI用 / 2 : JT用 / 3 : IDC、NTT-C用

③ D2D2D2(D2) / 国際発信ｱｸｾｽ番号 : 000～9999

※1. ｸﾘｱする場合は、②に0、③に0000を入力します。
※2. ③は000～9999まで設定可能ですが、国際発信として課金できるのは001「 」～009「 」および010のみです。</td>
<td>1：1,001
2：1,002
3：2,0041
4：3,0033
5：3,0061
6：設定なし
7：設定なし
8：設定なし</td>
</tr>
</table>

課金に関するコマンド(PIU接続・他)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊9330</td>
<td>PIUの接続機器の設定

ET-PIU-Gi(RS-232Cｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ)に接続する機器の種類を設定します。

※1.ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ条件は＊9331で設定します。
※2.ﾌﾟﾘﾝﾀは回路番号CH1のみ設定可能です。
※3.ﾌﾟﾘﾝﾀ以外の機器はいずれか一方のみ接続可能です。</td>
<td>D₀ D₁ #
① ②
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀</td><td>1</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>回路番号</td><td>CH1</td><td>CH2</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁</td><td>接続機器</td></tr>
<tr><td></td><td>0</td><td>機能なし</td></tr>
<tr><td></td><td>1</td><td>ﾌﾟﾘﾝﾀ</td></tr>
<tr><td></td><td>2</td><td>ﾌﾟﾘﾍﾟｲﾄﾞｼｽﾃﾑ</td></tr>
</table>
</td>
<td>回路番号CH1:
1(ﾌﾟﾘﾝﾀ)
回路番号CH2:
0(機能なし)</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9331</td>
<td>PIUのｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ条件の設定

ET-PIU-Gi(RS-232Cｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ)のｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ条件を設定します。

※1.接続機器の種類は＊9330で設定します。
※2.接続機器の種類をﾌﾟﾘﾝﾀとした場合は、ﾃﾞｰﾀ長は必ず8ﾋﾞｯﾄとしてください。
※3.接続機器の種類をﾌﾟﾘﾍﾟｲﾄﾞｼｽﾃﾑとした場合の設定は、以下の通りとなります。
② ③ ④ ⑤ ⑥
1 0 0 0 4</td>
<td>D₀ D₁ D₂ D₃ D₄ D₅ #
① ② ③ ④ ⑤ ⑥
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀</td><td>1</td><td>2</td></tr>
<tr><td></td><td>回路番号</td><td>CH1</td><td>CH2</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾊﾟﾘﾃｨ有無</td><td>なし</td><td>あり</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾃﾞｰﾀ長</td><td>7ﾋﾞｯﾄ</td><td>8ﾋﾞｯﾄ</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>④</td><td>D₃</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ﾊﾟﾘﾃｨ設定</td><td>偶数</td><td>奇数</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>⑤</td><td>D₄</td><td>0</td><td>1</td></tr>
<tr><td></td><td>ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ</td><td>1ﾋﾞｯﾄ</td><td>2ﾋﾞｯﾄ</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>⑥</td><td>D₅</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr>
<tr><td></td><td>速度(bps)</td><td>19200</td><td>9600</td><td>4800</td><td>2400</td><td>1200</td><td>600</td><td>300</td></tr>
</table>
</td>
<td>0:ﾊﾟﾘﾃｨなし
1:ﾃﾞｰﾀ長8ﾋﾞｯﾄ
0:ﾊﾟﾘﾃｨ偶数
0:ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ 1
4:1200bps</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9332</td><td>終話印字の設定

電話機毎に終話印字を行うか否かを設定します。
※1.終話印字の起動条件は＊9333で設定します。
※2.終話印字の印字内容は＊9334で設定します。
※3.ID発信(公専公接続を含む)を行う場合は、ID番号を登録した仮想収容位置に終話印字を設定することも可能です。
この場合、対象収容位置は101～172,201～272,301～372となります。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～128 先頭収容位置
② D₁D₁D₁ 対象電話機 101～128 最終収容位置
③ D₂ 終話印字 0 なし 1 あり</td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊9333</td><td>終話印字の起動条件の設定

どのような条件の場合に終話印字を行うかを設定します。

※1.電話機毎に終話印字するか否かは＊9332で設定します。
※2.長時間通話とする条件は＊9335で設定します。
※3.料金超過とする条件は＊9336で設定します。
※4.本設定は課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ1～15(事務)のみ対応し、課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ31～38(客室)は本設定に関係なく、終話印字あり(＊9332)の電話機は全通話終話印字します。
尚、課金ｸﾞﾙｰﾌﾟは＊9301で設定します。</td><td>D #
①
① D 起動条件
0 終話印字なし
1 全通話終了時
2 長時間通話時
3 料金超過時
4 長時間通話時または料金超過時</td><td>0:終話印字なし</td></tr>
<tr><td>＊9334</td><td>終話印字の印字内容の設定

終話印字の印字内容を設定します。

※1.相手先不明時の印字をありに設定した場合、電話機毎の終話印字(＊9332で設定)の有無や終話印字の起動条件(＊9333で設定)に関わらず印字されます。
※2.ﾀﾞｲﾔﾙが3桁以下の場合は、ﾀﾞｲﾔﾙ下2桁のﾏｽｸをありに設定してもﾏｽｸされません。
※3.「TN」文字の印字をありに設定すると、転送を受けた通話の場合は「T」の文字を、相手先不明通話の場合は「N」の文字を印字します。</td><td>D₀ D₁ D₂ D₃ D₄ #
① ② ③ ④ ⑤
① D₀ 通話時間印字 0 なし 1 あり
② D₁ 相手先不明時の印字 0 なし 1 あり
③ D₂ ﾀﾞｲﾔﾙ下2桁のﾏｽｸ 0 なし 1 あり
④ D₃ 回線番号の印字 0 なし 1 あり
⑤ D₄ 「TN」文字の印字 0 なし 1 あり</td><td>1:通話時間印字あり
1:相手先不明時印字あり
0:ﾀﾞｲﾔﾙのﾏｽｸなし
0:回線番号印字なし
1:「TN」文字の印字あり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9335</td><td>終話印字の長時間通話条件の設定

長時間通話時に終話印字を行う場合に長時間通話とする条件を設定します。

※どのような条件の場合に終話印字を行うかは＊9333で設定します。</td><td>D D #
①
<table><tr><td>①</td><td>ＤＤ</td><td>00</td><td>01</td><td>‥</td><td>99</td></tr><tr><td></td><td>時間設定</td><td>機能なし</td><td>1分</td><td>‥</td><td>99分</td></tr></table>※1分単位で設定します。ﾃﾞｰﾀは必ず2桁で入力します。</td><td>00:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊9336</td><td>終話印字の超過料金条件の設定

超過料金時に終話印字を行う場合に超過料金とする条件を設定します。

※どのような条件の場合に終話印字を行うかは＊9333で設定します。</td><td>D D D D D D #
①
<table><tr><td>①</td><td>DDDDDD</td><td>000000</td><td>000001</td><td>‥</td><td>999999</td></tr><tr><td></td><td>料金設定</td><td>機能なし</td><td>1円</td><td>‥</td><td>999999円</td></tr></table>※1円単位で設定します。ﾃﾞｰﾀは必ず6桁で入力します。</td><td>000000:機能なし</td></tr>
<tr><td>＊9337</td><td>通話料金にかける消費税の設定

通話料金管理の料金集計機能で、電話機毎の料金ﾓﾆﾀや通話料金印字を行った場合の消費税計算の方法を設定します。

※1.消費税計算を設定した場合は、i＋2 9 の操作にてﾓﾆﾀする累計金額には消費税が含まれます。
※2.消費税計算を設定した場合は、以下の通話料金集計印字機能の累計金額にはトータル印字の場合のみ消費税が印字されます。
・今回料金の印字 (i＋2 3)
・前回料金の印字 (i＋2 4)
・累計料金のｸﾘｱ印字 (i＋3 3)
・料金自動集計</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₂ #
① ② ③
<table><tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀</td><td>000</td><td>001～999</td></tr><tr><td></td><td>税率</td><td>消費税計算なし</td><td>0.1%～99.9%</td></tr></table><table><tr><td>②</td><td>D₁</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>端数処理金額</td><td>1円未満</td><td>10円未満</td></tr></table><table><tr><td>③</td><td>D₂</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td></td><td>端数処理</td><td>切り上げ</td><td>切り捨て</td><td>四捨五入</td></tr></table>※消費税計算なしとした場合は②③は省略します。</td><td>[税率]
050:5%
[金額]
1:10円未満
[処理]
2:四捨五入</td></tr>
<tr><td>＊9338</td><td>終話印字の料金端数処理の設定(客室)

客室ｸﾞﾙｰﾌﾟ31～38(＊9301で設定)の終話印字の際の通話料金の端数(10円未満)の処理を、「切り上げ」とするか「四捨五入」とするかを設定します。</td><td>D #
①
<table><tr><td>①</td><td>D</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>料金端数処理</td><td>切り上げ</td><td>四捨五入</td></tr></table></td><td>0:切り上げ</td></tr>
</table>

課金に関するコマンド(P．Pシステム)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr>
<td>＊9360</td>
<td>P.Pｼｽﾃﾑの消費税計算の設定

P.Pｼｽﾃﾑで投入する料金に対して、あらかじめ消費税分を差し引いて登録する場合、消費税計算の方法を設定します。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₂ #
① ② ③
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀
税率</td><td>000
消費税計算なし</td><td>001～999
0.1%～99.9%</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁
端数処理金額</td><td>0
1円未満</td><td>1
10円未満</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂
端数処理</td><td>0
切り上げ</td><td>1
切り捨て</td><td>2
四捨五入</td></tr>
</table>
※消費税計算なしとした場合は②③は省略します。</td>
<td>[税率]
050:5%
[金額]
1:10円未満
[処理]
2:四捨五入</td>
</tr>
<tr>
<td>＊9361</td>
<td>電話機毎のP.Pｼｽﾃﾑ機能の有無

電話機毎にﾌﾟﾘﾍﾟｲﾄﾞ(P.P)ｼｽﾃﾑ機能の対象とするか否かを設定します。
※1.PIUの接続機器(＊9330で設定)をP.Pｼｽﾃﾑに設定すると、P.Pｼｽﾃﾑ機能ありに設定した電話機はｶｰﾄﾞを投入しないと外線発信ができなくなります。
※2.ID発信(公専公接続を含む)を行う場合は、ID番号を登録した仮想収容位置にP.Pｼｽﾃﾑ機能を設定することも可能です。
この場合、対象収容位置は101～172,201～272,301～372となります。</td>
<td>D₀ D₀ D₀ D₁ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
<table>
<tr><td>①</td><td>D₀D₀D₀
対象電話機</td><td>101～128
先頭収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>②</td><td>D₁D₁D₁
対象電話機</td><td>101～128
最終収容位置</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>③</td><td>D₂
P.Pｼｽﾃﾑ機能</td><td>0
なし</td><td>1
あり</td></tr>
</table></td>
<td>0:なし</td>
</tr>
</table>

課金に関するコマンド(ID発信)

<table>
<tr><th>ｺﾏﾝﾄﾞ</th><th>タイトル</th><th>データ設定方法</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>＊9362</td><td>ID番号の有無

DIDにて外から外線または専用線を捕捉する際に、着信側のDID外線毎にID番号の有無を設定します。

※1. ID番号をありに設定したDID着信外線からの外線捕捉は、ID発信のみ可能となります。
※2. ID発信をなしに設定したDID着信外線からの外線捕捉は、外線自動発信(通称ｾﾞﾛ発信)も可能となります。この場合、外線への発信(公ー公接続)でもID課金はできません。</td><td>D₀ D₀ D₁ D₁ D₂ #
① ② ③
① D₀D₀ 対象外線 01～08 先頭外線番号
② D₁D₁ 対象外線 01～08 最終外線番号
③ D₂ ID番号の有無 0 なし 1 あり</td><td>1:あり</td></tr>
<tr><td>＊9363</td><td>ID発信用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの設定

ID発信を行う際のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをID番号毎に設定します。

※ID発信を行う際は、仮想収容位置(＊082の※7参照)に設定したID番号以外に、実収容位置の内線番号でも可能なため、実収容位置への設定も可能です。他人のID番号(内線番号)でID発信されるのを防止するため、仮想収容位置だけでなく実収容位置でもﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを設定するようにしてください。</td><td>D₀ D₀ D₀ D₁ (D₁ D₁ D₁) # ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞなし
① ②
① D₀D₀D₀ 対象電話機 101～172, 201～272, 301～372 対象収容位置
② D₁(D₁D₁D₁) ID課金用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 0～9999 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ番号
※ｸﾘｱする場合は②で00000(5桁)を入力します。</td><td></td></tr>
<tr><td>＊9364</td><td>ID発信時の転送機能の有無

ID発信にて外線発信後に、他の内線に転送できるか否かを設定します。

※1. ID発信後に他の内線に転送した場合は、転送先の電話機収容位置に課金されるため、ID発信を行う際は転送を規制します。
※2. 転送を規制した場合は、ID発信後の保留操作もできなくなります。</td><td>D #
①
① D 発信転送機能 0 なし 1 あり</td><td>0:なし</td></tr>
<tr><td>＊9365</td><td>ID発信時のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ識別の有無

ID発信時に入力するID発信用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを識別するか無視するかを設定します。

※ID発信用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞは＊9363で設定します。</td><td>D #
①
① D ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ識別 0 なし 1 あり</td><td>1:あり</td></tr>
</table>

用語説明とデータ設定例

ここではGiシリーズの機能でポイントとなる用語に関する説明と、主なデータ設定例を示します。

［1］用語説明

用　語	説　明
ストレートラインDI	ダイヤルイン回線(または i･ナンバー回線)に対して設定できる機能です。通常のダイヤルインはダイヤルイン番号毎に特定の電話機を直接呼び出しますが、ストレートラインDIを利用すると電話機に設定した[DILIN]ボタンに着信し、外線ボタンへの着信と同様に使用でき、複数の電話機でダイヤルイン番号での着信に応答することが可能となります。(ISDNダイヤルインのグローバル着信もストレートラインDIの[DILIN]ボタンの利用が可能です。)
バーチャルライン	電話機の外線ボタン数(または[DILIN]ボタン数)に対して使用する外線数(または[DILIN]ボタン数)が多い場合は、複数の外線ボタン(または複数の同一[DILIN]ボタン)を1個の[着信]ボタンに集約し、余ったボタンはワンタッチダイヤル等の他のボタンに有効活用できます。 ※データ設定にて着信用の[着信]ボタンと保留用の[パーク]ボタンの設定、及びプログラマブルキーにて発信用の[発信]ボタンの設定が必要となります。
転送電話	業務終了後や休日での外線着信を、登録した短縮番号に自動転送できる機能です。転送時に発信者に転送メッセージを送出する方法と転送メッセージを送出しない方法とが選択できます。更に、以下の転送方式を選択することもできます。 ①追っかけ転送……1つ目の転送先(A面)が話中や応答しない場合は、2つ目の転送先(B面)に転送することができます。 ②ツインビーム転送…2箇所の転送先を同時に呼び出し、最初に応答した転送先に転送します。 (但し、発信できる外線が2本必要です。)

［2］データ設定例

■設定例1
- ●回線契約内容 …… INSネット64、ダイヤルイン(グローバル着信契約)
- ●使用目的 …… 代表番号(1111)は電話専用(夜間は転送電話)、追加番号(1112)はFAX専用

〈設定内容〉
●収容位置:電話機＝101～104(着信鳴動させる電話機は101と102)、FAX=107

設定概要	データ設定	説　明
電話機の外線1,2のボタンに1111のグローバル着信のDILINボタンを、外線4のボタンにFAX用のDILINボタンを表示	＊300=01,02-2,2#	外線1～2の着信種別を「DI」に設定します。
	＊360=1,1#	昼夜共に「ストレートラインDI」を設定します。
	＊361=01-99999# 02-1112#	DILIN番号01に電話用のグローバル着信(99999)を設定します。 DILIN番号02にFAX用の追加番号(1112)を設定します。
	＊362=00,01-01# 02-01# 04-02#	電話機グループ00の外線ボタン01、02にDILIN番号01のボタンを設定します。 外線ボタン04にはDILIN番号02のボタンを設定します。
電話機はDILIN01のみ着信鳴動	＊312=101,102,01-1#	電話機の収容位置101～102はDILIN番号01の着信鳴動を「あり」に設定します。
	＊312=101,104,02-0#	電話機の収容位置101～104はDILIN番号02の着信鳴動を「なし」に設定します。
FAXはDILIN02のみ着信鳴動	＊312=107,#-01-0#	FAXの収容位置107はDILIN番号01の着信鳴動を「なし」に設定します。
	＊312=107,#-02-1#	FAXの収容位置107はDILIN番号02の着信鳴動を「あり」に設定します。
電話機はDILIN01のみオフフック応答	＊303=101,104-1#	電話機の収容位置101～104はオフフック自動応答を「あり」に設定します。
	＊305=101,104-01#	電話機の収容位置101～104はオフフック応答なDILIN番号を「01」とします。
FAXはDILIN02のみオフフック応答	＊303=107,#-1#	FAXの収容位置107はオフフック自動応答を「あり」に設定します。
	＊305=107,#-02#	FAXの収容位置107はオフフック応答可能なDILIN番号を「02」とします。
電話機で「0」発信時はDILIN01を自動捕捉	＊110=01,02,1-1#	外線1～2の外線自動発信を「あり」に設定します。
	＊364=101,104-01#	電話機の収容位置101～104は外線自動発信時の自動割付DILIN番号を「01」とします。
FAXはオフフックで外線自動捕捉	＊111=107,#-1#	FAXの収容位置107はオフフック発信機能を「あり」に設定します。
	＊364=107,#-02#	FAXの収容位置107は外線自動発信時の自動割付DILIN番号を「02」とします。
	＊702=107,#-0#	FAXの収容位置107はオフフック内線自動捕捉を「なし」に設定します。
外線をPB設定	＊100=01,02-2#	外線1～2のダイヤル種別を「PB」に設定します。
FAXの伝達能力設定	＊9287=107,#-1#	FAXの収容位置107はISDNの伝達能力を「3.1kHzオーディオ」に設定します。
DILIN01のみ夜間は転送電話にし、夜間切替操作電話機を収容位置101に設定	＊643=01,#-01#	DILIN番号01のテナント番号を「01」に設定します。
	＊301=01,#-0,5#	DILIN番号01の着信種別を夜のみ「転送電話」に設定します。
	＊601=1#	転送電話の種類を設定します。(ここでは、「追っかけ転送」を設定した例)
	＊616=01,#,1-78,79#	DILIN番号01へ着信時の転送先の短縮番号を設定します。(ここでは、夜の転送先としてA面に短縮番号「78」、B面に短縮番号「79」を設定した例を示しています。)
	＊084=01-1-101#	テナント番号01の夜間切替操作電話機を収容位置「101」に設定します。 (収容位置101の電話機に[夜間切替]ボタンをプログラマブルキーで設定)

〈設定後の動作確認〉
①契約者回線番号1111に電話をかけると電話機の[DILIN]ボタン01に着信し、追加番号1112に電話をかけるとFAXに着信します。
②電話機から外線発信する場合は、「0」発信すると電話機に設定した[DILIN]ボタン01が自動捕捉されます。
③FAXから外線発信する場合は、送受器を上げるだけで発信できます。電話機の[DILIN]ボタン02が赤点灯しますのでFAX使用中が確認できます。
④収容位置101の電話機に設定した[夜間切替]ボタンを押したときに、契約者回線番号1111に電話をかけると指定した所に転送されます。
追加番号1112にかけてもFAXに着信します。

〈注意事項〉
①設定した[DILIN]ボタンの数だけ着信を受けられます。全てふさがっている場合は発信者に話中音が送出されます。
②[DILIN]ボタンは外線ボタンとは異なり、ダイヤルイン番号に対応したボタンです。外線1ボタンの位置に設定した[DILIN]ボタンを使用して発信した場合でも、外線1を使用するとは限りません。(使用している外線番号は電話機のLCDに表示されます。)

■設定例2
●回線契約内容 …… i･ナンバー(2番号)
●使用目的 …… ポート番号1(1111)は電話専用(夜間は転送電話)、ポート番号2(1112)はFAX専用

〈設定内容〉
●収容位置:電話機＝101～104(着信鳴動させる電話機は101と102)、FAX=107

設定概要	データ設定	説明
外線1にi･ナンバーを設定	＊355=01-1#	外線1をi･ナンバーありに設定します。
	＊356=01,1-1111#	外線1のポート番号1にi･ナンバーの契約者回線番号1111を設定します。
	＊356=01,2-1112#	外線1のポート番号2にi･ナンバーの追加番号1112を設定します。
電話機の外線1,2のボタンに1111のグローバル着信のDILINボタンを、外線4のボタンにFAX用のDILINボタンを表示	＊300=01,02-2,2#	外線1～2の着信種別を「DI」に設定します。
	＊360=1,1#	昼夜共に「ストレートラインDI」を設定します。
	＊361=01-1111# 02-1112#	DILIN番号01に電話用のポート番号1の番号(1111)を設定します。 DILIN番号02にFAX用のポート番号2の番号(1112)を設定します。
	＊362=00,01-01# 02-01# 04-02#	電話機グループ00の外線ボタン01、02にDILIN番号01のボタンを設定します。 外線ボタン04にはDILIN番号02のボタンを設定します。
電話機はDILIN01のみ着信鳴動	＊312=101,102,01-1#	電話機の収容位置101～102はDILIN番号01の着信鳴動を「あり」に設定します。
	＊312=101,104,02-0#	電話機の収容位置101～104はDILIN番号02の着信鳴動を「なし」に設定します。
FAXはDILIN02のみ着信鳴動	＊312=107,#-01-0#	FAXの収容位置107はDILIN番号01の着信鳴動を「なし」に設定します。
	＊312=107,#-02-1#	FAXの収容位置107はDILIN番号02の着信鳴動を「あり」に設定します。
電話機はDILIN01のみオフフック応答	＊303=101,104-1#	電話機の収容位置101～104はオフフック自動応答を「あり」に設定します。
	＊305=101,104-01#	電話機の収容位置101～104はオフフック応答なDILIN番号を「01」とします。
FAXはDILIN02のみオフフック応答	＊303=107,#-1#	FAXの収容位置107はオフフック自動応答を「あり」に設定します。
	＊305=107,#-02#	FAXの収容位置107はオフフック応答可能なDILIN番号を「02」とします。
電話機で「0」発信時はDILIN01を自動捕捉	＊110=01,02,1-1#	外線1～2の外線自動発信を「あり」に設定します。
	＊364=101,104-01#	電話機の収容位置101～104は外線自動発信時の自動割付DILIN番号を「01」とします。
FAXはオフフックで外線自動捕捉	＊111=107,#-1#	FAXの収容位置107はオフフック発信機能を「あり」に設定します。
	＊364=107,#-02#	FAXの収容位置107は外線自動発信時の自動割付DILIN番号を「02」とします。
	＊702=107,#-0#	FAXの収容位置107はオフフック内線自動捕捉を「なし」に設定します。
外線をPB設定	＊100=01,02-2#	外線1～2のダイヤル種別を「PB」に設定します。
FAXの伝達能力設定	＊9287=107,#-1#	FAXの収容位置107はISDNの伝達能力を「3.1kHzオーディオ」に設定します。
DILIN01のみ夜間は転送電話にし、夜間切替操作電話機を収容位置101に設定	＊643=01,#-01#	DILIN番号01のテナント番号を「01」に設定します。
	＊301=01,#-0,5#	DILIN番号01の着信種別を夜のみ「転送電話」に設定します。
	＊601=1#	転送電話の種類を設定します。(ここでは、「追っかけ転送」を設定した例)
	＊616=01,#,1-78,79#	DILIN番号01へ着信時の転送先の短縮番号を設定します。(ここでは、夜の転送先としてA面に短縮番号「78」、B面に短縮番号「79」を設定した例を示しています。)
	＊084=01-1-101#	テナント番号01の夜間切替操作電話機を収容位置「101」に設定します。 (収容位置101の電話機に[夜間切替]ボタンをプログラマブルキーで設定)

〈設定後の動作確認〉
①ポート番号1の番号1111に電話をかけると電話機の[DILIN]ボタン01に着信し、ポート番号2の番号1112に電話をかけるとFAXに着信します。
②電話機から外線発信する場合は、「0」発信すると電話機に設定した[DILIN]ボタン01が自動捕捉されます。
③FAXから外線発信する場合は、送受器を上げるだけで発信できます。電話機の[DILIN]ボタン02が赤点灯しますのでFAX使用中が確認できます。
④収容位置101の電話機に設定した[夜間切替]ボタンを押したときに、ポート番号1の番号1111に電話をかけると指定した所に転送されます。
ポート番号2の番号1112にかけてもFAXに着信します。

〈注意事項〉
①設定した[DILIN]ボタンの数だけ着信を受けられます。全てふさがっている場合は発信者に話中音が送出されます。
②[DILIN]ボタンは外線ボタンとは異なり、ダイヤルイン番号に対応したボタンです。外線1ボタンの位置に設定した[DILIN]ボタンを使用して発信した場合でも、外線1を使用するとは限りません。(使用している外線番号は電話機のLCDに表示されます。)